



# Track-Guide III

## 取扱説明書

2024年06月10日 UT SW V02.30.10\_ac\_T SRV V01.30.08

1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)
2. GNSS設定 (RTX編)
3. 車両設定
4. 作業機設定
5. 実行画面
6. 自動操舵設定 (ロール補正編)
7. 車両データの保存・転送・削除
8. 圃場データの保存・転送・削除
9. トラブルシューティング

※1～4,6は初期設定  
初回のみ設定が必要です

## 【製品に関する注意事項】

- ・ GNSSガイダンスシステムは作業の補助を行うものであり、作業自体を保証するものではありません。
- ・ 自動操舵の走行性能は、トラクターの整備状態や作業機の取り付け状態、前後のバランス等により変わる場合があります。
- ・ トラクターや田植え機の種類によっては取り付けられない場合があります。
- ・ 製品の改造や分解は行わないでください。
- ・ 製品を使用する際は、道路交通法および国内法令を遵守してください。
- ・ 道路走行中にディスプレイを操作しないでください。操作する場合は停止してください。
- ・ トラクターのメンテナンスや修理を行う前に、必ずトラクターとディスプレイ間の接続を外してください。
- ・ トラクターのバッテリーを充電する前に、必ずトラクターとディスプレイ間の接続を外してください。

### 警告

- ・ 自動操舵システムを使用する前に、ユーザーマニュアルと安全指示書をよくお読みください。
- ・ 自動操舵システム使用中は、車両から離れないでください。
- ・ 運転前に点検を行い、正常に作動することを確認してください。
- ・ 自動操舵システムを起動した状態で公道を走らないでください。
- ・ 常に周囲を確認し、安全に配慮して使用してください。

## 【その他注意事項】

- 長さの単位をフィート (ft) およびインチ (in) 、面積の単位をエーカー (ac) にすることは、計量法で禁止されています。
- 使用や表示画面のデザインなどは、掲載されているものから変更される場合があります。
- 最新の情報や変更点はユーザーサイト <https://annex.nikon-trimble.co.jp/agri/user/index.html> をご確認ください。

## 【本冊子を利用するにあたって】

- Track-Guide III を略して「TGⅢ」と記載している箇所があります。
- Track-Guide Ⅲは後付け自動操舵としては、使用しない機能があります。  
取扱説明書に記載が無いアイコンはタップしないよう、お願いします。



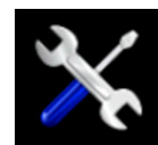
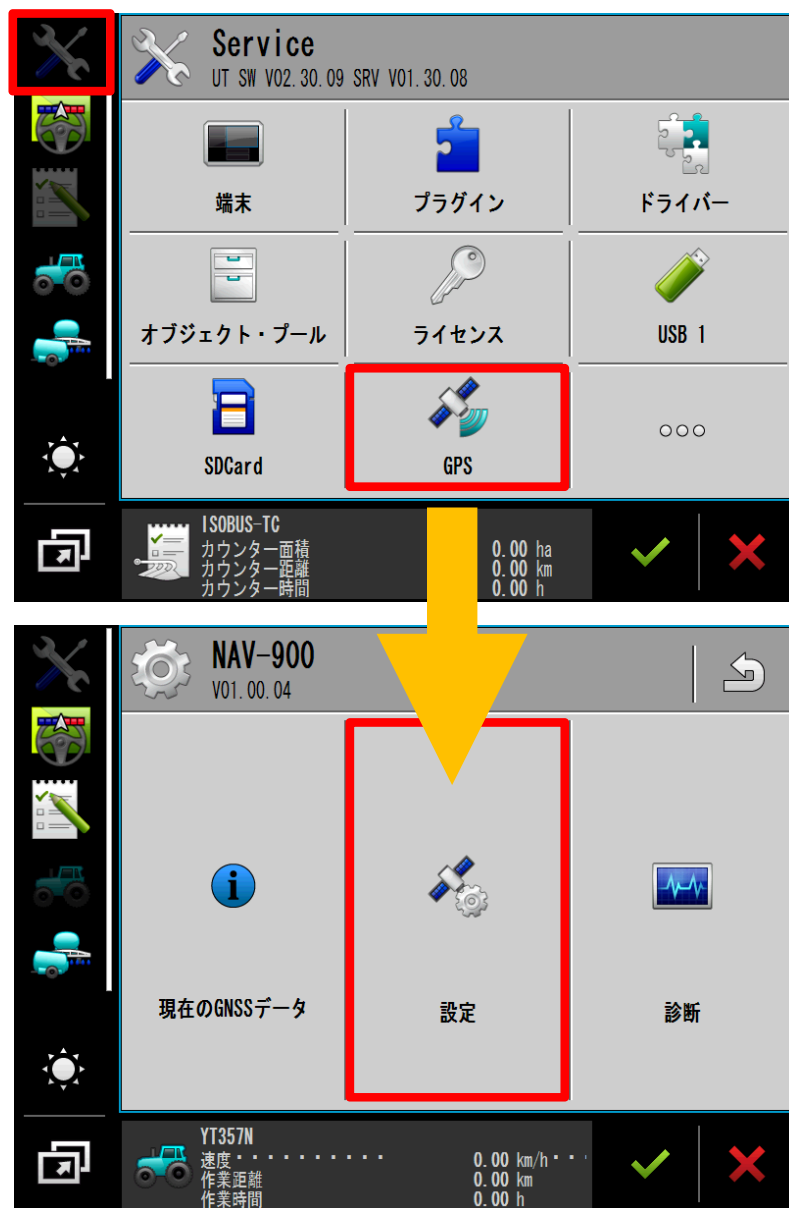


# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)

# Track-Guide III

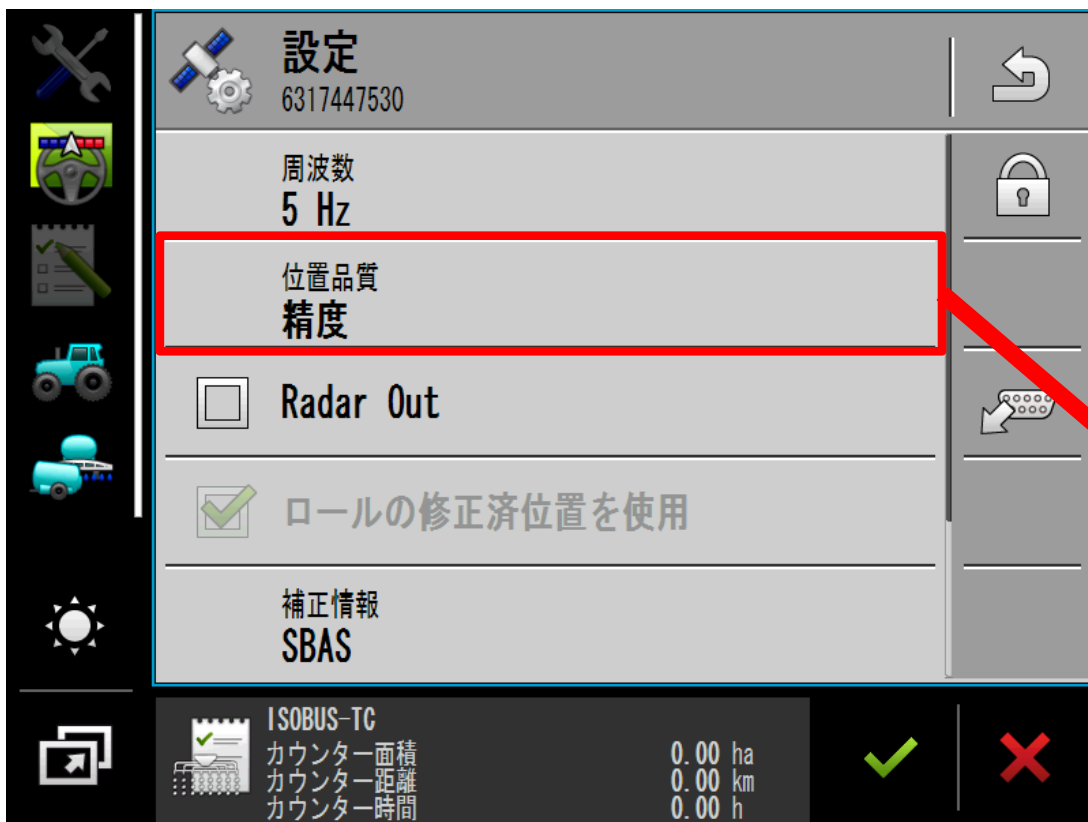
## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



をタップする

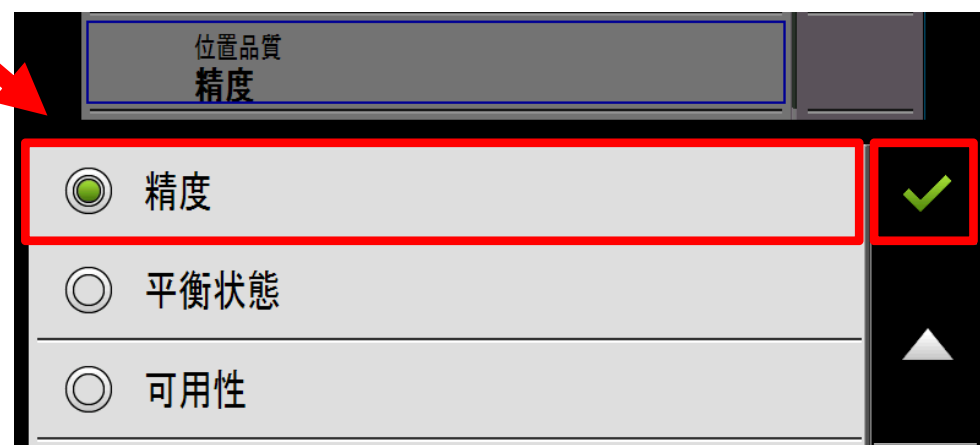
「GPS」をタップする

「設定」をタップする



「位置品質」をタップし、  
「精度」を選択する

 をタップする

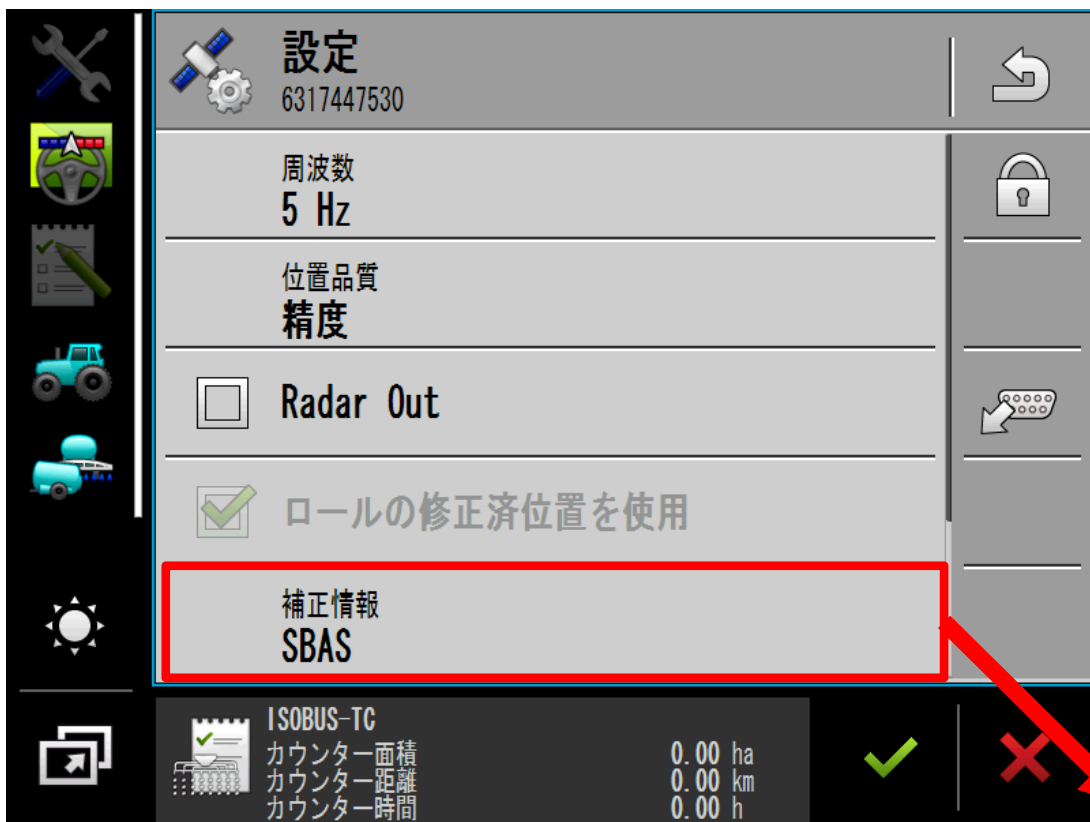


「位置品質」→**精度**がおすすめ

- 精度→精度品質が確保されたのち、Fixをする。
- 平衡状態→精度優先と作業優先の間。
- 可用性→精度品質が確保されている間にFixを優先。

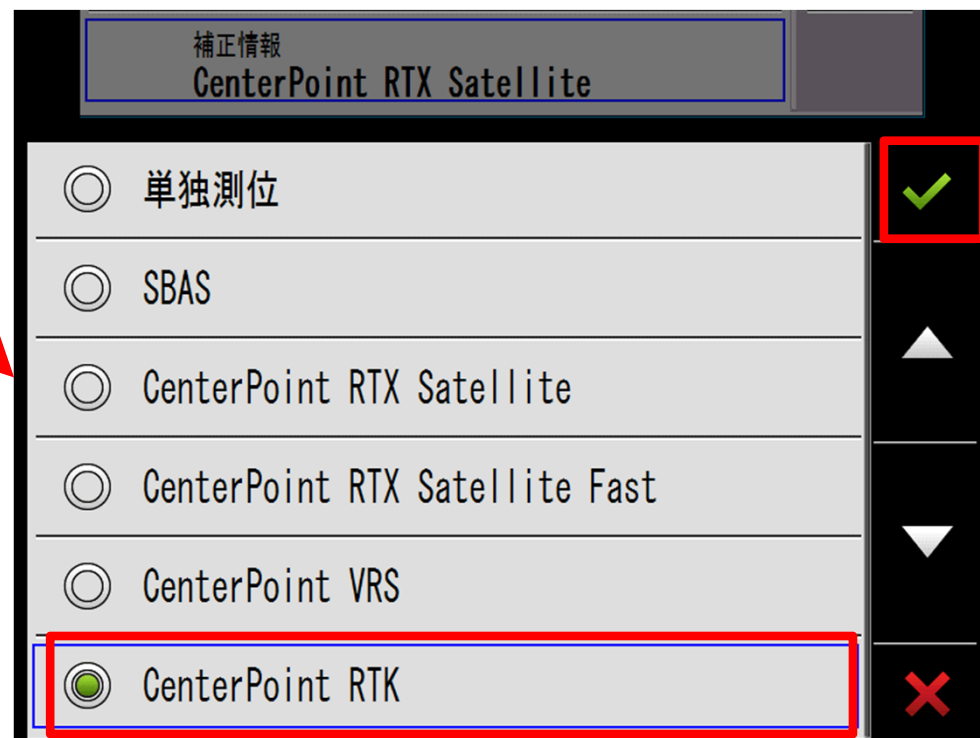
# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



「補正情報」をタップし、  
「CenterPoint RTK」を選択する

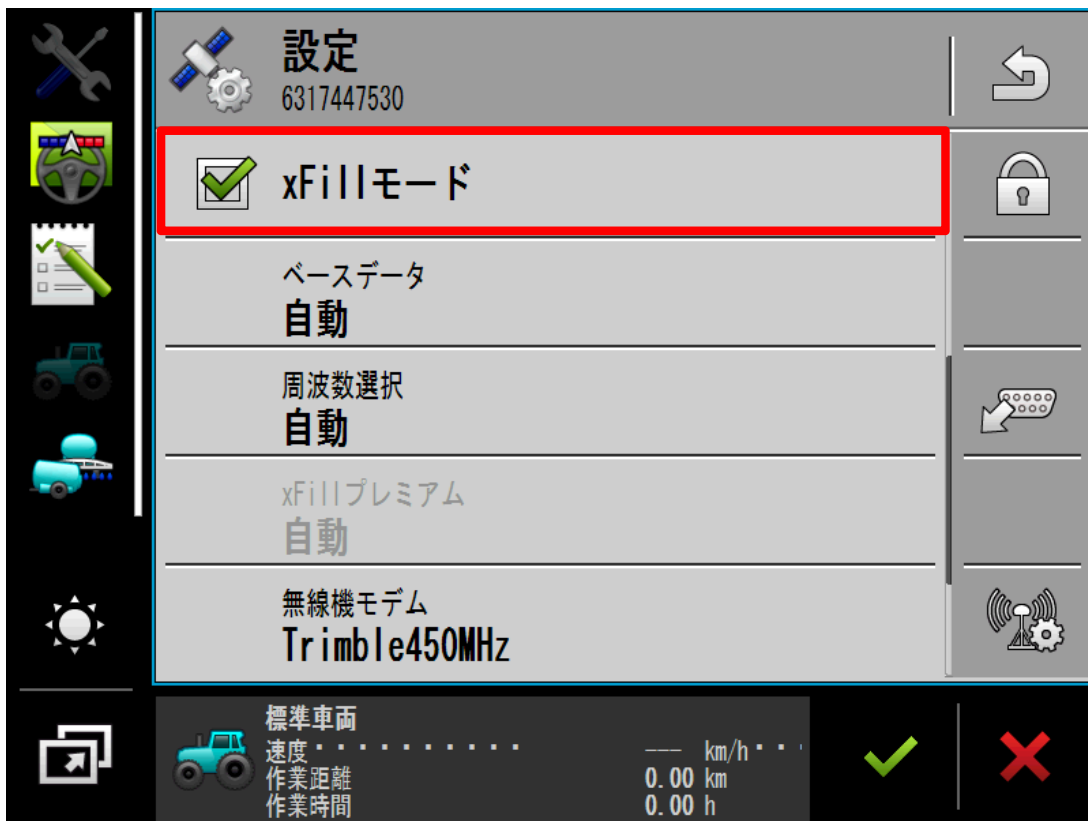
 をタップする





# Track-Guide III

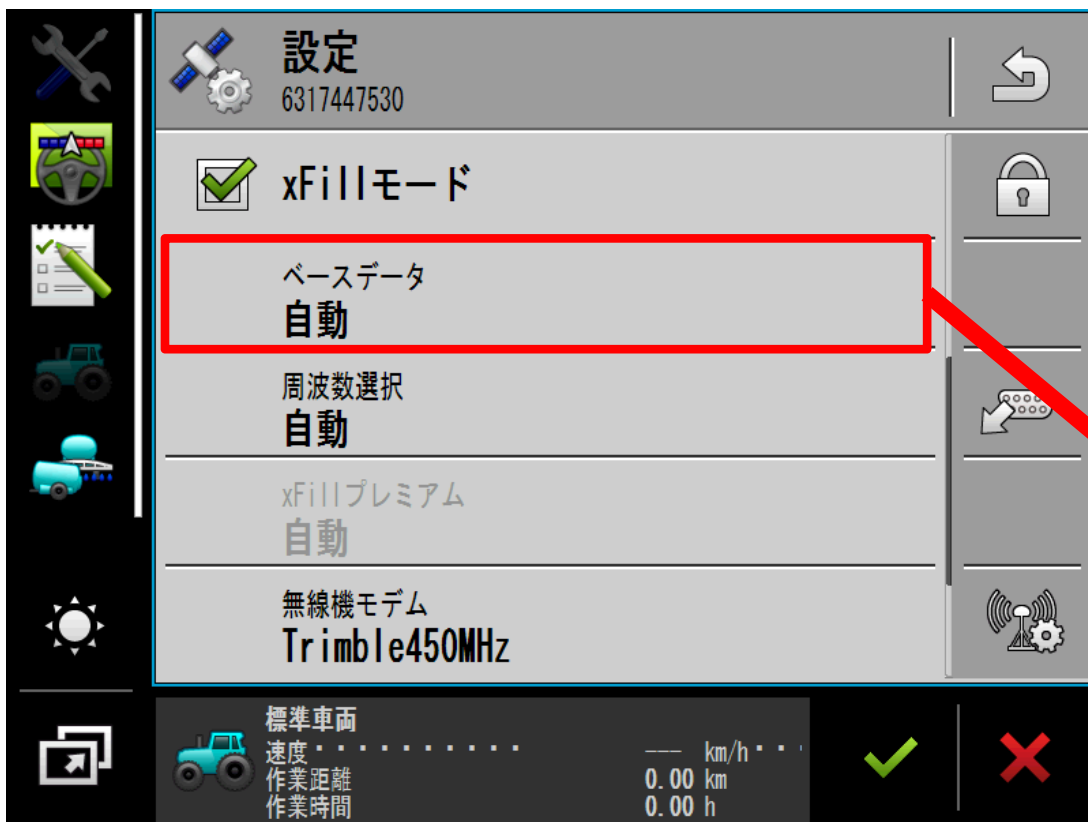
## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



「xFillモード」をオンにする  
(チェックマークをつける)  
※初期設定はオンになって  
います

# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



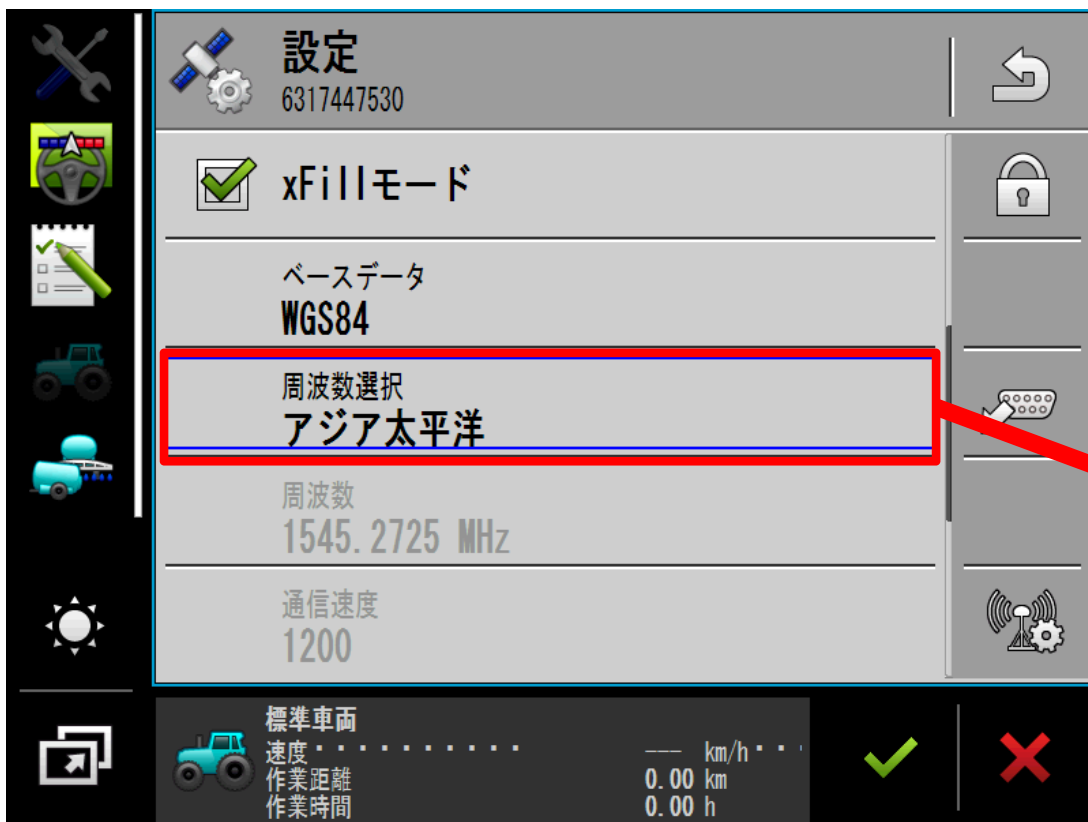
「ベースデータ」をタップし、  
「WGS84」を選択する

 をタップする



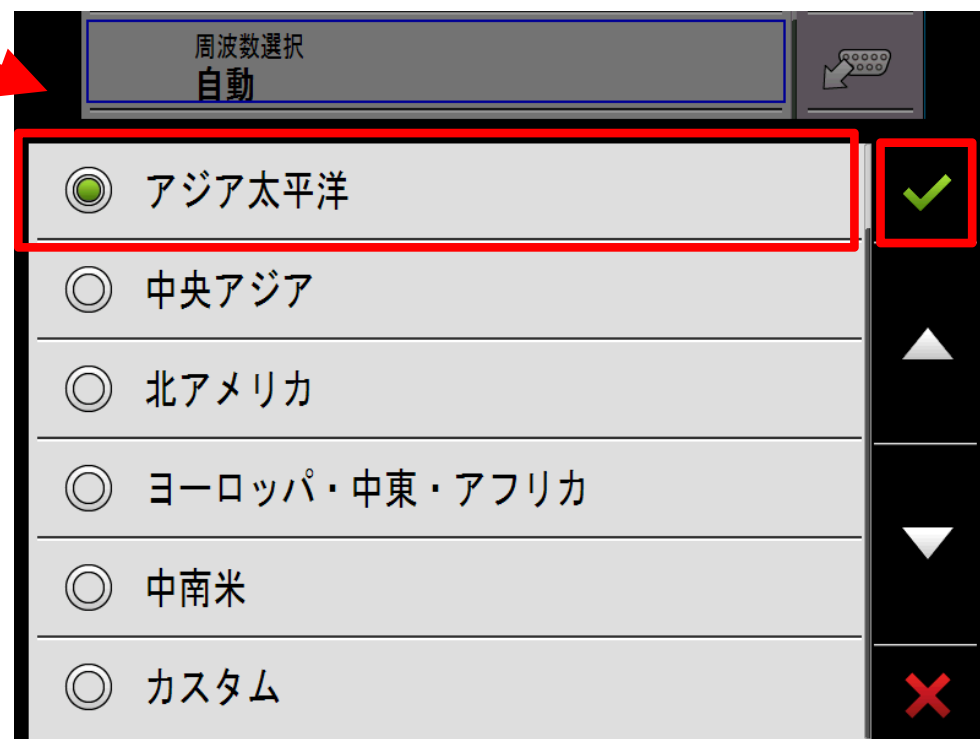
# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



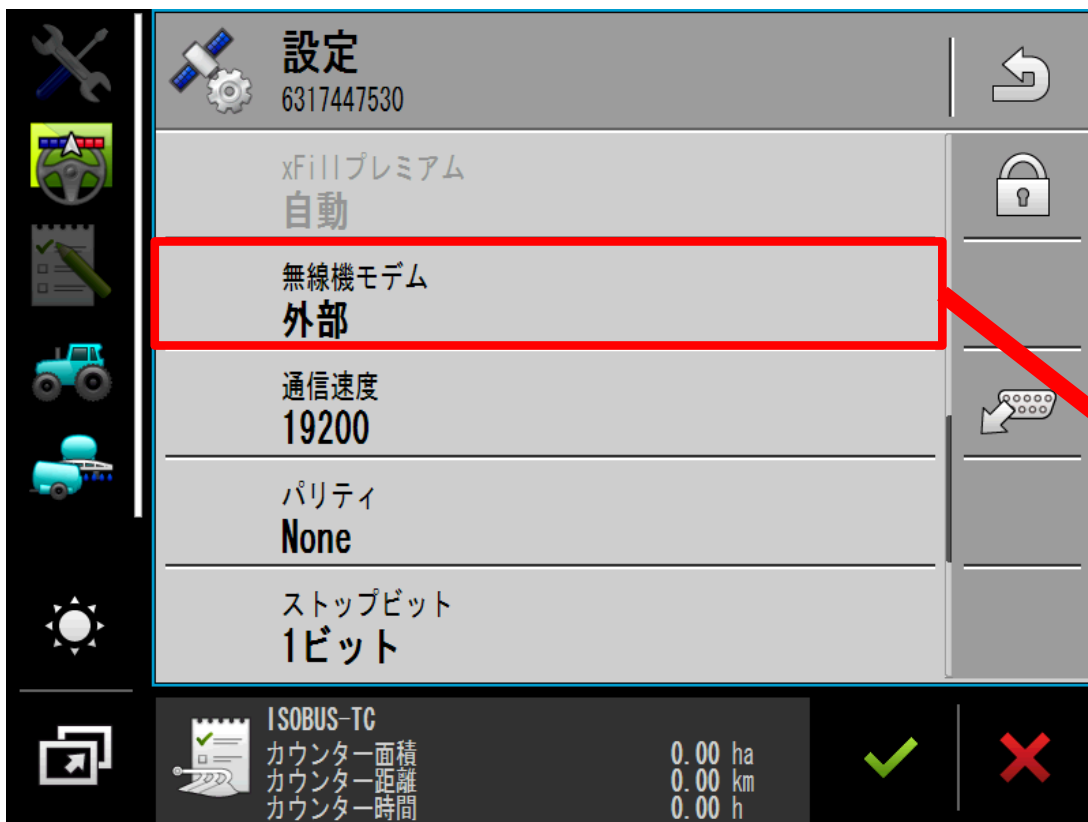
「周波数選択」をタップし、  
「アジア太平洋」を選択する

 をタップする



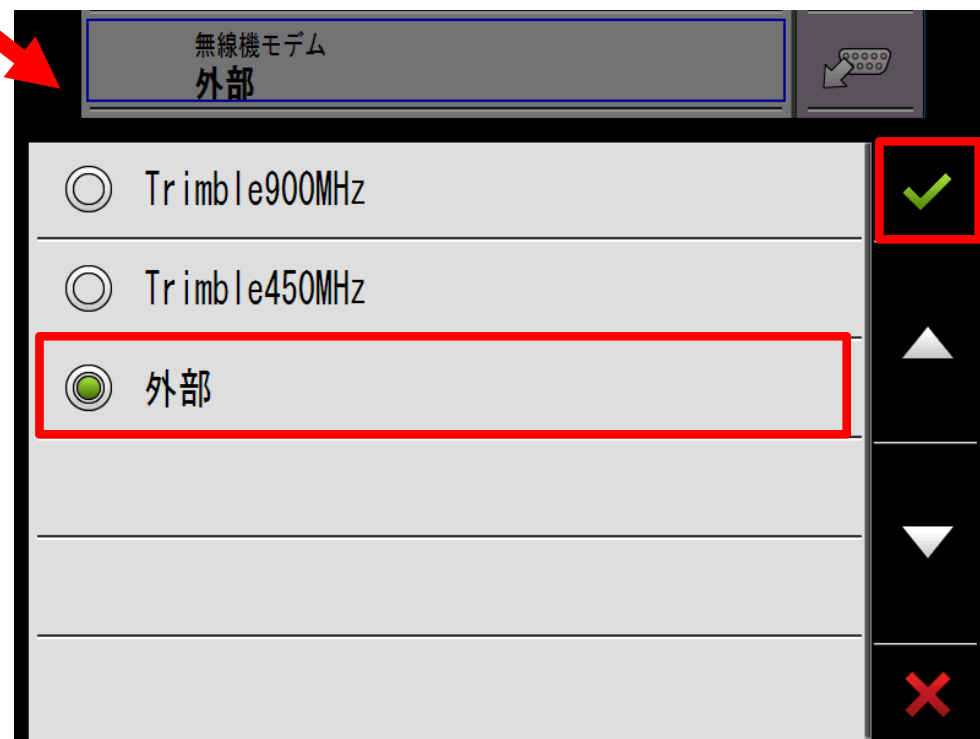
# Track-Guide III

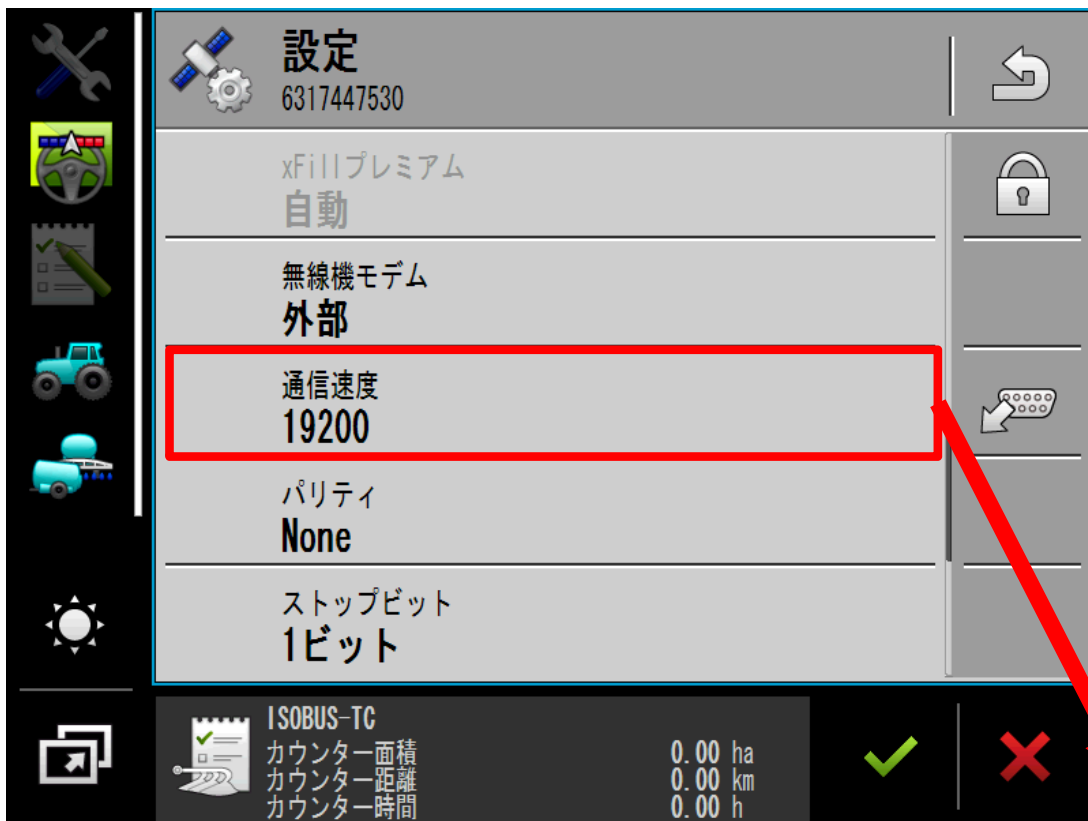
## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



「無線機モデム」をタップし、  
「外部」を選択する

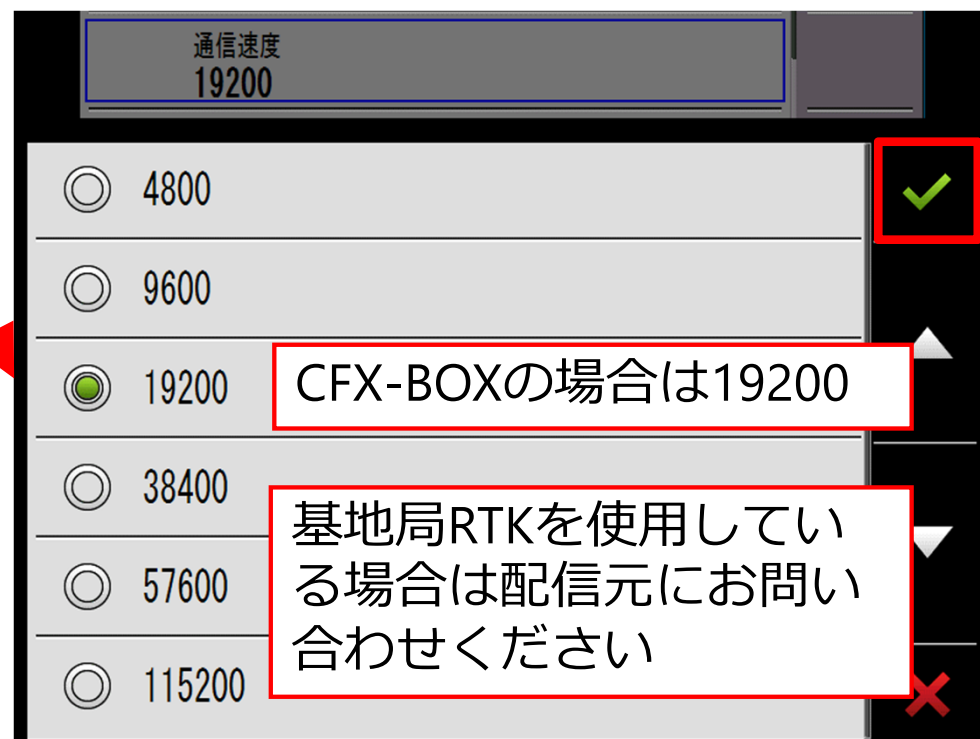
 をタップする





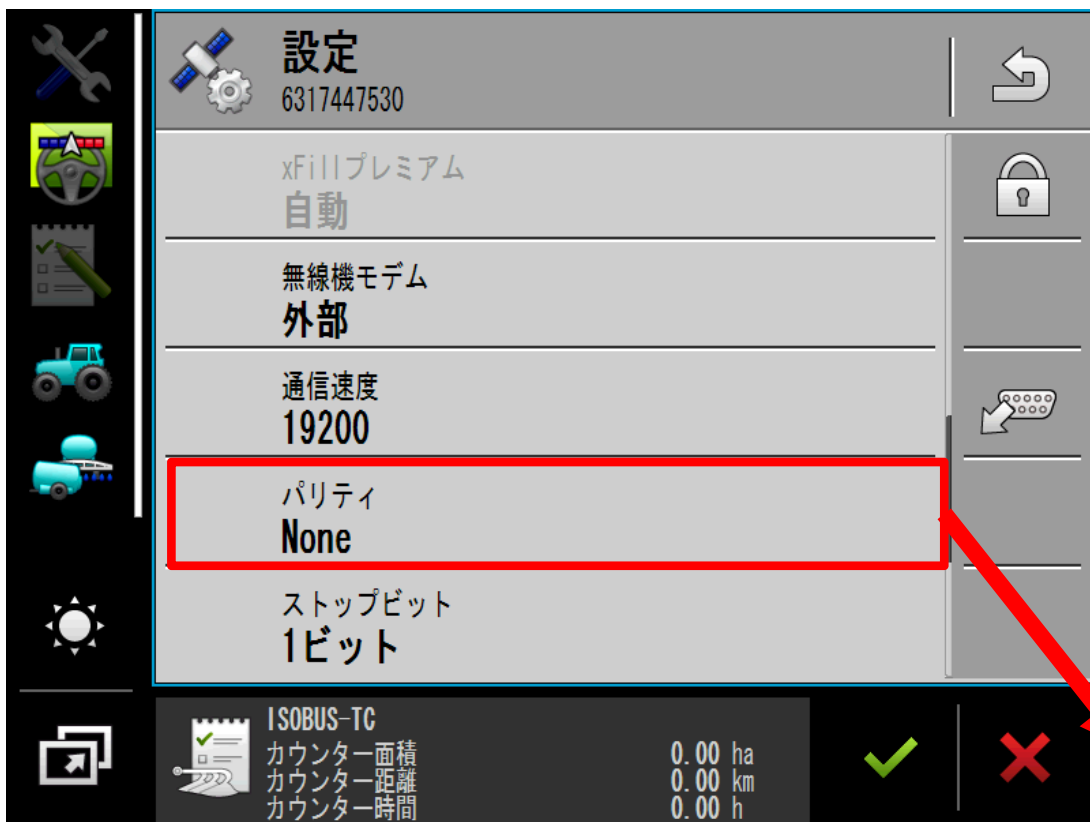
「通信速度」をタップし、  
使用機器に応じて選択する

 をタップする



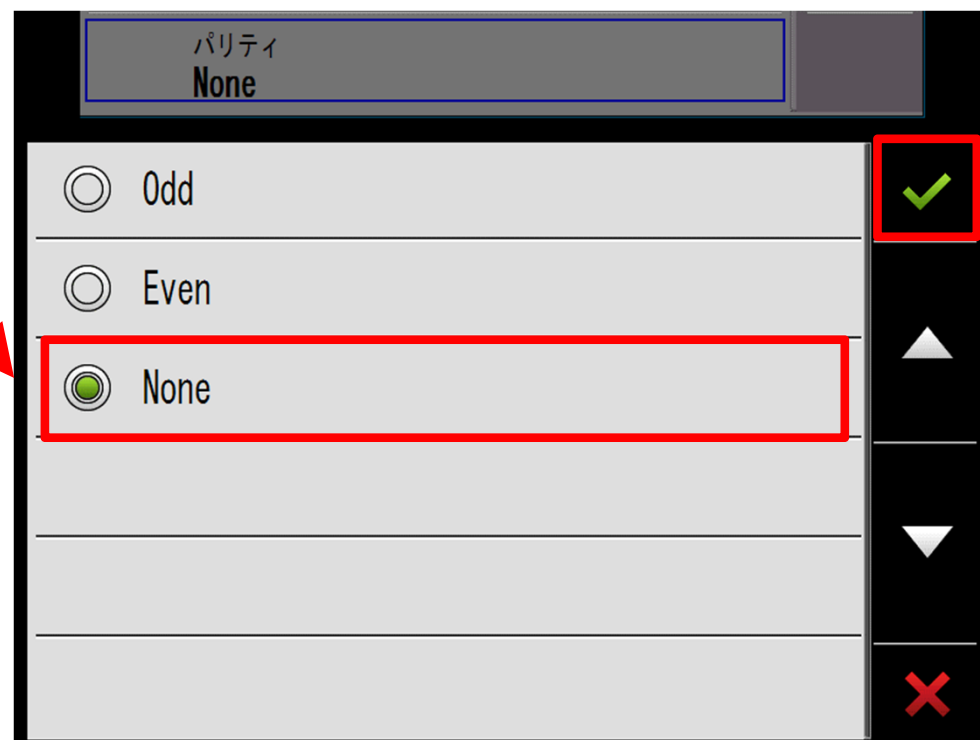
# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



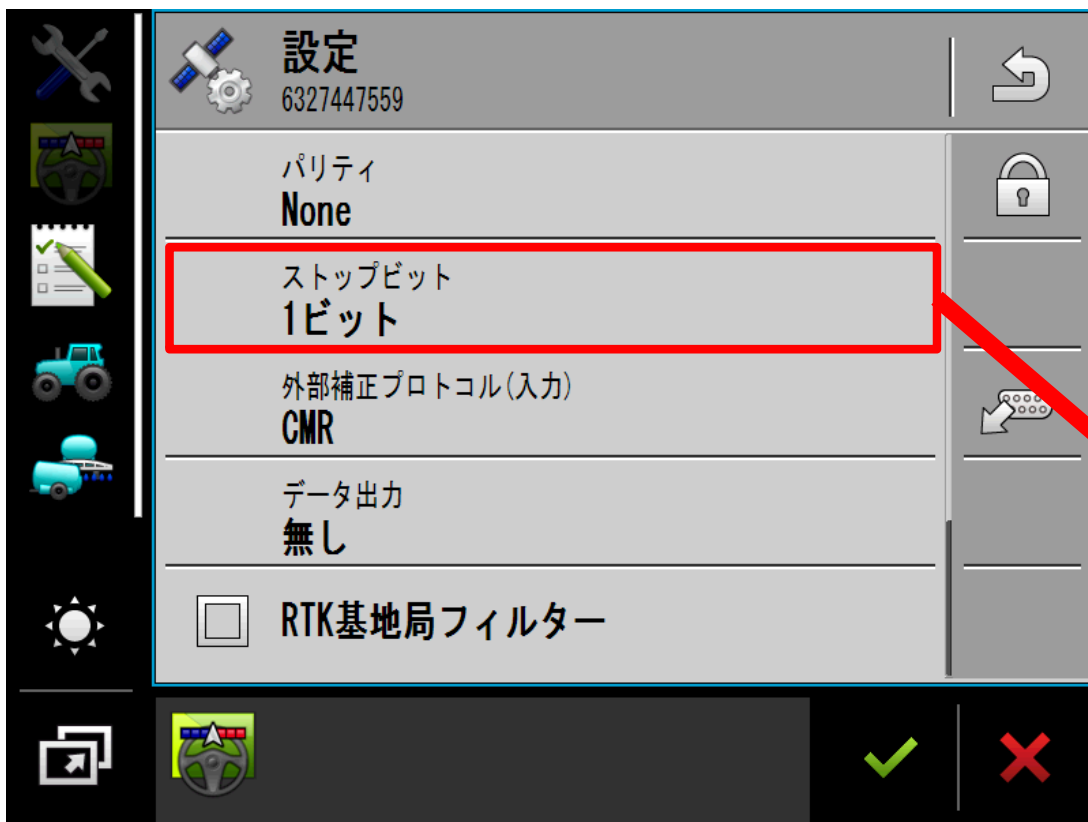
「パリティ」をタップし、  
「None」を選択する

 をタップする



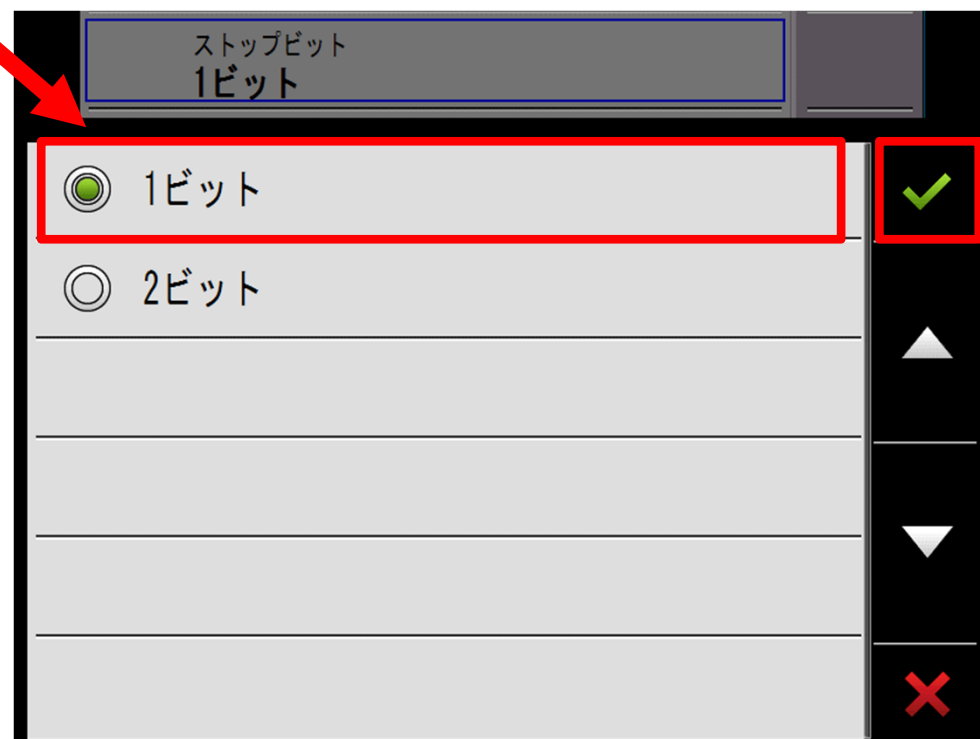
# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



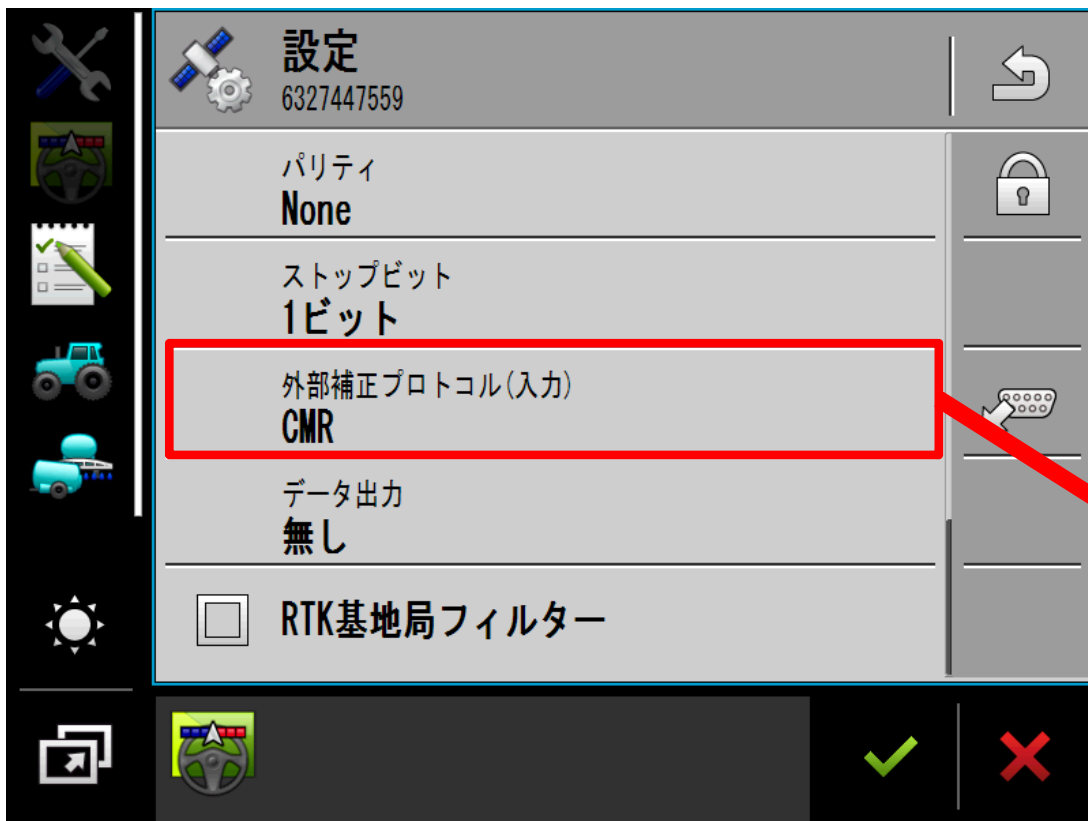
「ストップビット」をタップし、  
「1ビット」を選択する

 をタップする



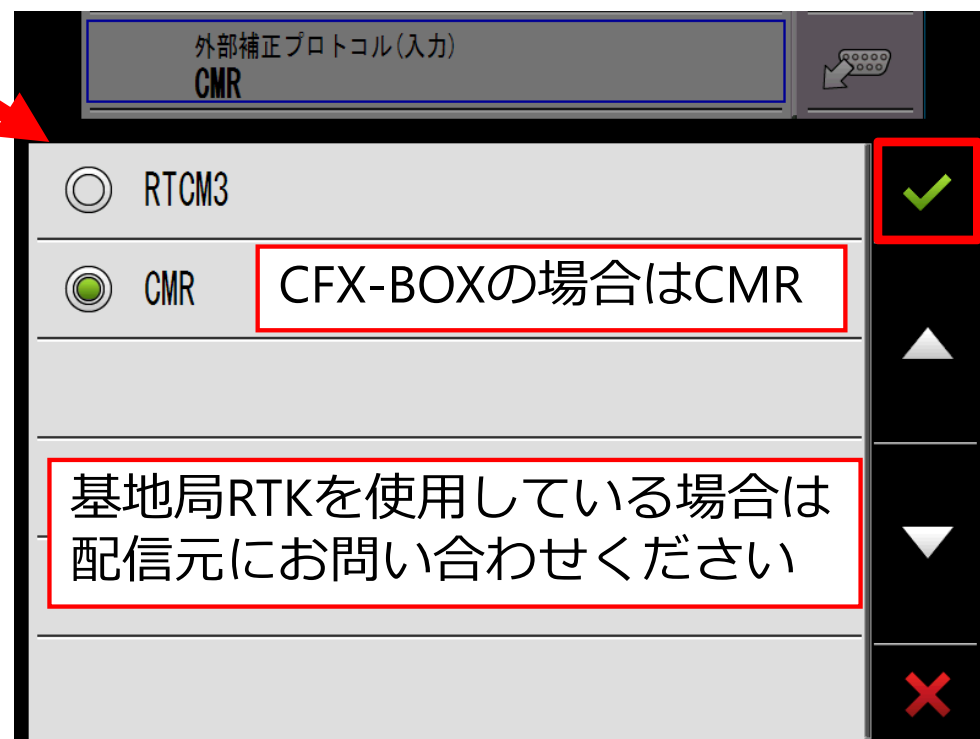
# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



「外部補正プロトコル」で  
補正情報に応じて選択する

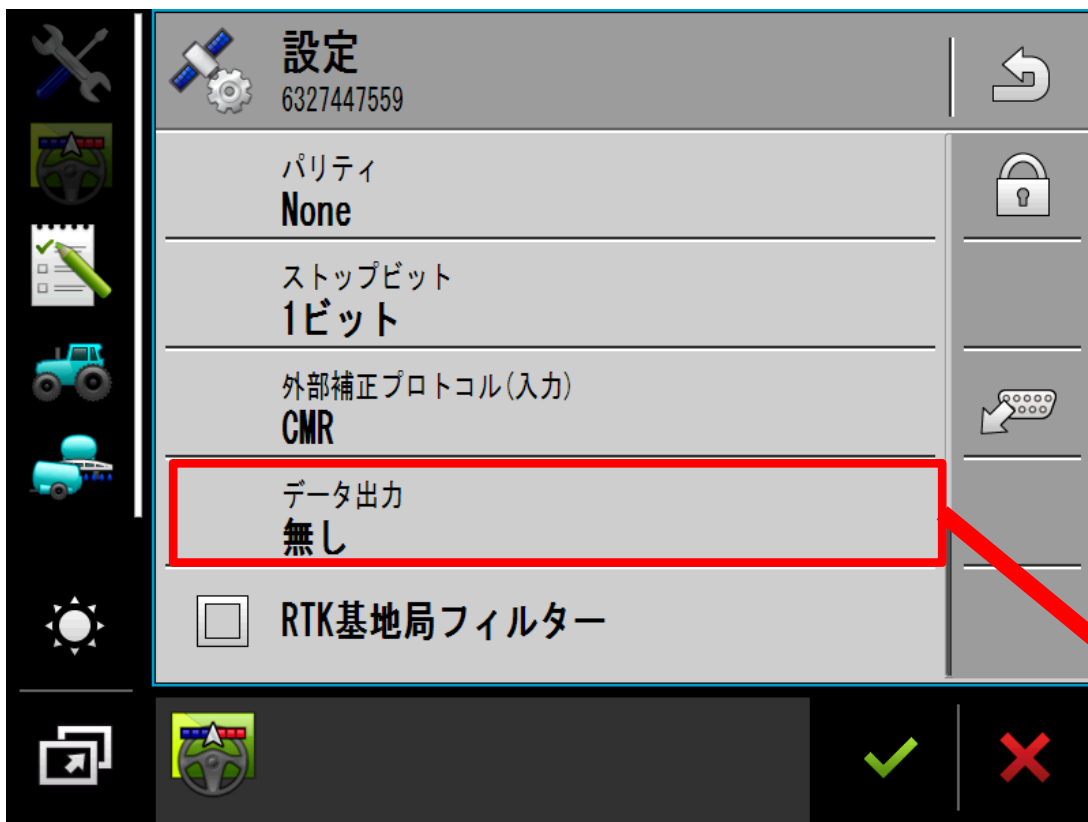
 をタップする





# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



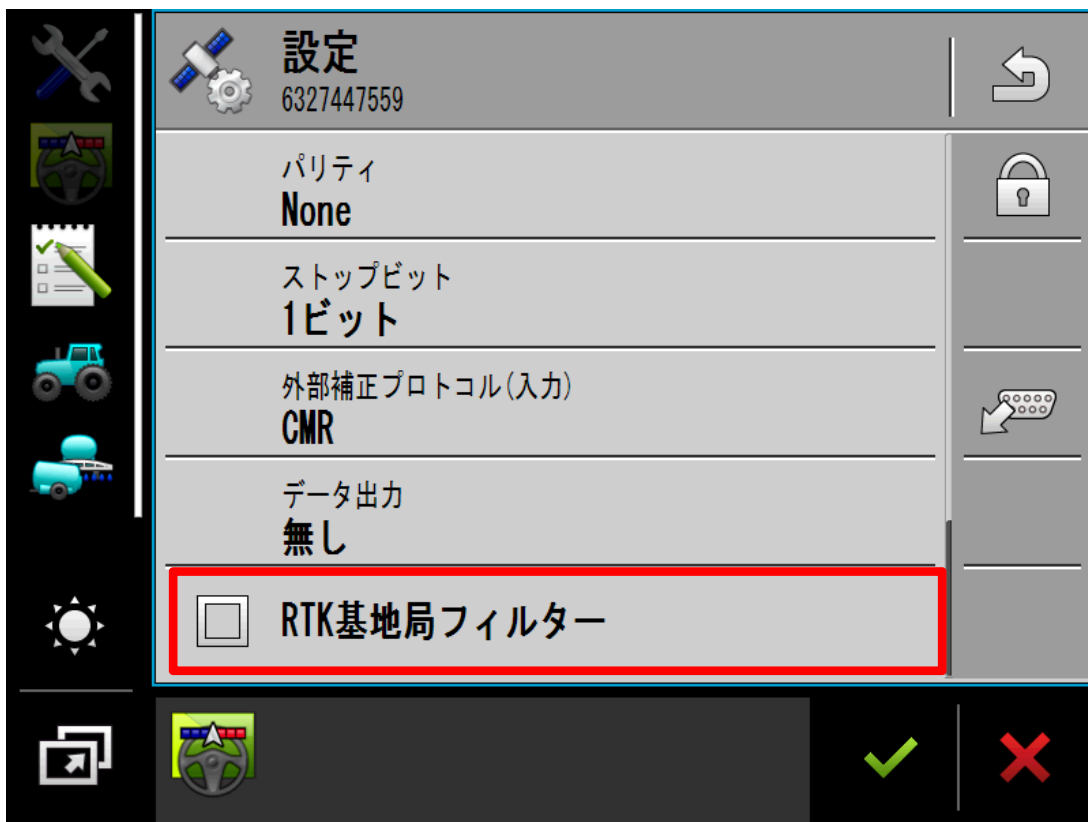
「データ出力」をタップし、  
「無し」を選択する

 をタップする




# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)

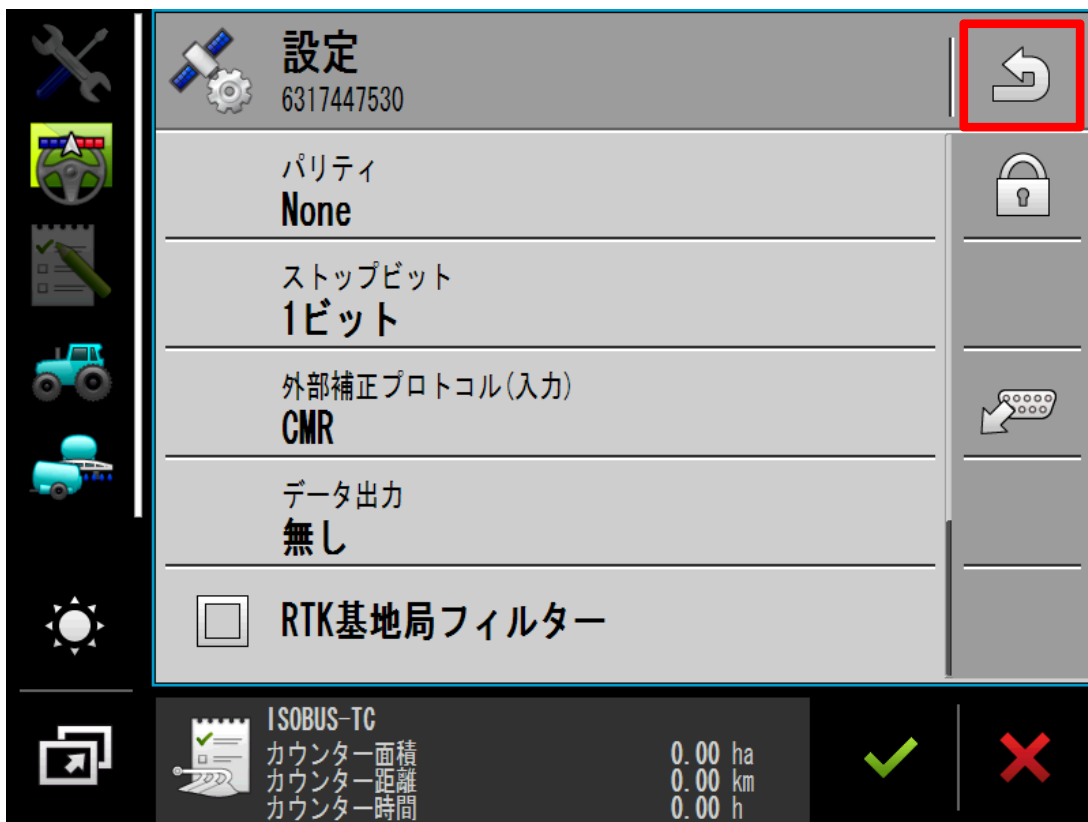



「RTK基地局フィルター」を  
**オフ**にする  
(チェックマークを外す)  
※初期設定は**オフ**になって  
いますので、変更しない  
で下さい

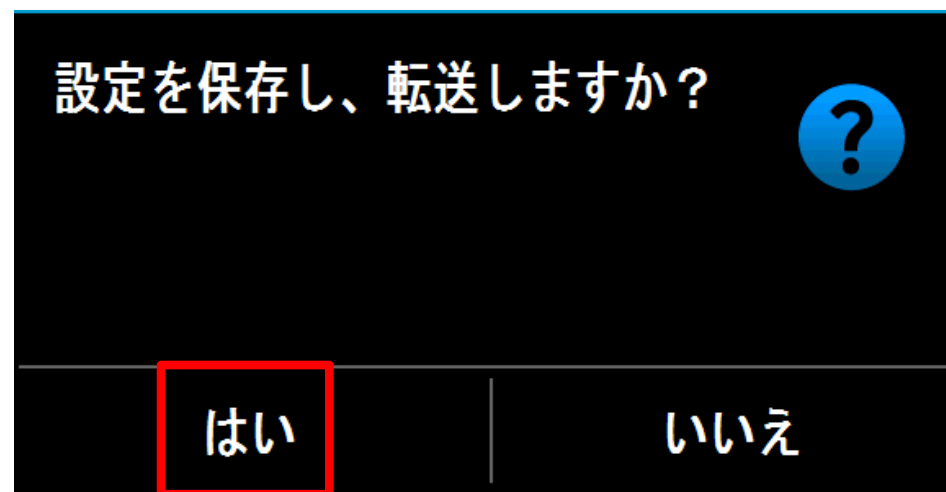
 ※一度でも**オン**のまま設定を保存してしまった場合、  
RTKが接続できなくなる場合があります。  
その場合は営業担当者までご相談ください。

# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



 をタップし、  
設定を保存する  
「はい」をタップする



# Track-Guide III

## 1. GNSS設定 (RTK・CFX-BOX編)



設定の書き込みが完了したら、再起動をします。

### 【再起動方法】

- ①電源ボタンを1秒間押し、電源を切る
- ②画面が消えたら10秒待つ
- ③電源ボタンを1秒間押し、電源を入れる
- ④NAV-900との接続が完了するまで待つ

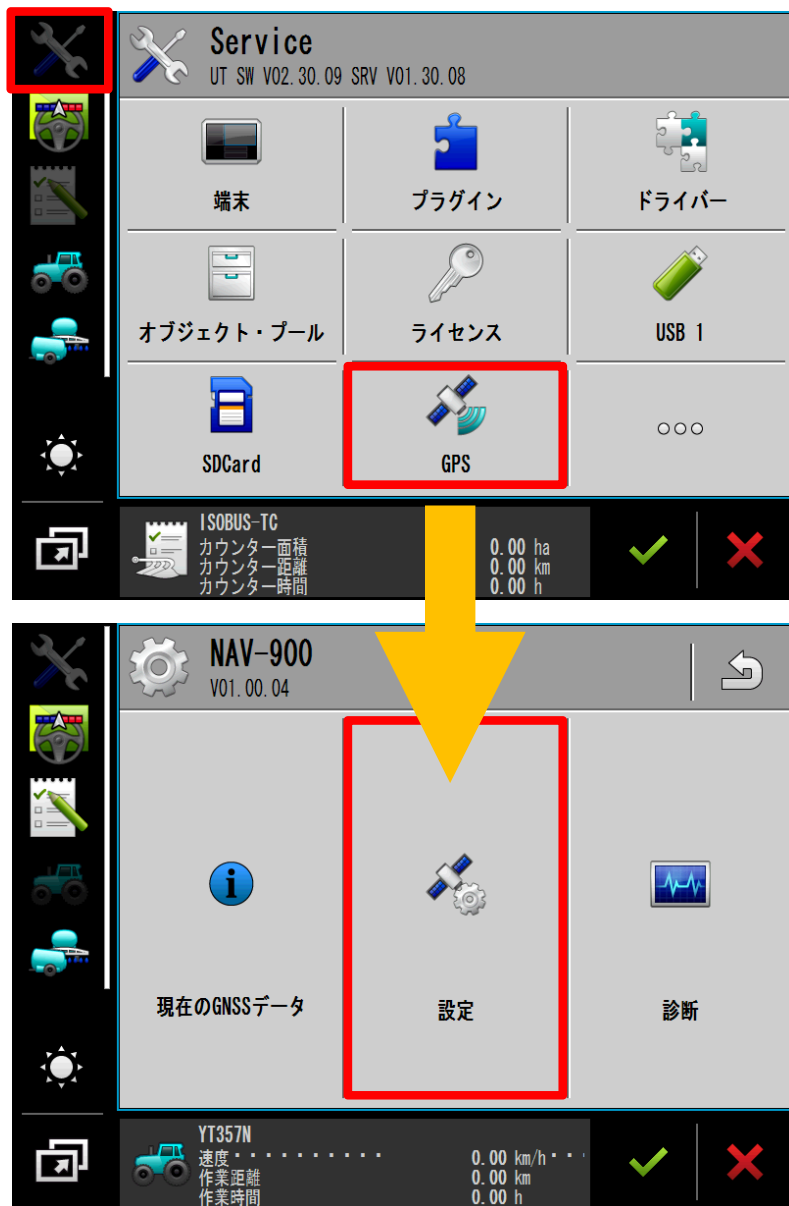


# Track-Guide III

## 2. GNSS設定 (RTX編)

# Track-Guide III

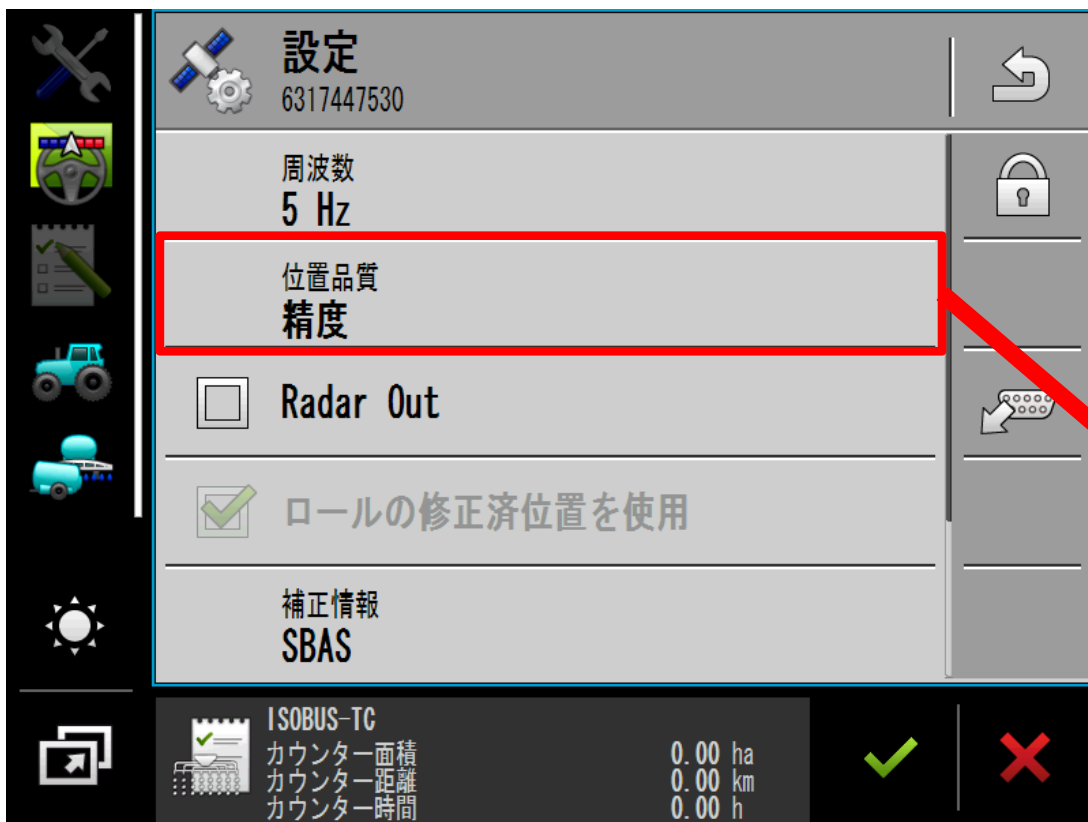
## 2. GNSS設定 (RTX編)



をタップする

「GPS」をタップする

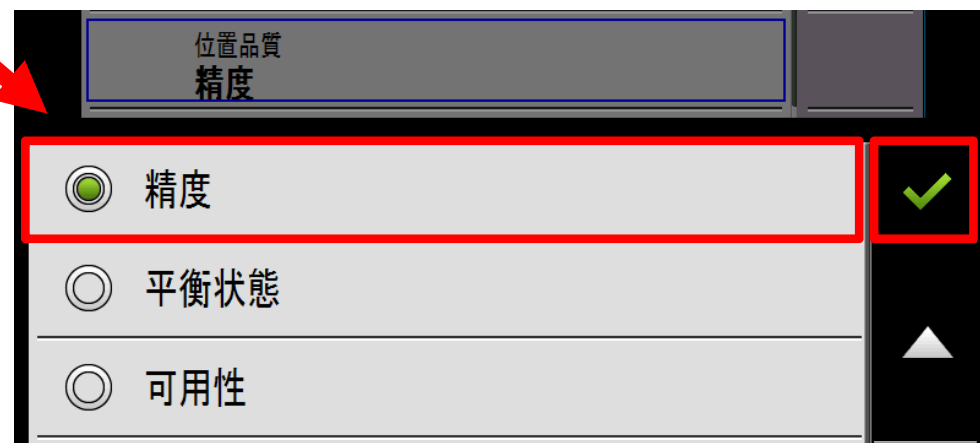
「設定」をタップする



「位置品質」をタップし、

「精度」を選択する

 をタップする

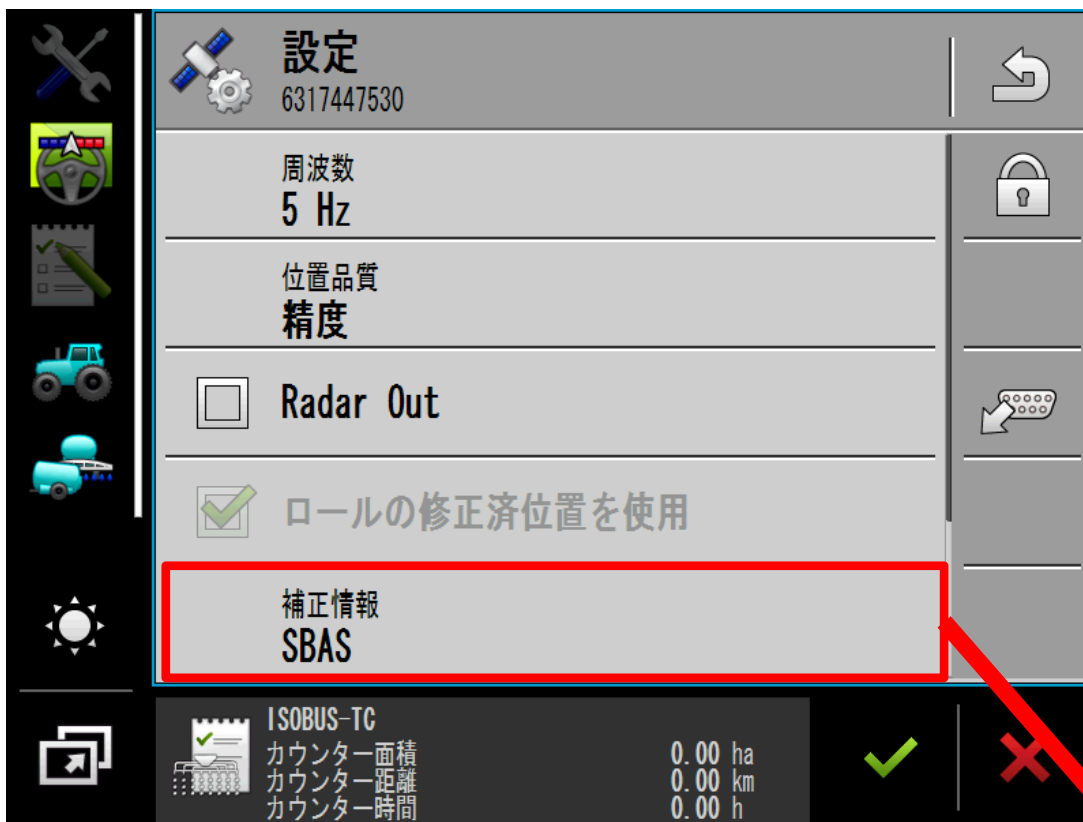


「位置品質」→**精度**がおすすめ

- 精度→精度品質が確保されたのち、Fixをする。
- 平衡状態→精度優先と作業優先の間。
- 可用性→精度品質が確保されている間にFixを優先。

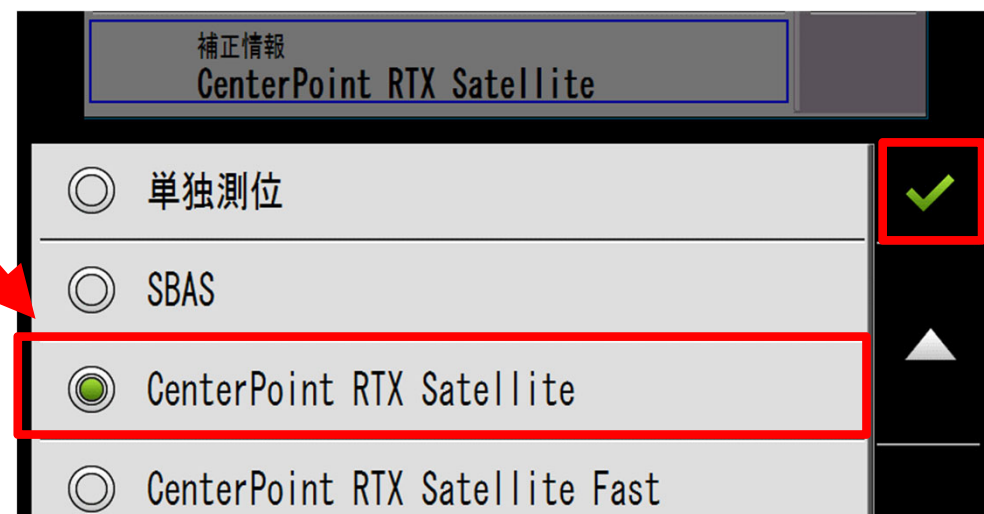
# Track-Guide III

## 2. GNSS設定 (RTX編)



「補正情報」をタップし、  
「CenterPoint RTX Satellite」  
を選択する

 をタップする





# Track-Guide III

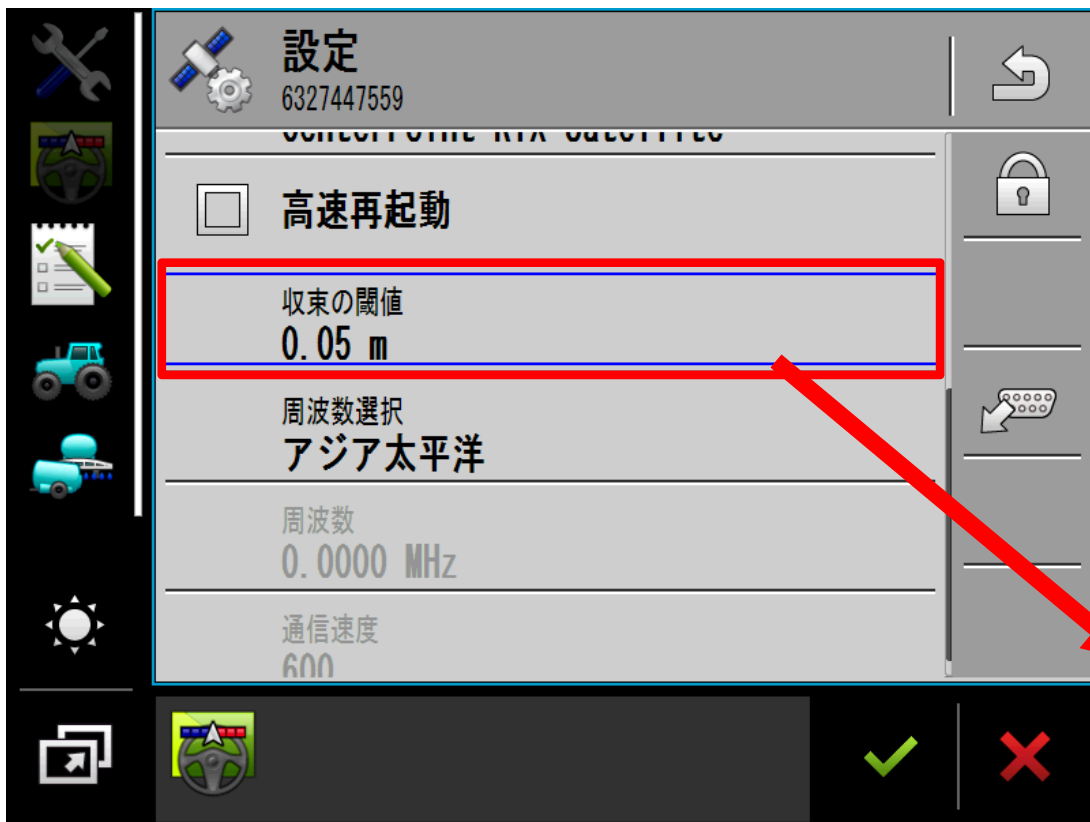
## 2. GNSS設定 (RTX編)



「高速再起動」を**オフ**にする  
(チェックマークを外す)  
※初期設定は**オフ**になって  
いますので、変更しない  
で下さい

# Track-Guide III


## 2. GNSS設定 (RTX編)



「収束の閾値」をタップし、  
「0.05」を入力する

 をタップする



※0.05の場合は、これをタップする 

# Track-Guide III

## 2. GNSS設定 (RTX編)



「周波数選択」をタップし、  
「アジア太平洋」を選択する

 をタップする



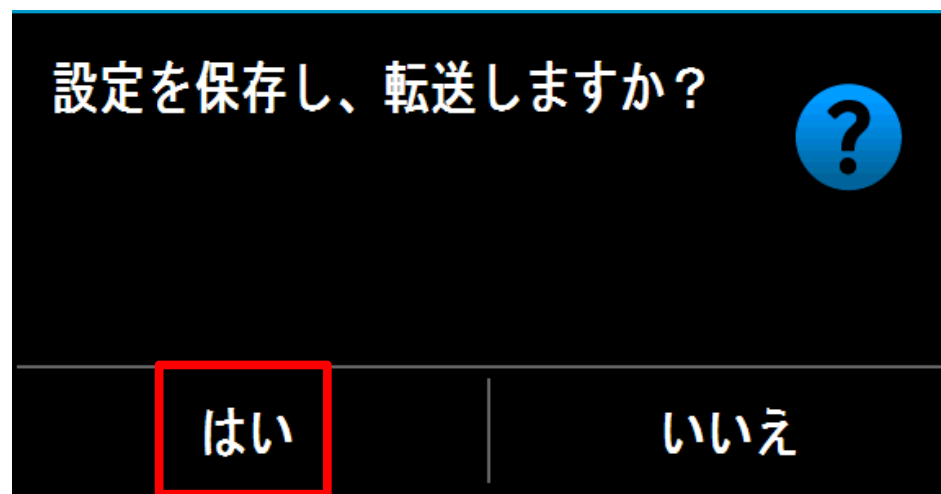
# Track-Guide III

## 2. GNSS設定 (RTX編)



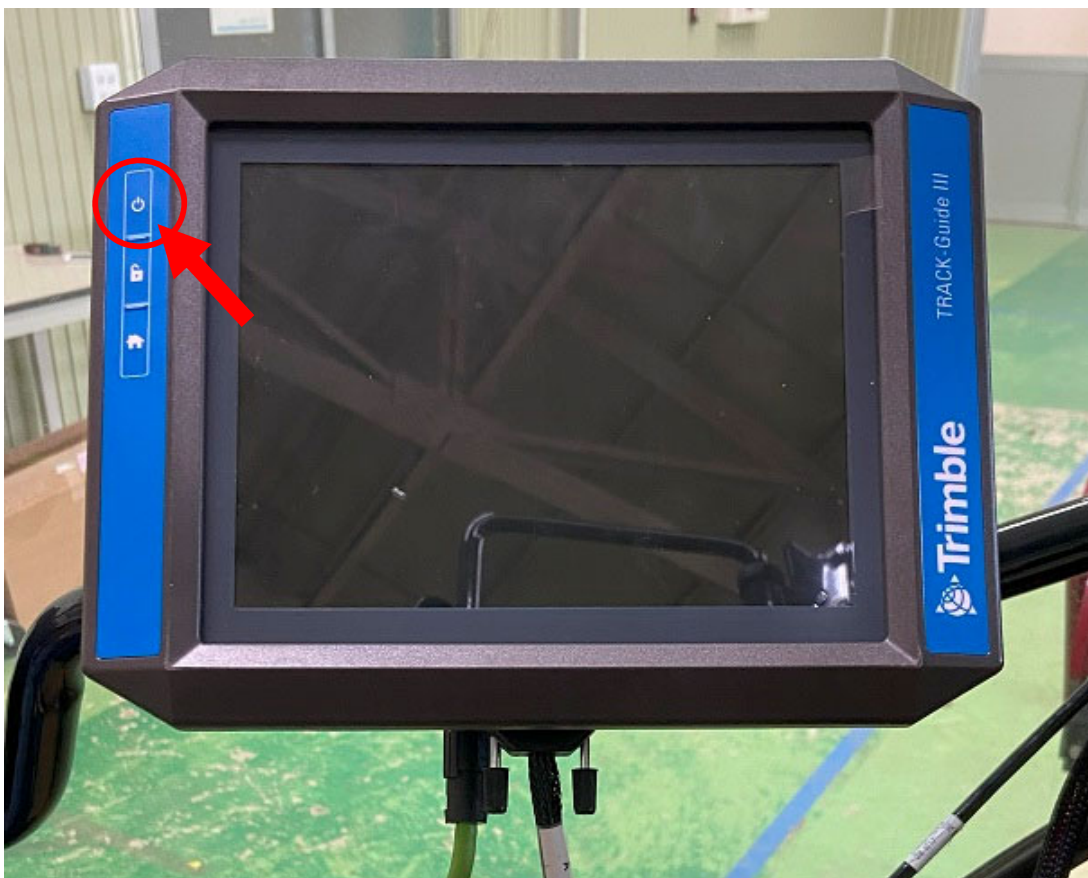
 をタップし設定を保存する

「はい」 をタップする



# Track-Guide III

## 2. GNSS設定 (RTX編)



設定の書き込みが完了したら、再起動をします。

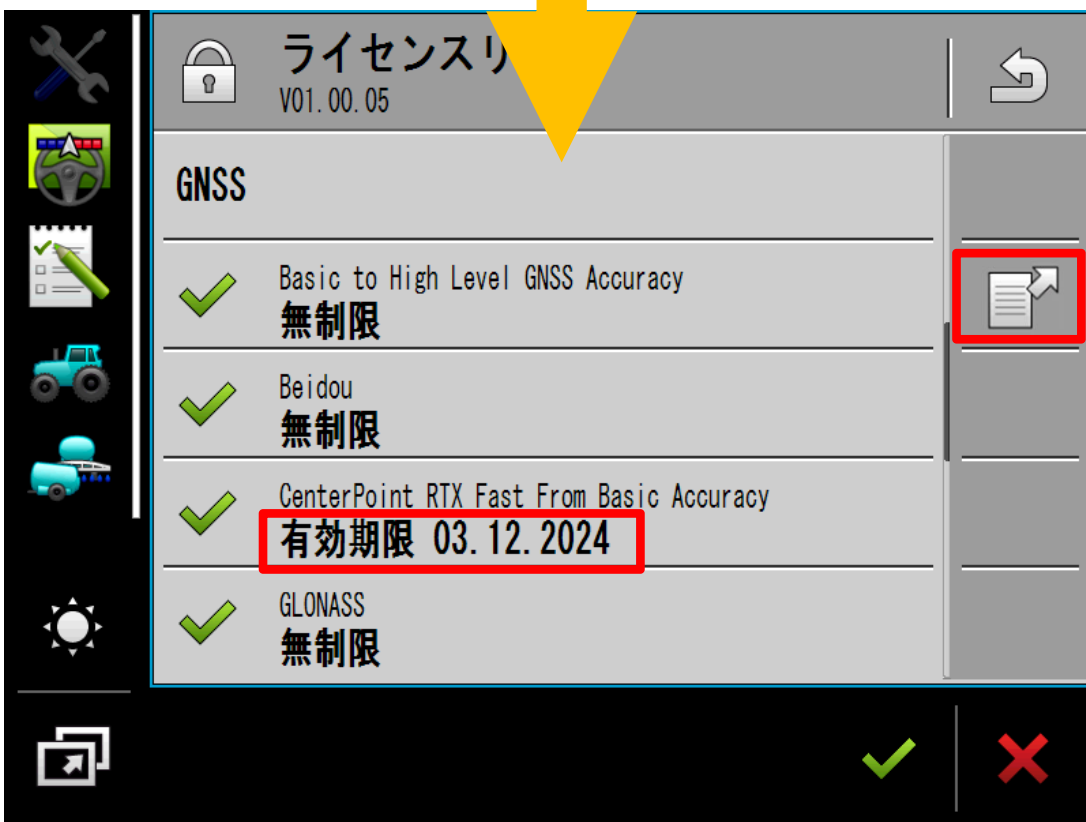
### 【再起動方法】

- ①電源ボタンを1秒間押し、電源を切る
- ②画面が消えたら10秒待つ
- ③電源ボタンを1秒間押し、電源を入れる
- ④NAV-900との接続が完了するまで待つ

# Track-Guide III

## 2. GNSS設定（RTX編）

- ライセンス有効期限の確認と、更新方法



### 【有効期限の確認】

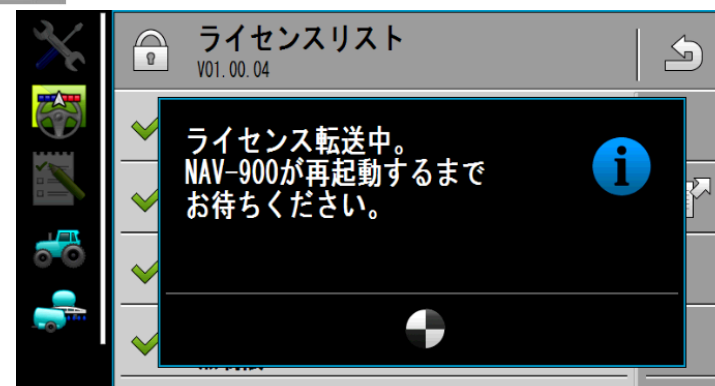
→GPS→設定の順で選択し

をタップする

※ライセンス一覧に有効期限が表示される

### 【ライセンスの更新】

ライセンスを入れたUSBを挿した状態で をタップする



※ファイル名は「[NAV-900のSN].license」である必要があります



# Track-Guide III

## 3. 車両設定



をタップする

「設定」をタップする



の設定は変更しないで  
ください。

設定を変更すると、自動操舵が  
使用できなくなります。

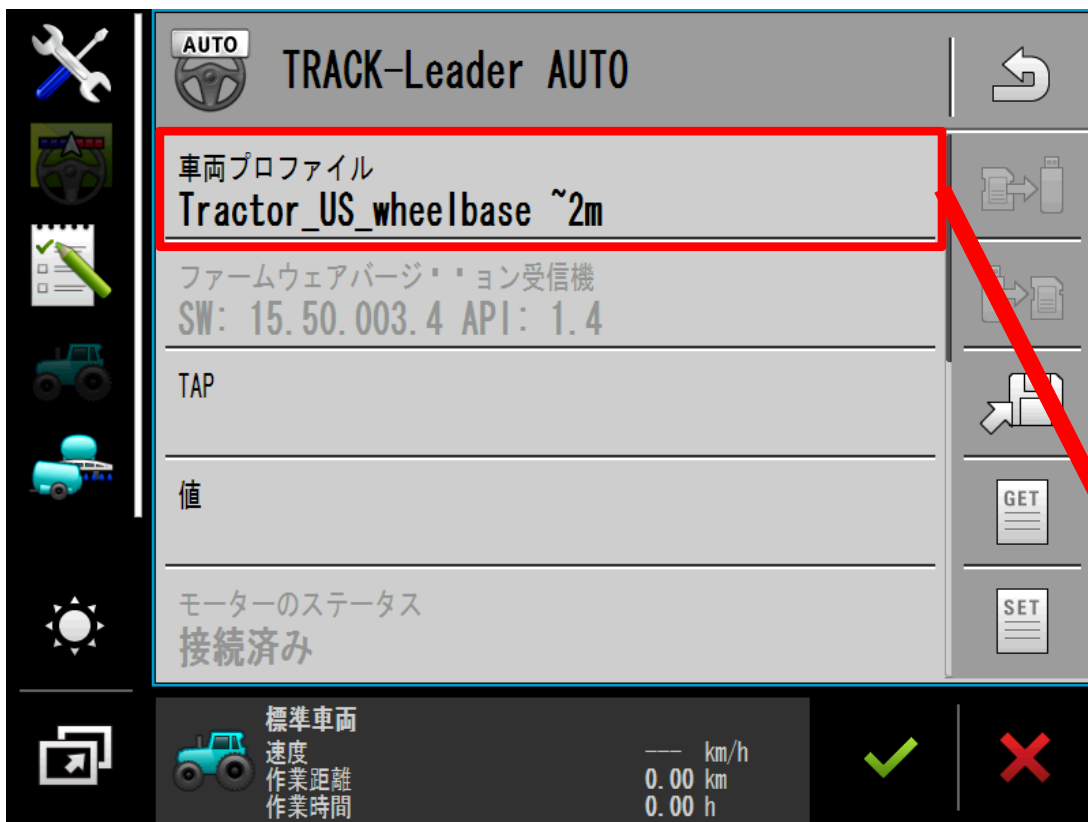


# Track-Guide III

## 3. 車両設定



「TRACK-Leader AUTO」  
をタップする



「車両プロファイル」をタップし、選択する

 をタップする



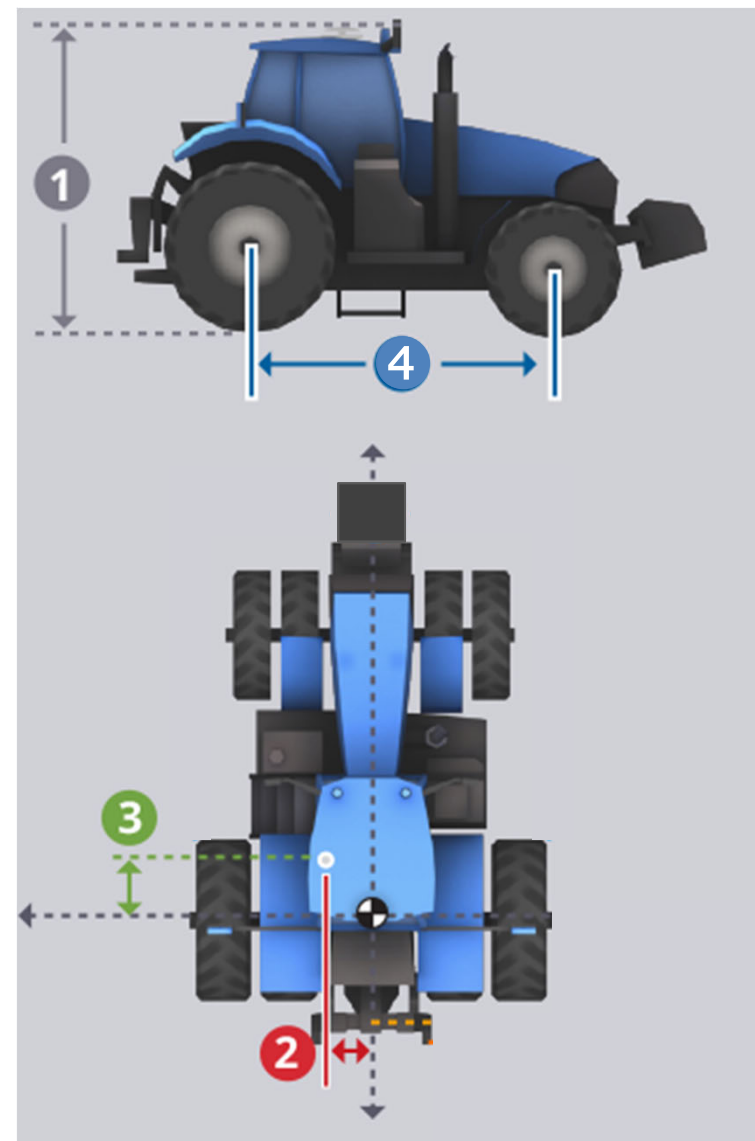
出荷時に4種類のプロファイルを入れてあります  
ホイールベースの長さに応じて選択してください

## 3. 車両設定

車両の寸法を入力します

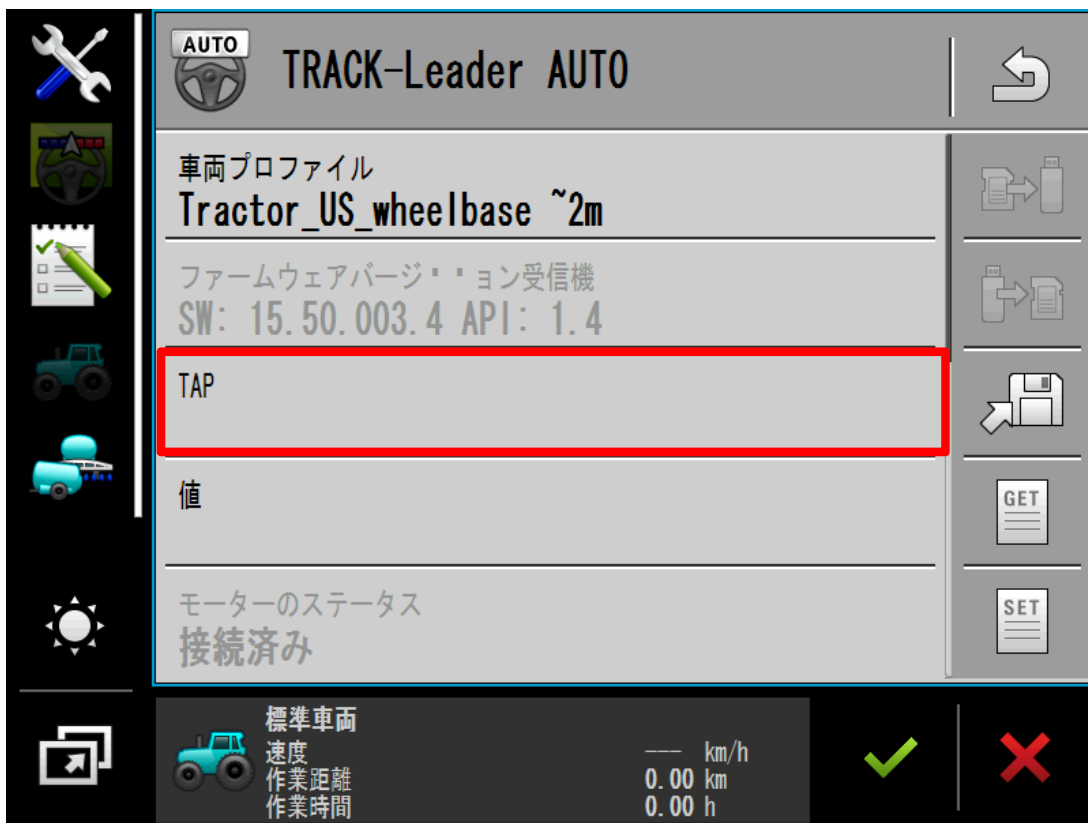
1. 右の絵を参考にしてそれぞれの寸法を測る
2. それぞれに対応する「TAP」コードを入力  
※TAPコードは小文字でも可能です
3. 測定した数値を入力（単位はメートルです）

- ① ALZ = アンテナ高さ  
(必ずマイナスの値になります)
- ② ALY = アンテナ左右オフセット  
(中心より右 → +0m / 左 → -0m)
- ③ ALX = 後輪車軸からアンテナまでの距離  
(前方 → +0m / 後方 → -0m)
- ④ VBL = ホイールベース



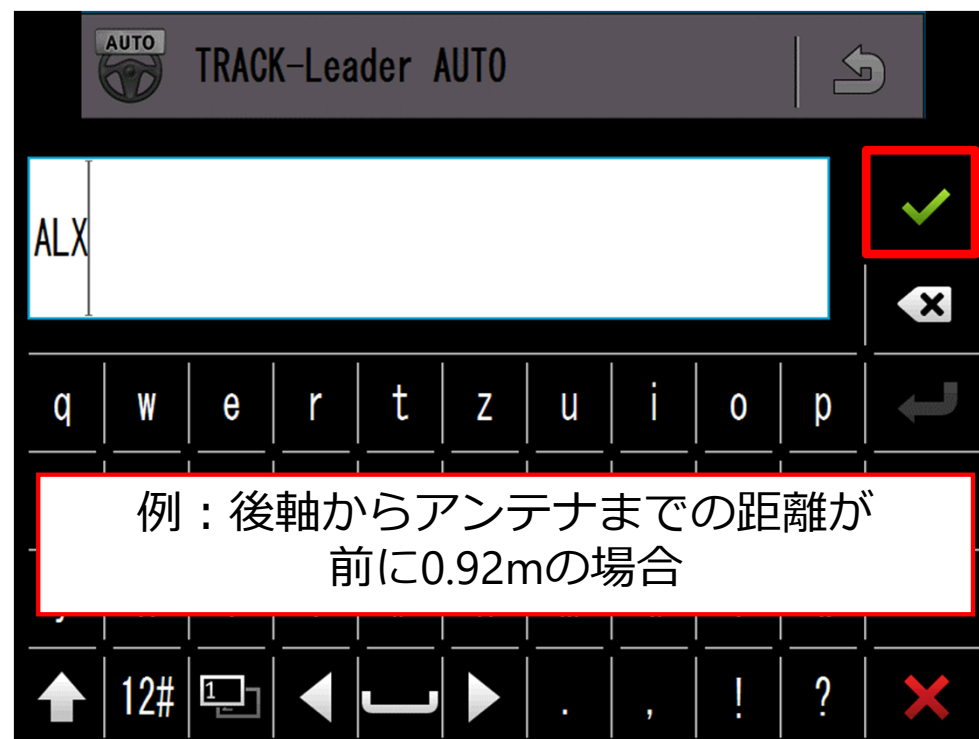
# Track-Guide III

## 3. 車両設定

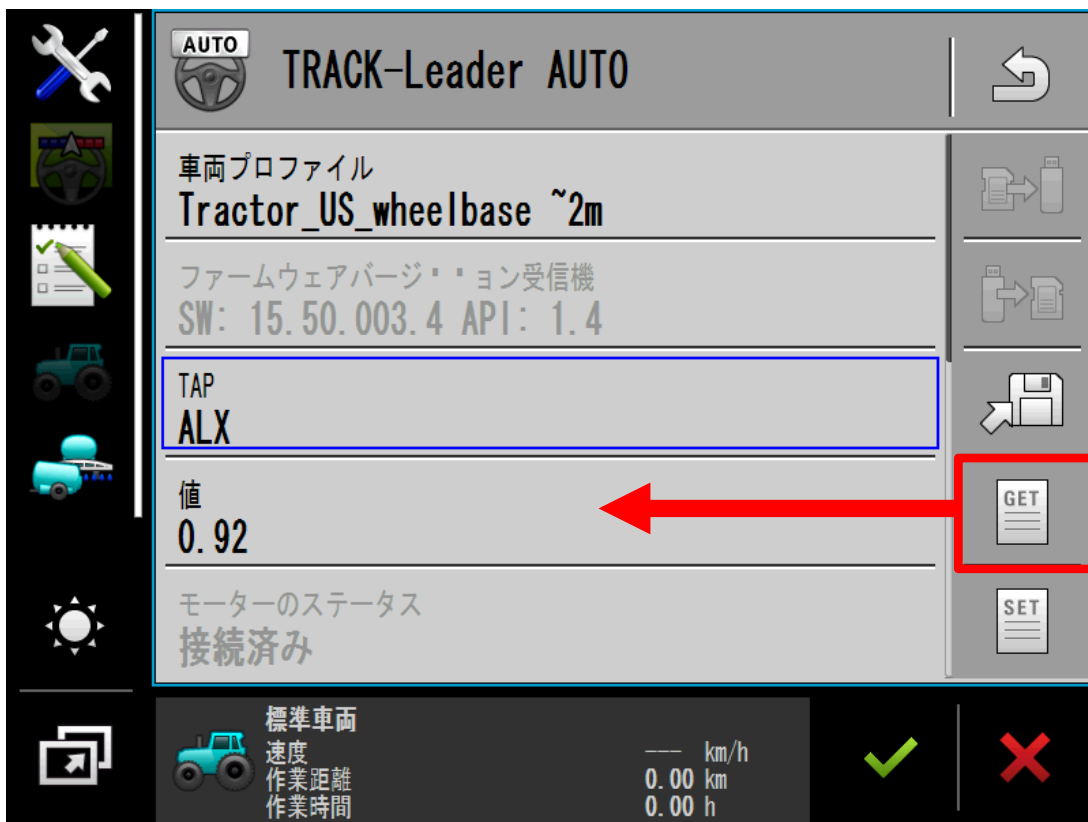


「TAP」をタップし、コードを入力する

 をタップする



## 3. 車両設定



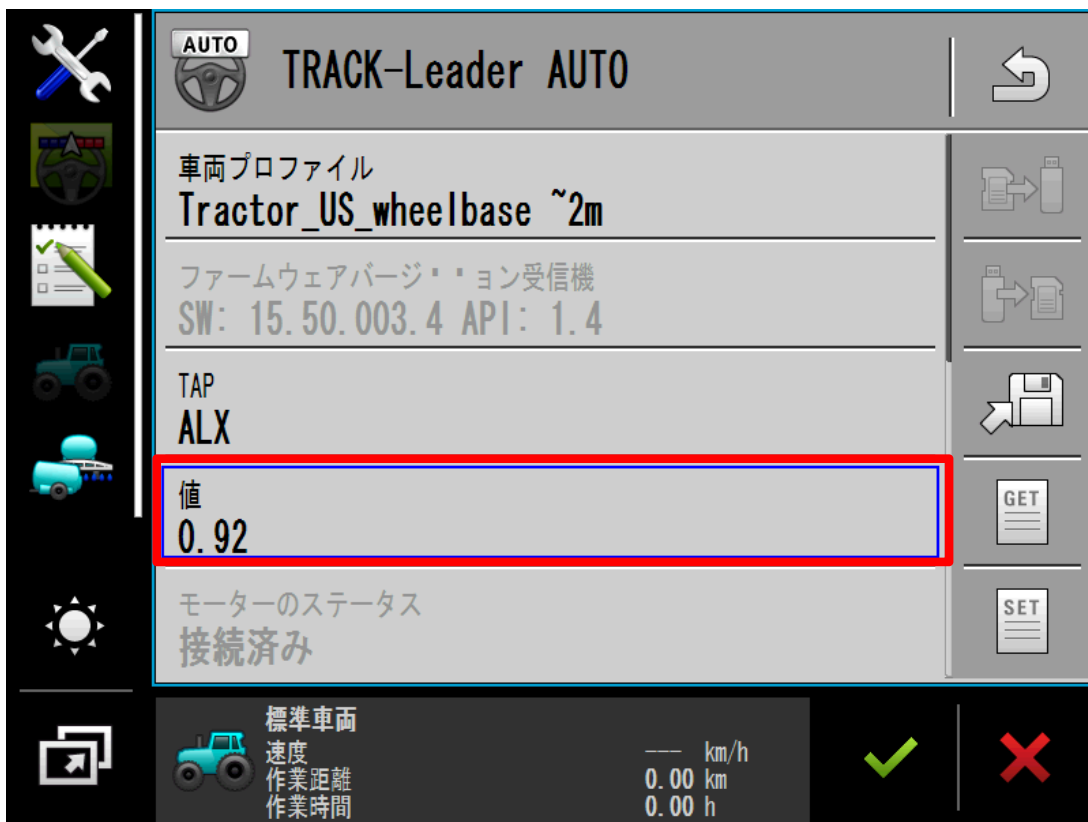
「GET」をタップすると、  
「値」に現在の設定値が表示されます

設定値を確認する場合に使います

例：後軸からアンテナまでの距離が  
前に0.92mの場合

# Track-Guide III

## 3. 車両設定



「値」をタップし数値を  
入力する

 をタップする



# Track-Guide III

## 3. 車両設定

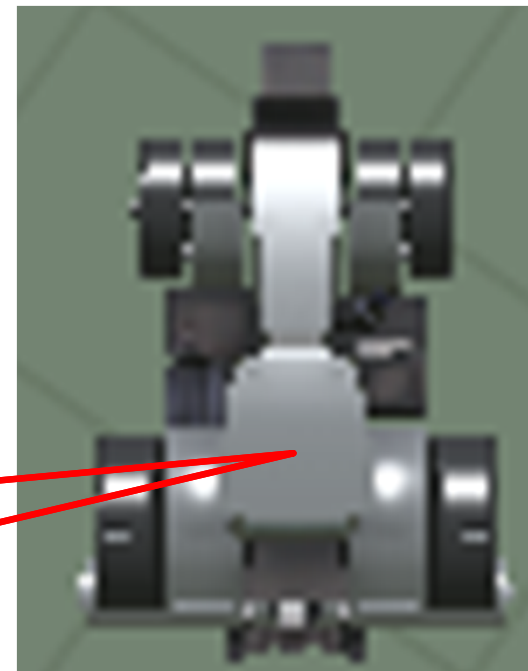


「SET」をタップし、入力した「値」を確定する

例：後軸からアンテナまでの距離が前に0.92mの場合

## 3. 車両設定

アンテナの方向を横向きや後ろ向きに付けた場合、下記のTAP値を入力して変更します  
右図のように配線関係が後ろにくる場合は、変更は不要です



コネクタ 後  
IAY = 0

コネクタ 右  
IAY = 270

コネクタ 前  
IAY = 180

コネクタ 左  
IAY = 90



初期設定時

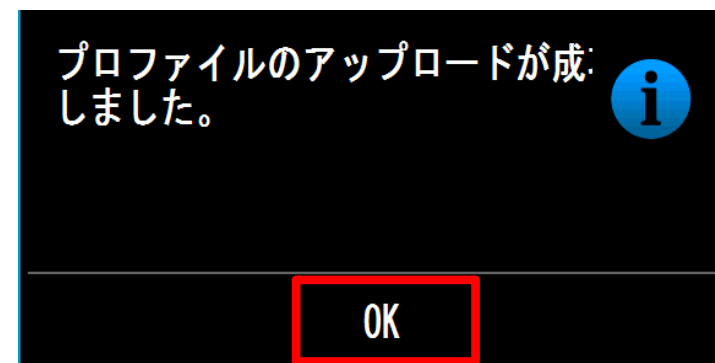
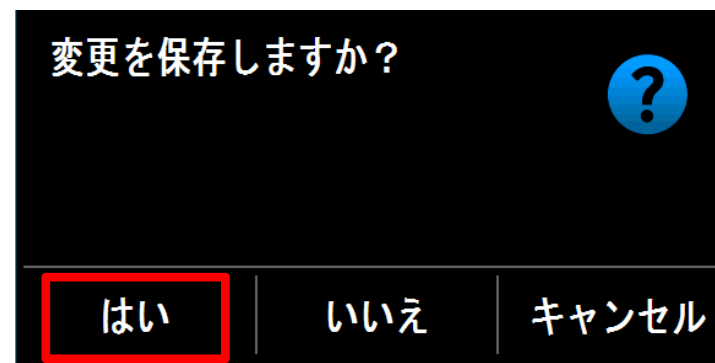





 をタップし設定を保存する

※車両プロファイルを変更した場合も保存が必要です

「はい」をタップする




 **注意** TAP変更後の車両プロファイルはNAV-900に保存されます。

詳細は「車両データの保存・転送」をご参照ください。

# Track-Guide III

## 3. 車両設定



 をもう一度回タップし、はじめの画面に戻す





# Track-Guide III

## 4. 作業機設定

# Track-Guide III

## 4. 作業機設定



をタップする


「設定」をタップする

# Track-Guide III

## 4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成



 をタップし、新規で作業機データを作成します

## Track-Guide III

### 4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成



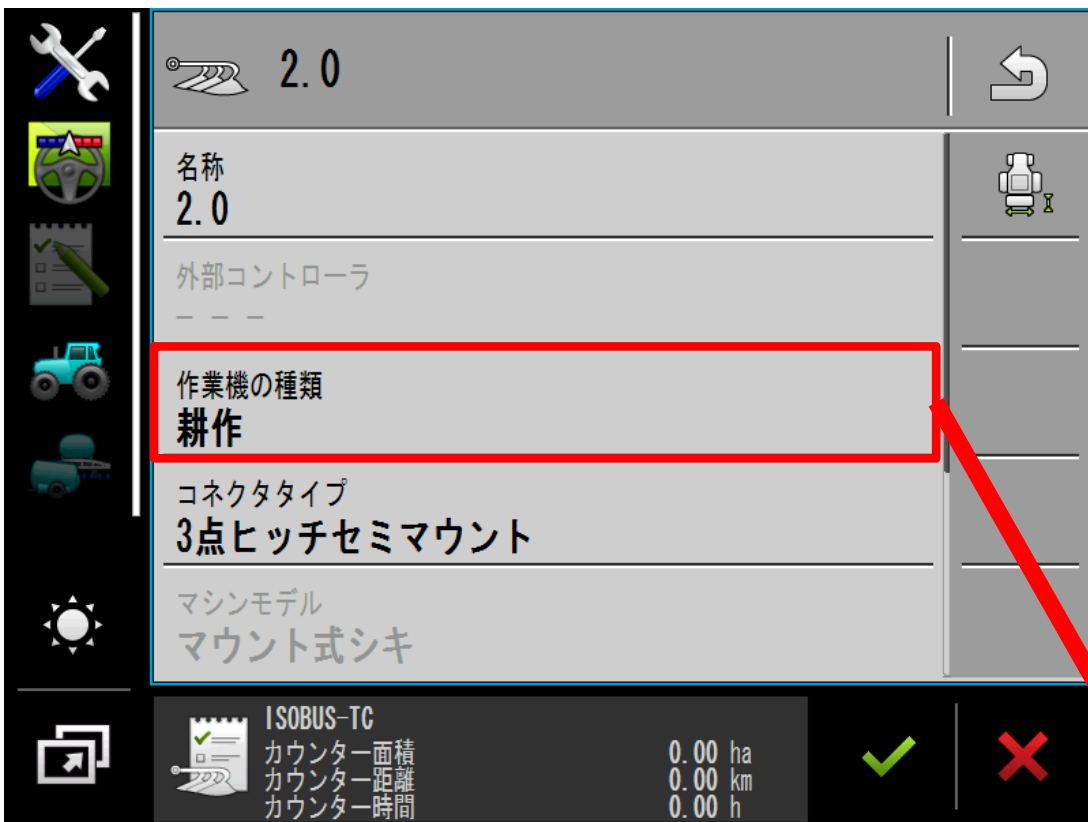
作業機名を入力する

 をタップする

# Track-Guide III

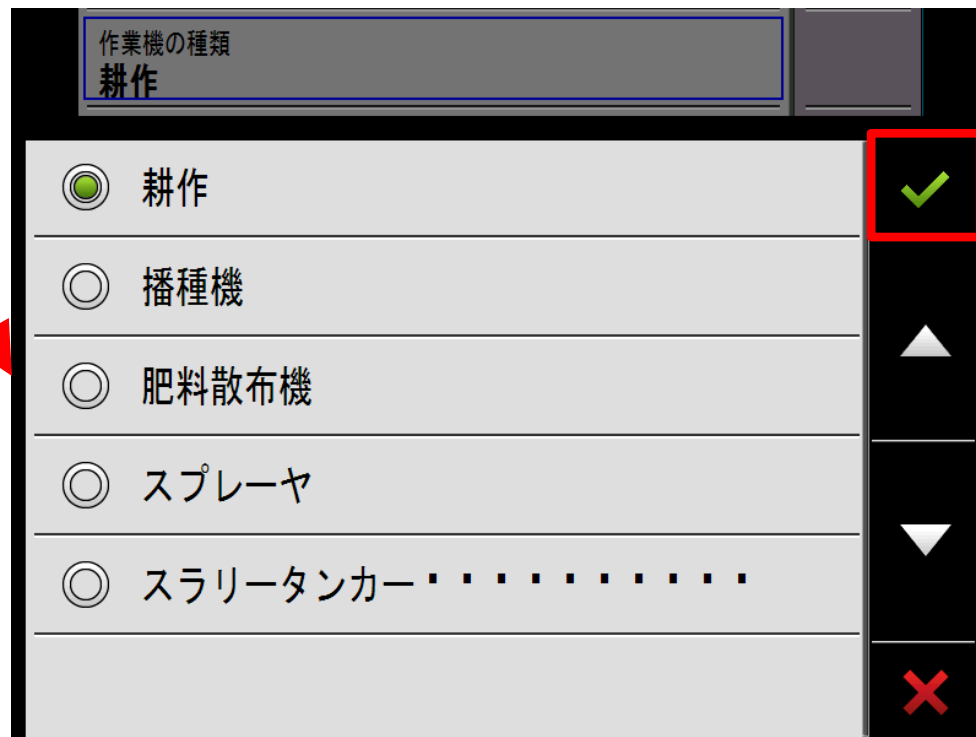
## 4. 作業機設定


- 作業機データの新規作成



「作業機の種類」をタップし、  
種類を選択する

 をタップする

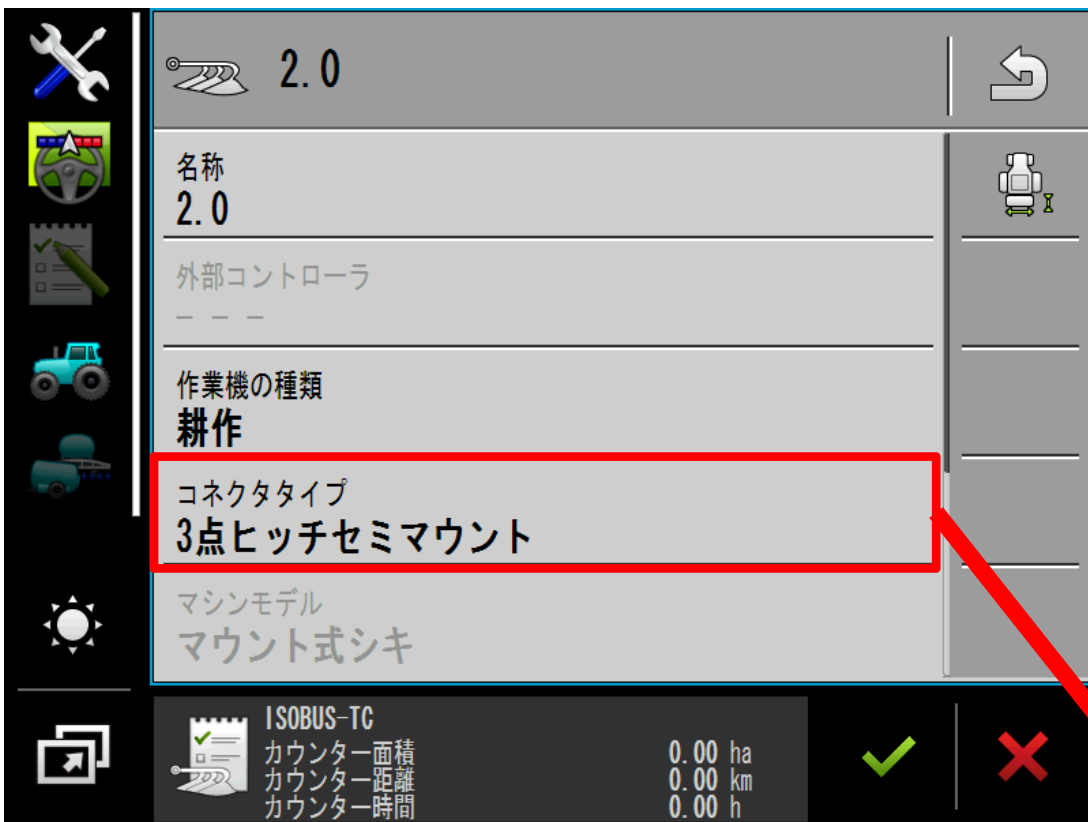


 ※該当する作業機が無い場合、近いもの  
を選択して下さい

# Track-Guide III

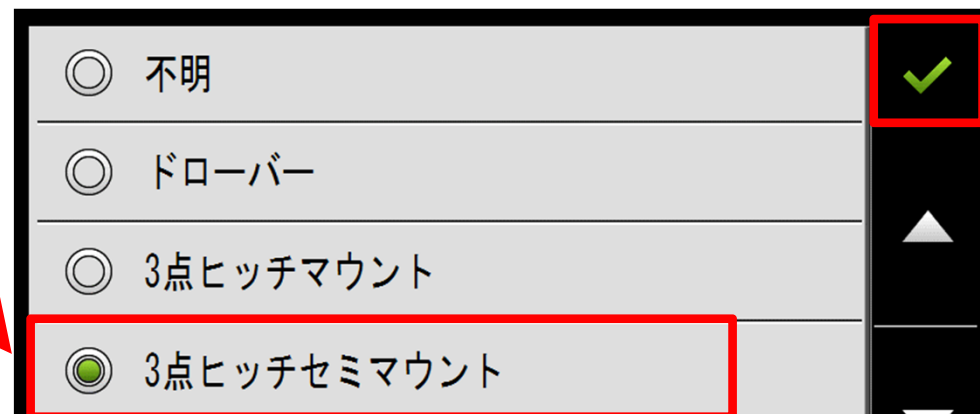
## 4. 作業機設定

### ● 作業機データの新規作成



「コネクタタイプ」をタップし、  
種類を選択する

 をタップする



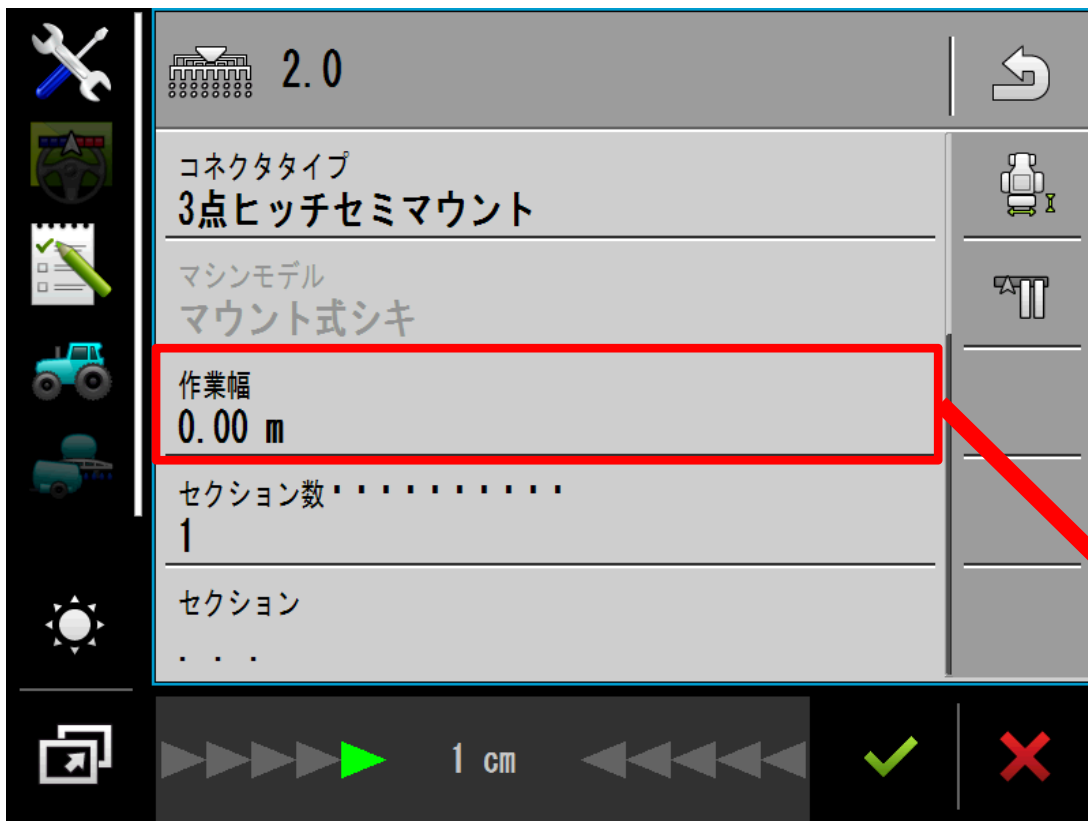
- ・ 3点リンクで固定されている作業機の場合は「3点ヒッチセミマウント」を選択
- ・ 牽引式の場合は「ドローバー」を選択



# Track-Guide III

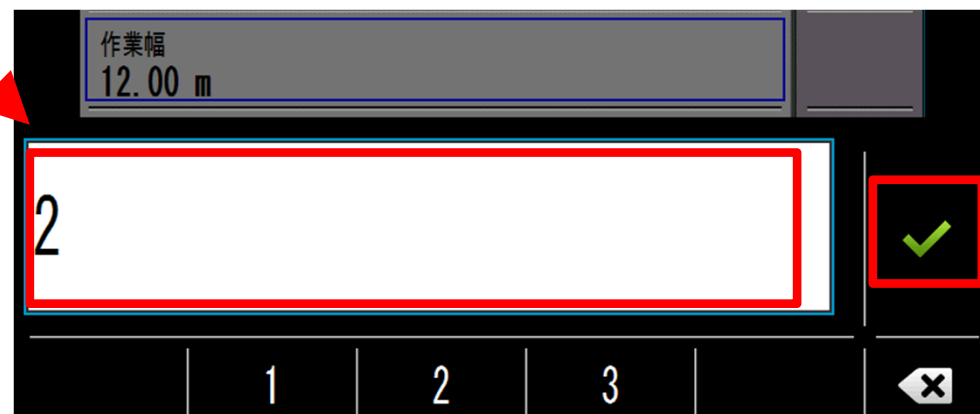
## 4. 作業機設定


- 作業機データの新規作成



「作業幅」をタップし、  
数値(m)を入力する

 をタップする



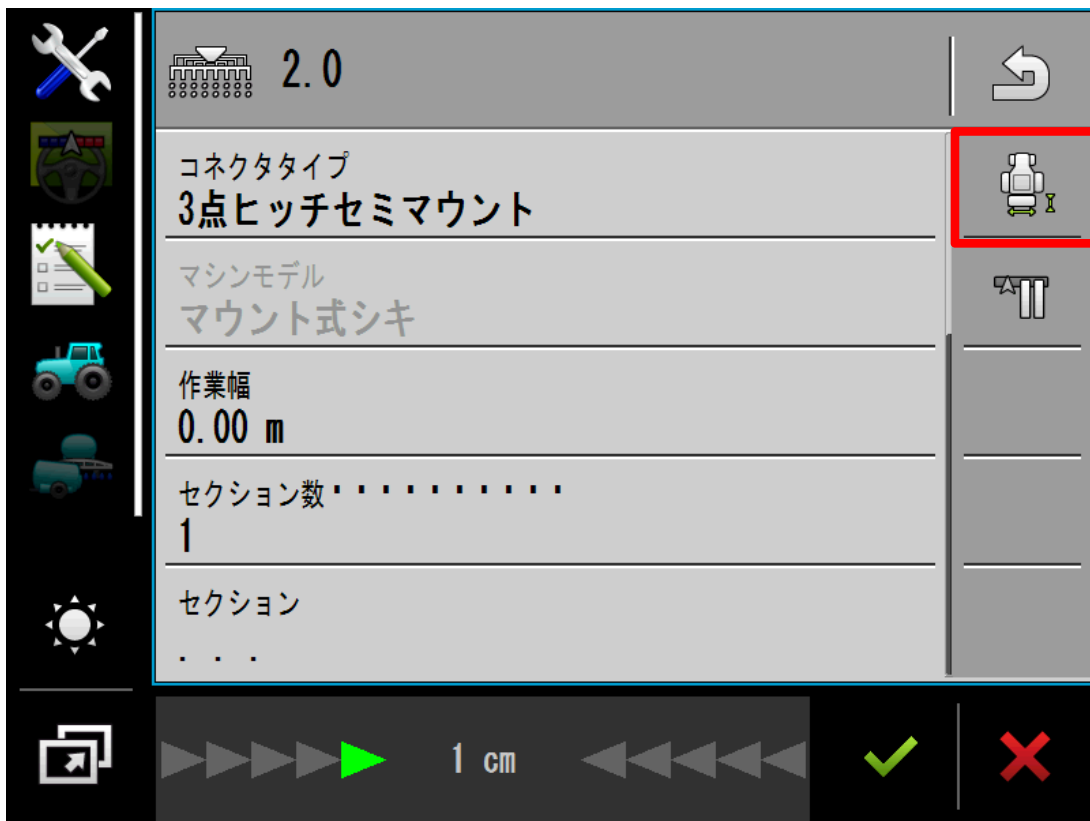
 ※掛合わせ（重複）したい場合の設定方法は、「実行画面 ナビゲーション設定」に記載されています

ここで設定した数値は、  
作業記録の幅（色塗りの幅）になります

# Track-Guide III

## 4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成

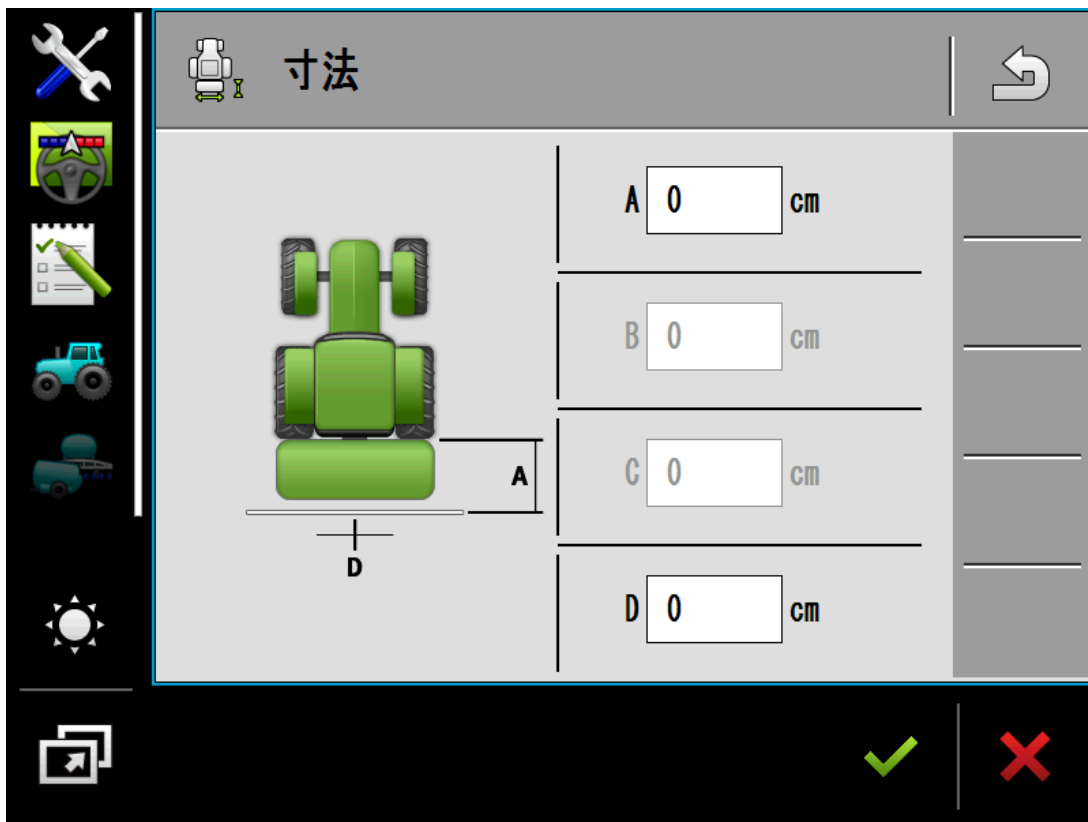


をタップする

# Track-Guide III

## 4. 作業機設定

### ● 作業機データの新規作成



数値を入力し、終了したら

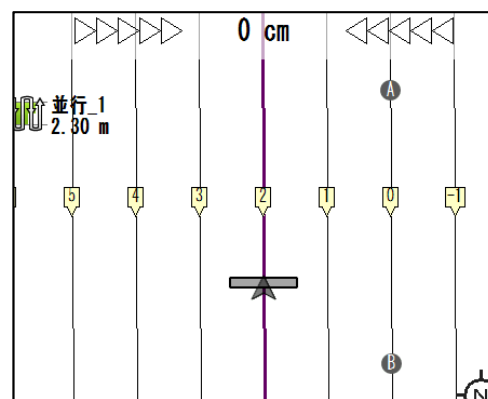
 をタップする

A 後輪車軸から施用ポイントまで

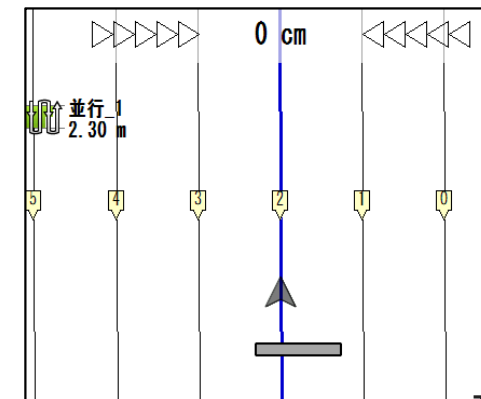
D 作業機オフセット

左→- (マイナス) の値

右→+ (プラス) の値



A:0 / D:0の場合

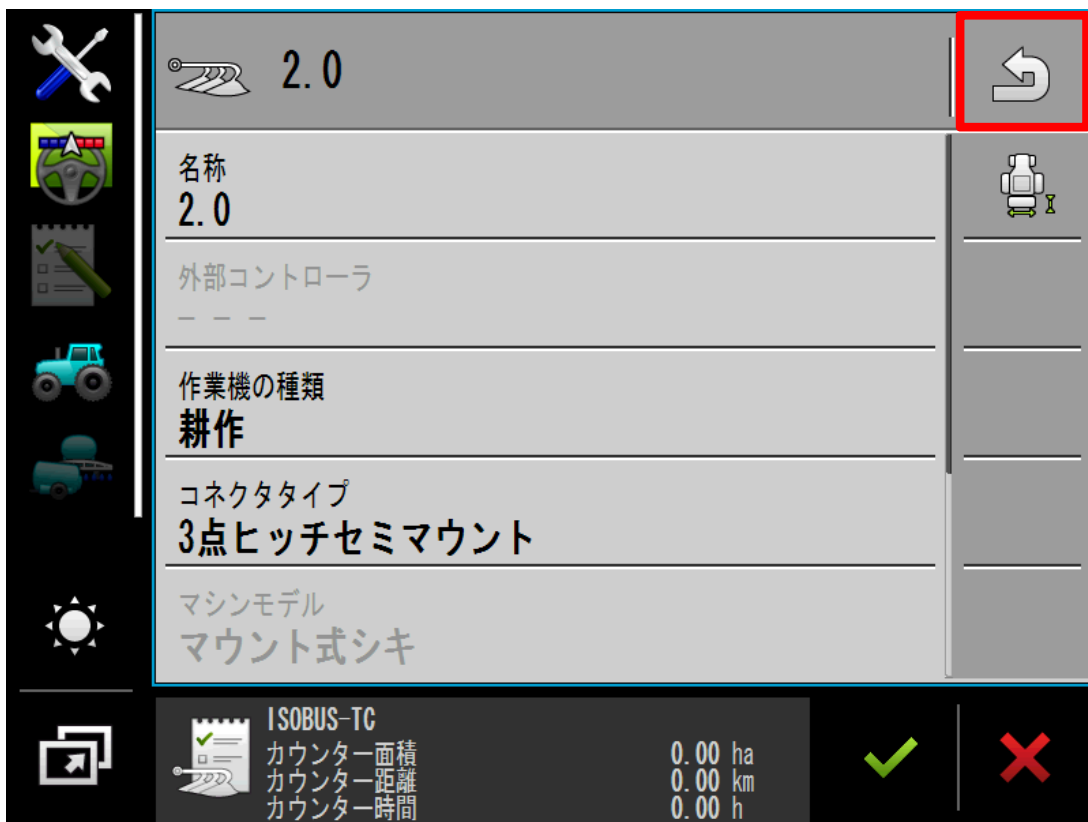



A:100 / D:50の場合

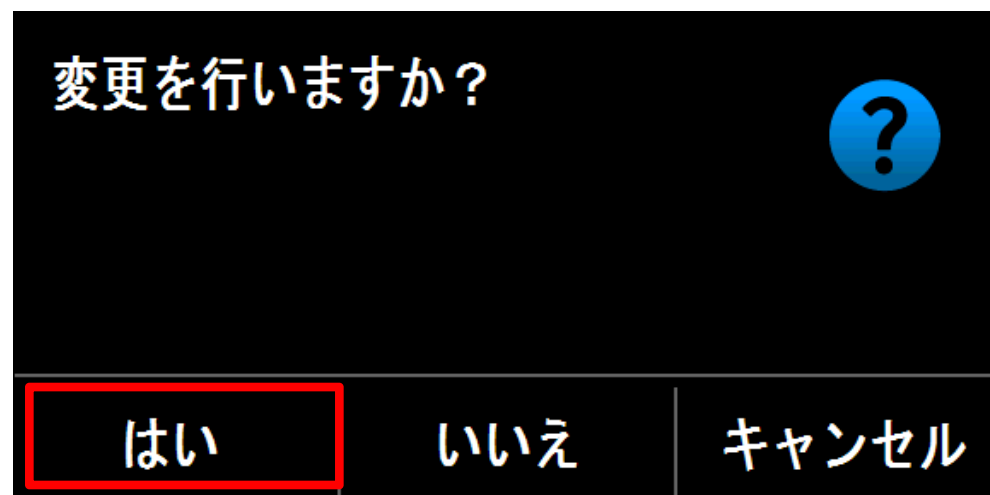
# Track-Guide III

## 4. 作業機設定

- 作業機データの新規作成



 をタップし設定を保存する  
「はい」をタップする



# Track-Guide III

## 4. 作業機設定

- 設定の概要

現在有効になっている作業機には緑色の●が表示される

設定

	0xA00400080C41B1C8	2.4m	
	0xA00880080C41B1C8	2.0	

設定を保存し、前の画面に戻る

作業機を有効にする

作業機データを編集する

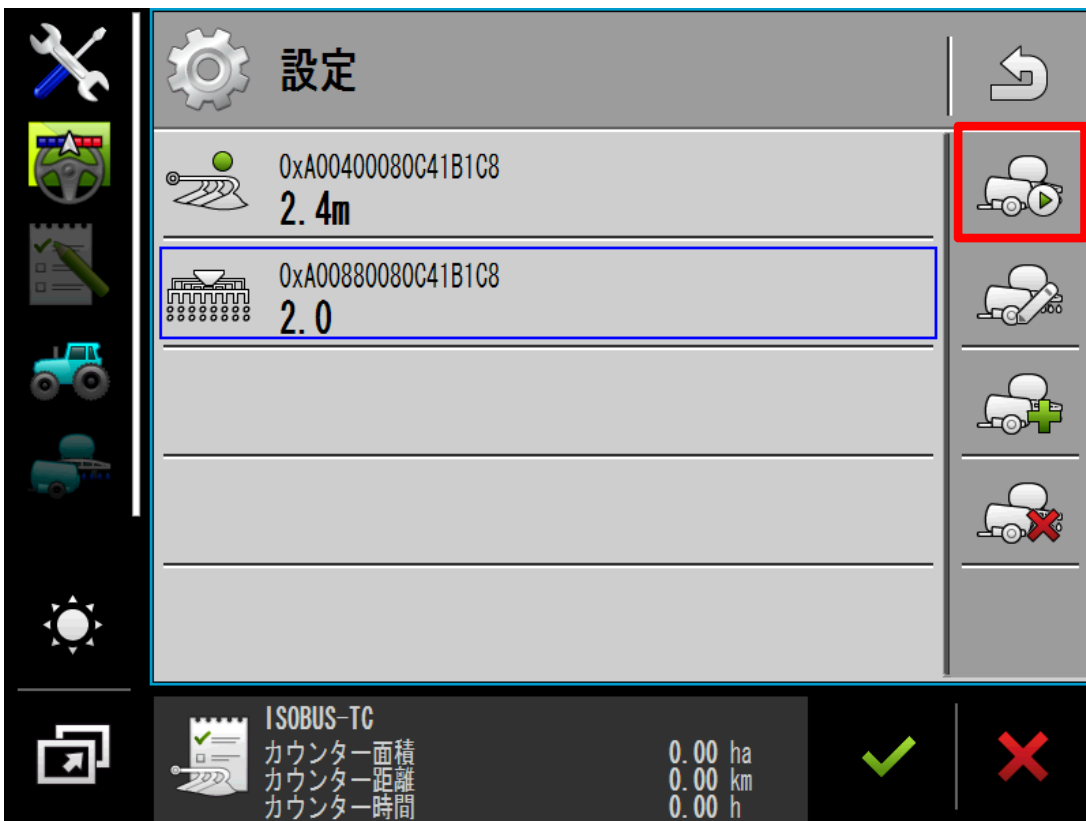
作業機データを新規作成する

作業機データを削除する


ISOBUS-TC  
カウンター面積 0.00 ha  
カウンター距離 0.00 km  
カウンター時間 0.00 h

## 4. 作業機設定

- 作業機データの切り替え（有効化・無効化）

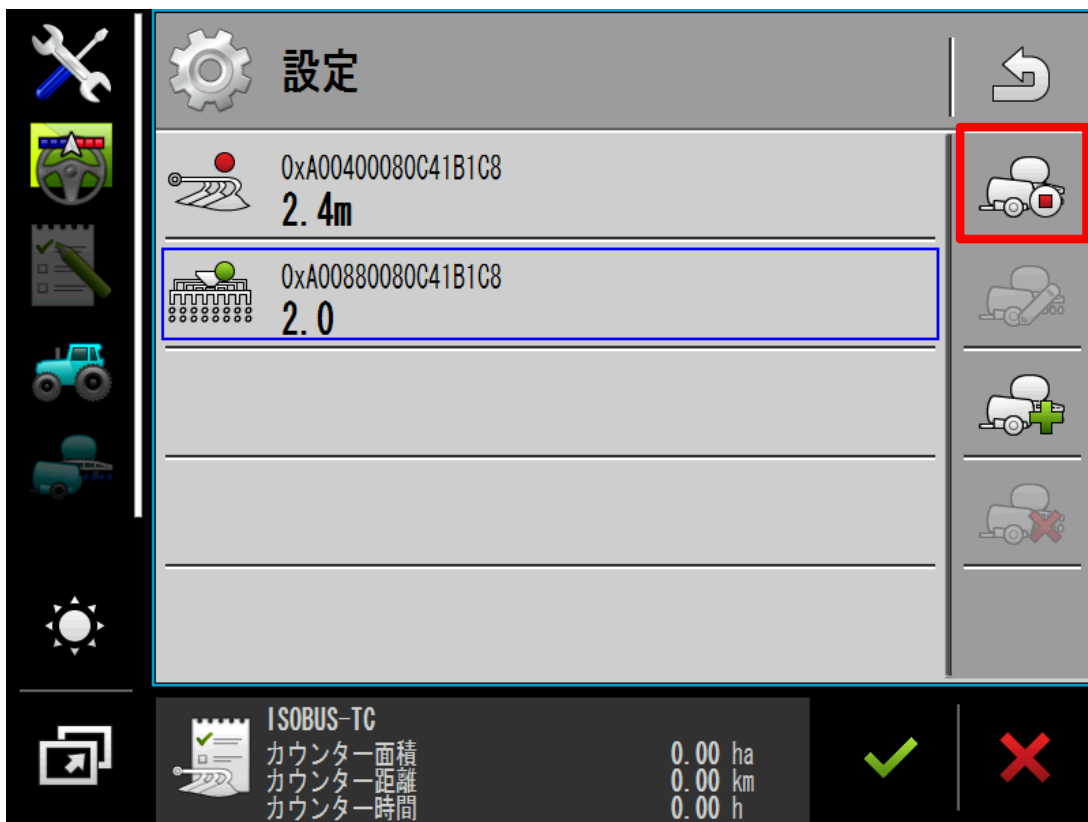


【作業機を有効化する場合】


使用する作業機を選択した状態で  をタップし、有効化する  
「はい」をタップする

## 4. 作業機設定

- 作業機データの切り替え（有効化・無効化）



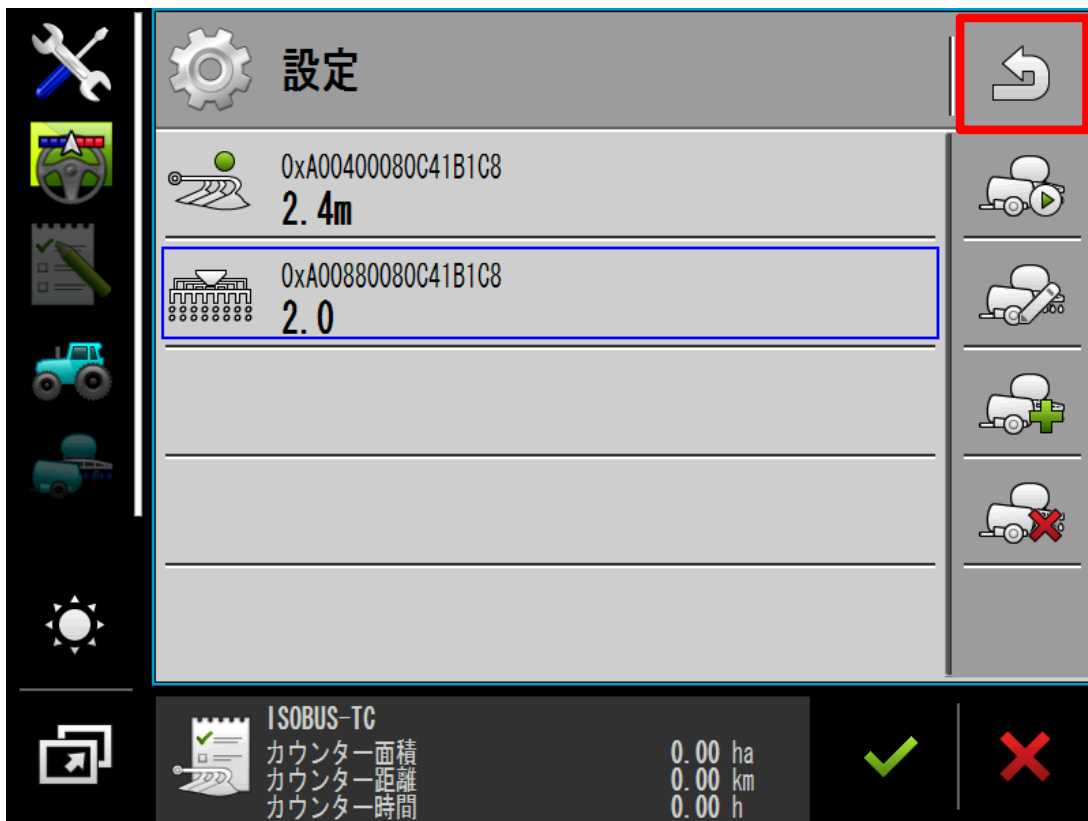
### 【作業機を無効化する場合】

使用する作業機を選択した状態で  をタップし、無効化する「はい」をタップする

# Track-Guide III

## 4. 作業機設定


- 作業機データの新規作成



有効になっている作業機があることを確認し、

 をタップし設定を保存する



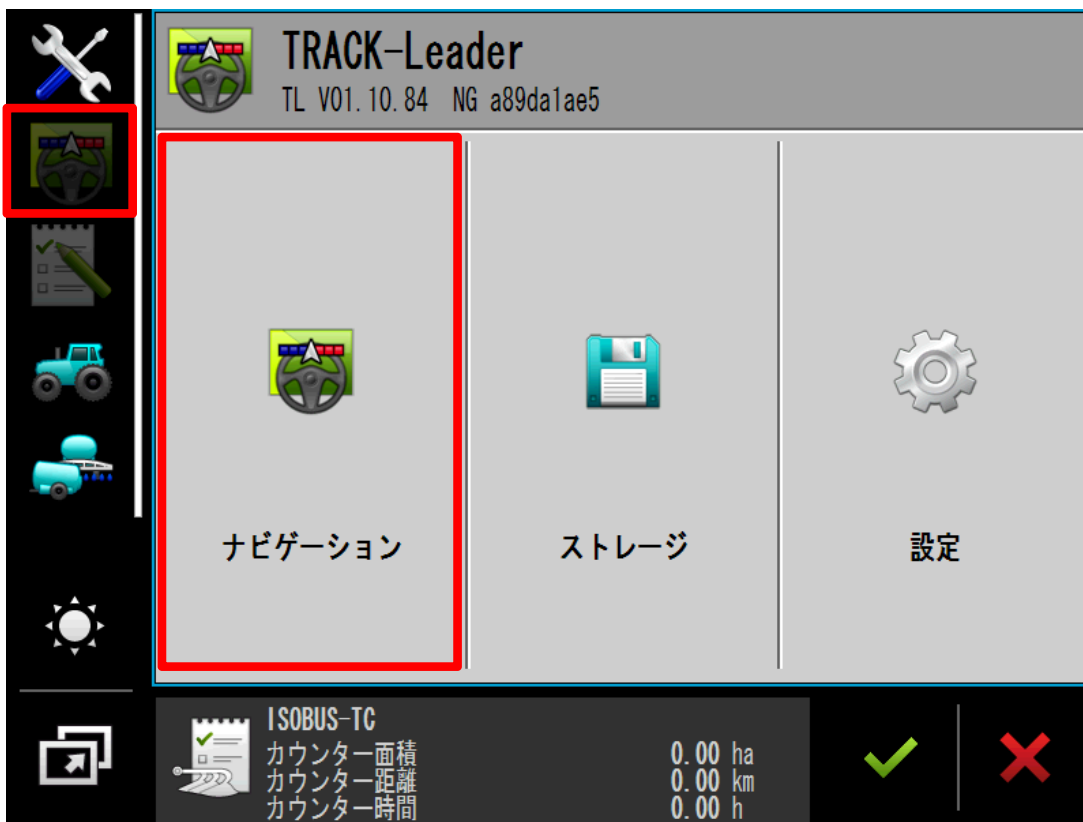
 ※必ず1つの作業機を有効にする必要があります。





# Track-Guide III

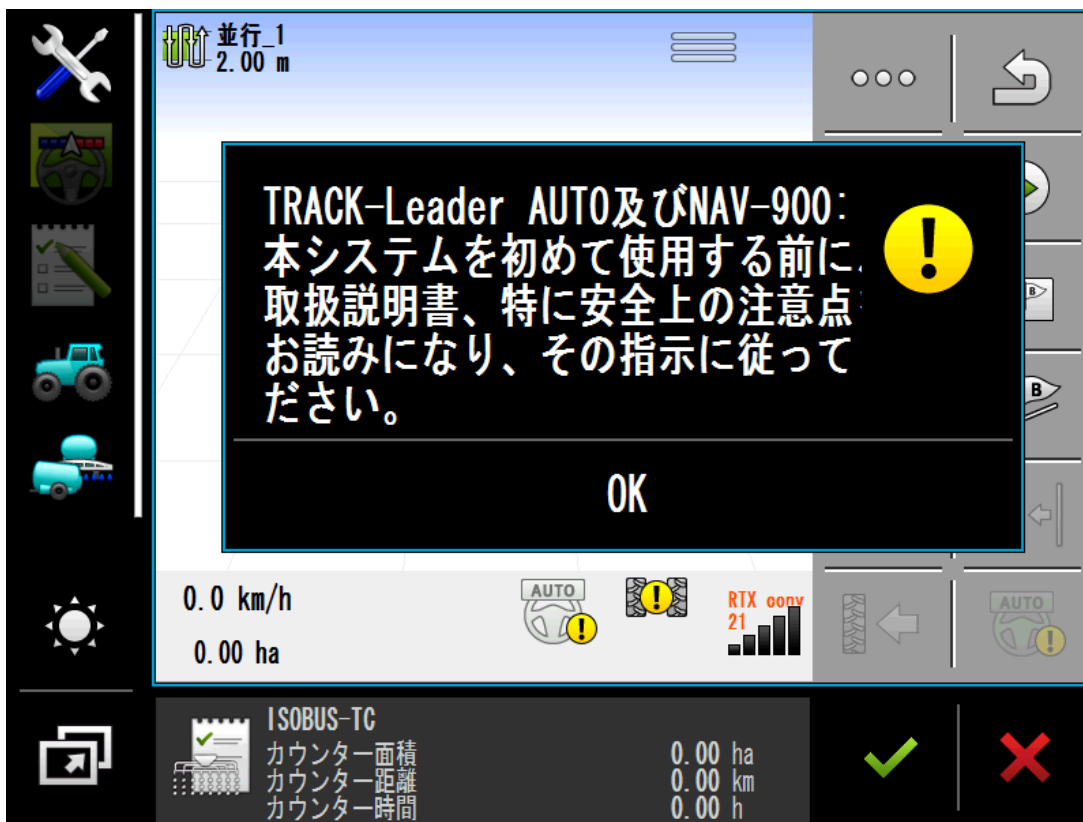
## 5. 実行画面



※その他の設定が完了した状態で行ってください。

 をタップする

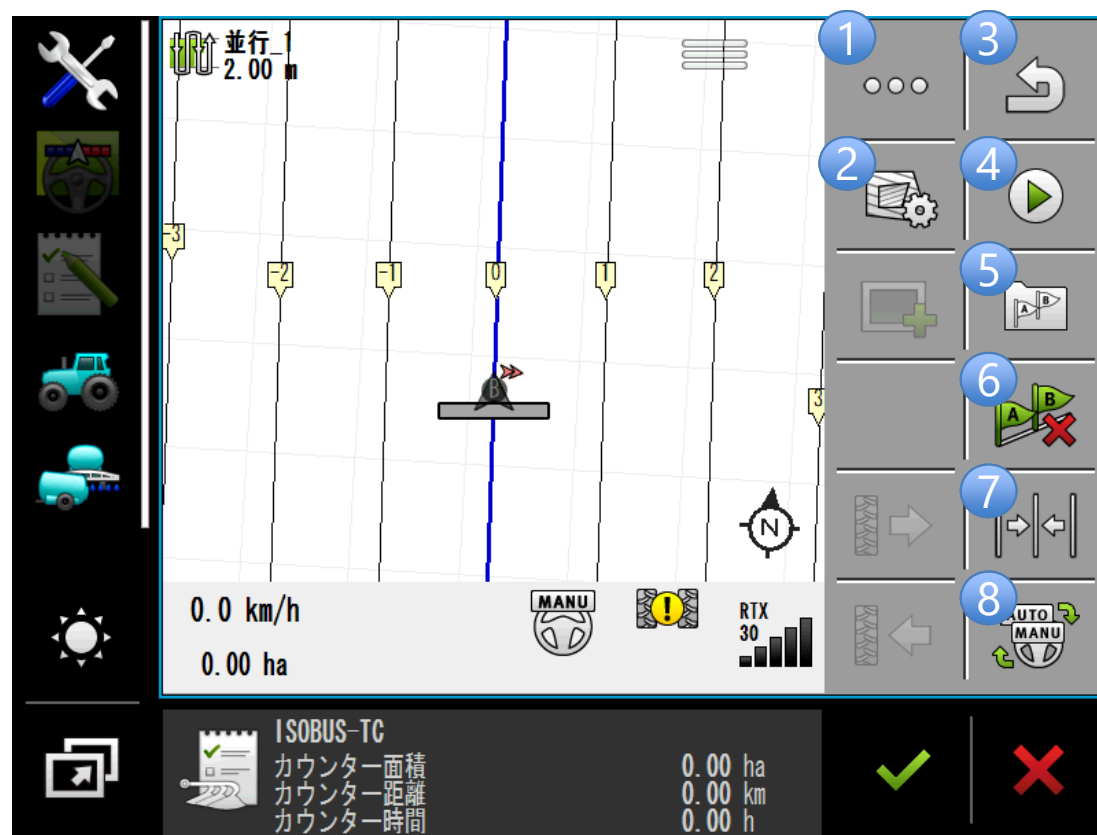
「ナビゲーション」をタップする



安全を確認してください。

「OK」をタップする

- 機能アイコンの概要(1ページ目)



① 次のページへ

② 境界設定

③ 実行画面を終了する

④ 作業記録の開始/停止

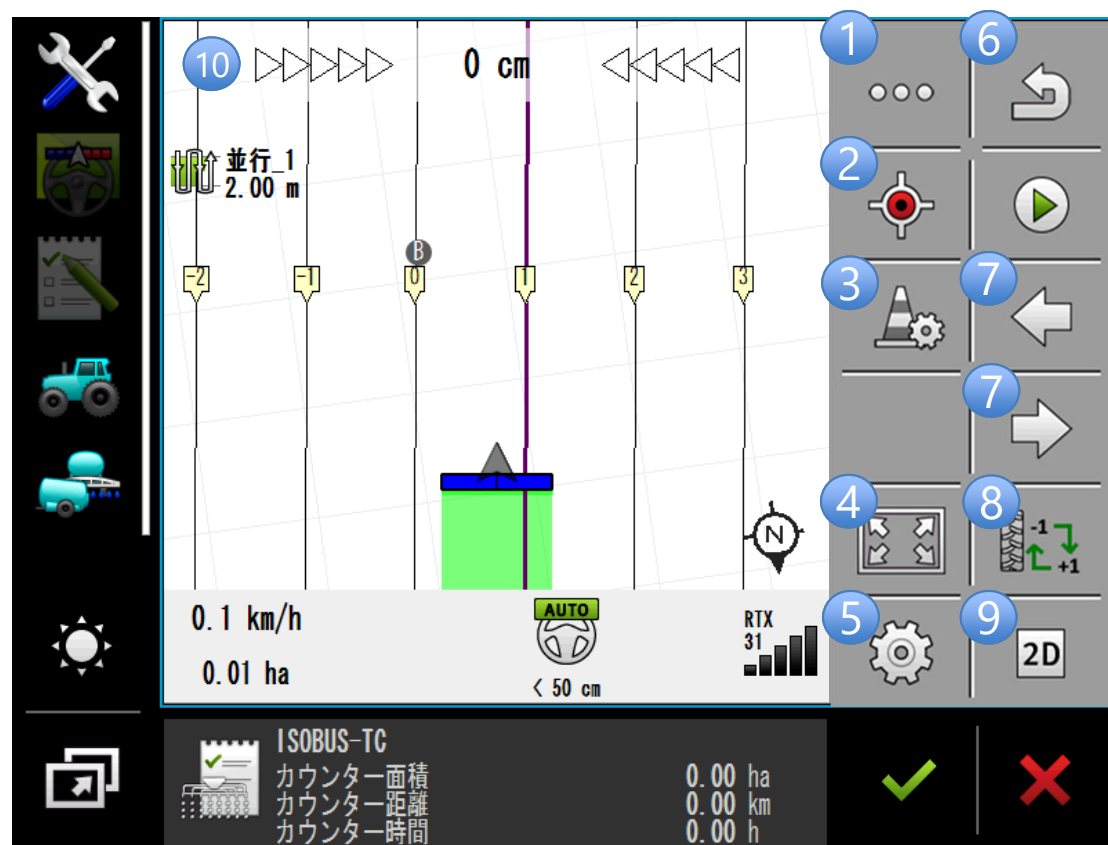
⑤ AB線選択・AB線設定画面

⑥ AB線を作成  
AB線削除 (ボタン3秒長押し)

⑦ ガイダンスラインを現在の位置に移動  
(ボタンを3秒長押し)

⑧ 自動操舵のオン/オフ

- 機能アイコンの概要(2ページ目)



①1ページ目に戻る

②参照ポイントを作成する  
(RTK または Centerpoint RTX 信号を使用する場合は必要ありません)

③障害物にマークを付ける

④実行画面の表示を変更  
(フィールド全体が表示されます)

⑤ナビゲーション設定

⑥実行画面を終了する

⑦トラクタを一時的に誘導線の左右に移動する

⑧AB ラインを反転する

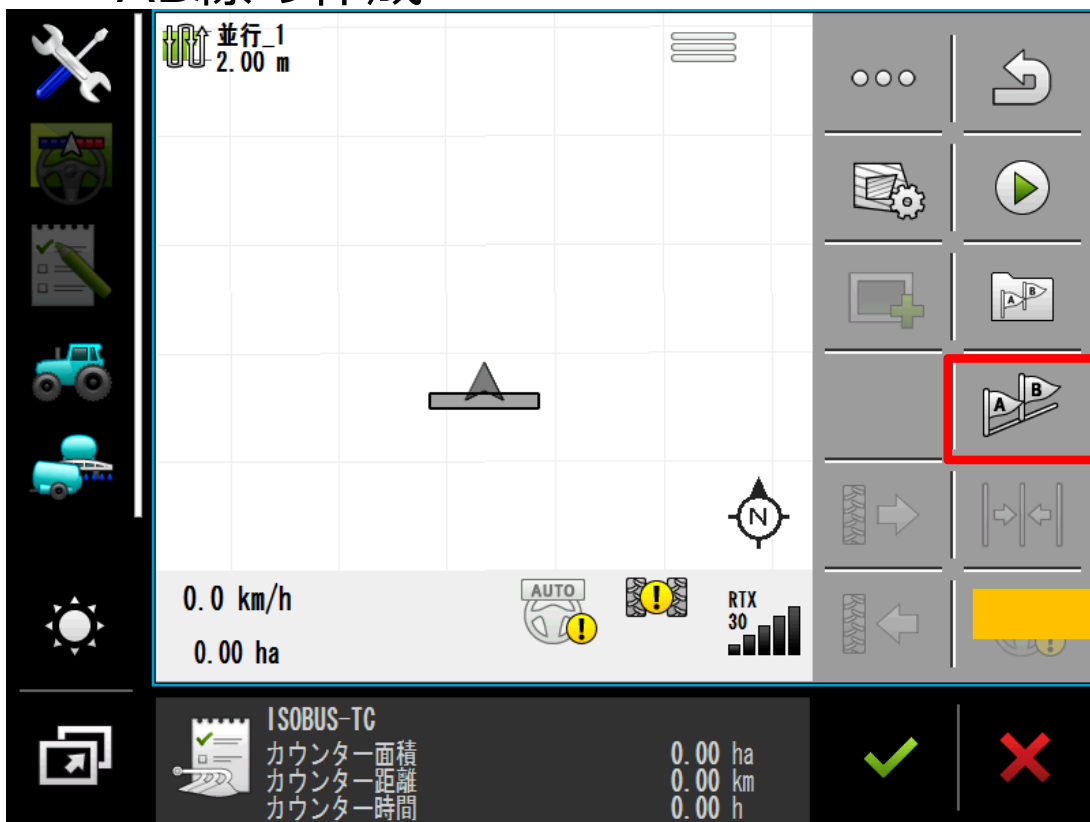
⑨2D/3Dの表示モードを変更する

⑩トラッキングエラーの表示 (画面を2回タップする)

# Track-Guide III

## 5. 実行画面

- AB線の作成



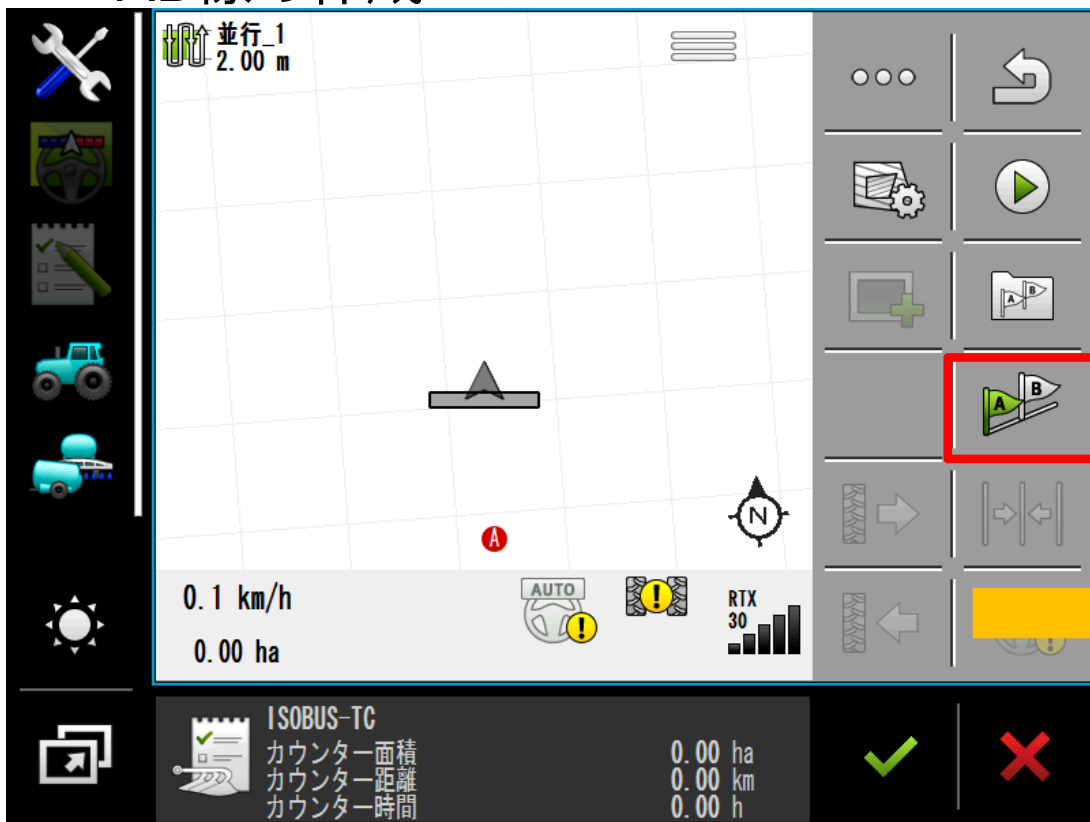
AB線開始地点で、



をタップする



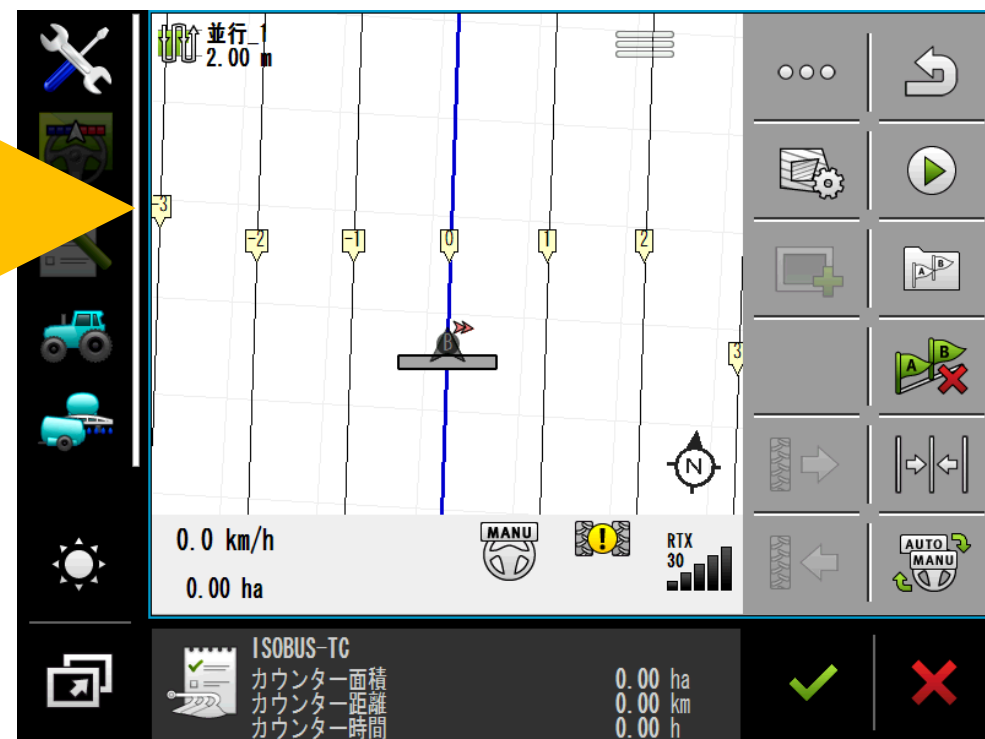
### ● AB線の作成



B地点（圃場の端）まで移動し、



をタップする

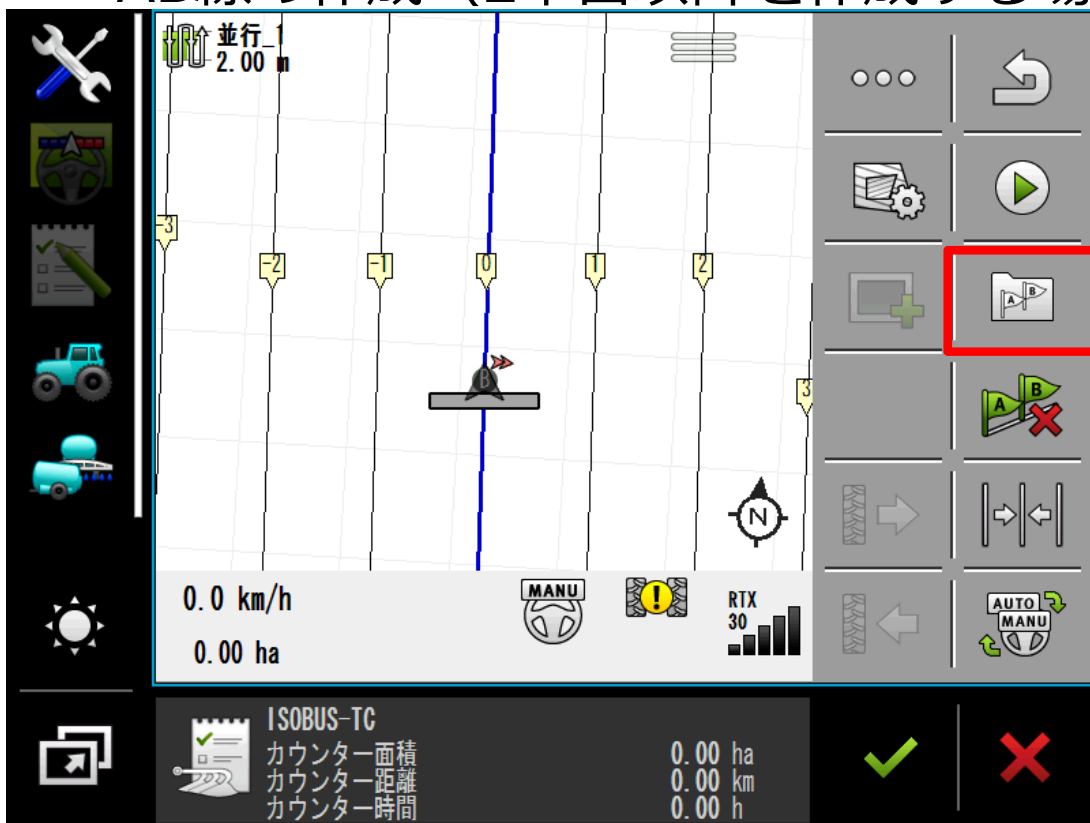




👉 作成したAB線をコピーしたい場合は、この段階でUSBに保存することをお勧めします。  
手順は「圃場データの転送」を参照下さい。

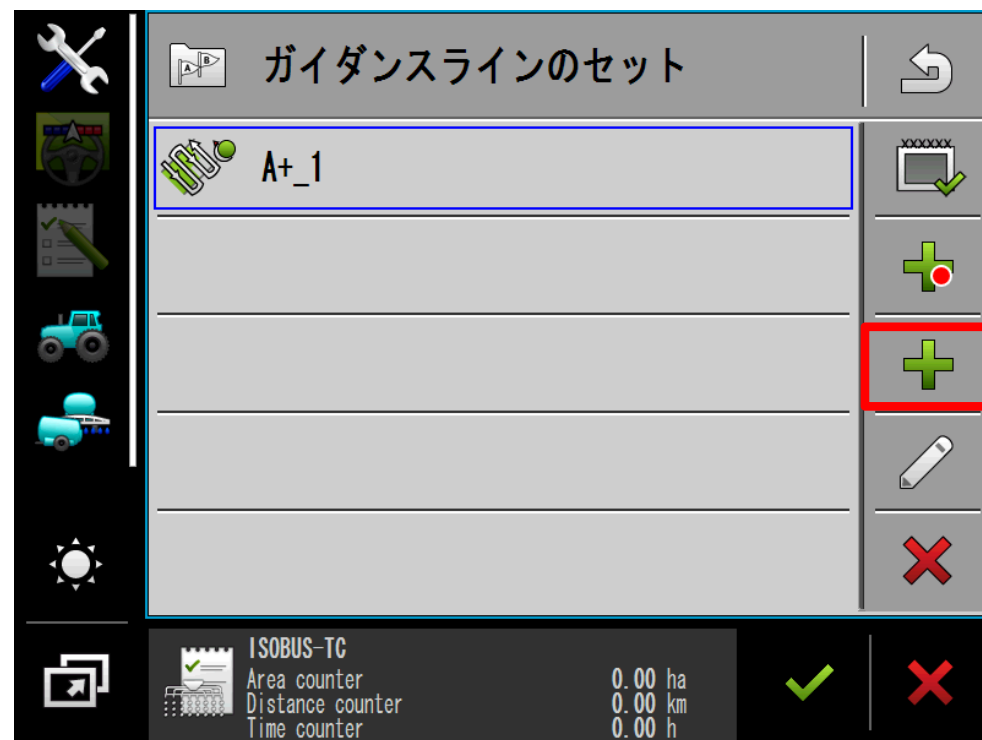
# Track-Guide III

## 5. 実行画面

- AB線の作成（2本目以降を作成する場合）



-  をタップする
-  をタップする





### ● AB線の作成（2本目以降を作成する場合）



### AB線の種類を選択する

 をタップする

- ①A点とB点を指定して作成する直線のAB線
- ②曲線と直線を組み合わせて作成するAB線
- ③AB曲線（移動の軌跡がそのままAB線になる）
- ④方位角を指定して作成するAB線
- ⑤AB曲線と同様ですが、B点を指定する代わりに、旋回を自動で検知して次のラインを生成
- ⑥AB曲線と同様ですが、B点を指定し、次のラインを生成

## 5. 実行画面

- AB線の作成（2本目以降を作成する場合）

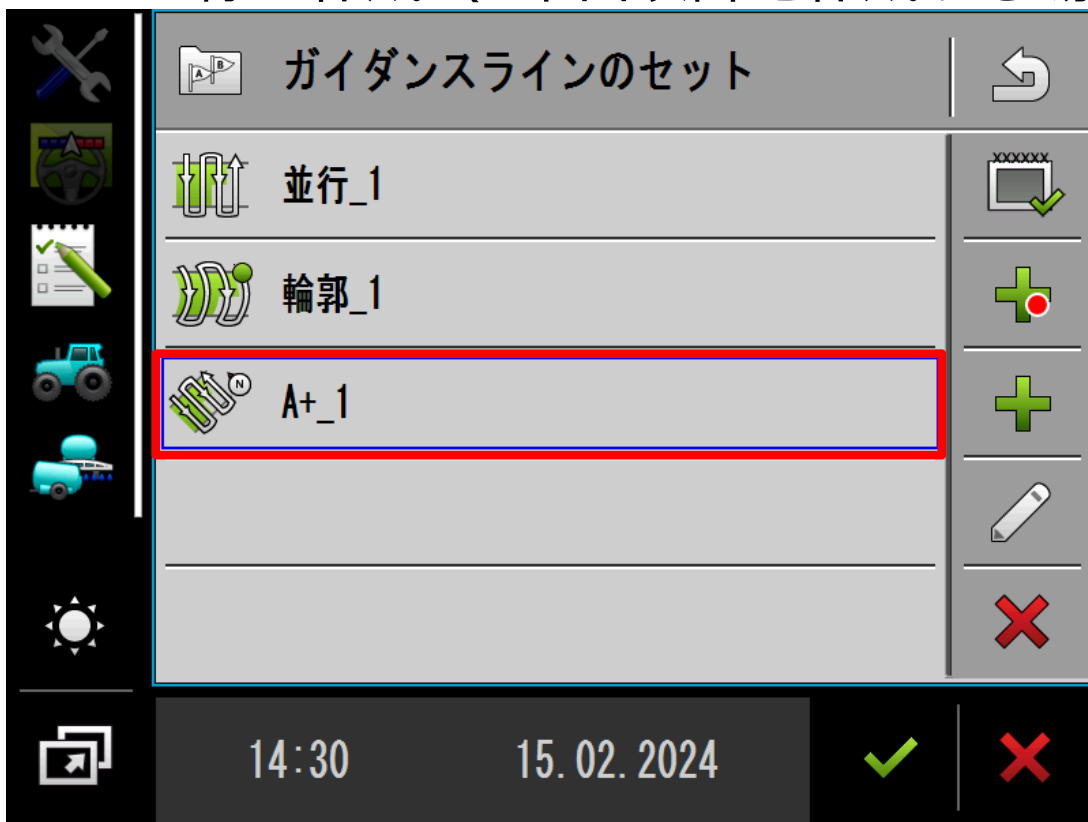


AB線の名前を入力する

 をタップする

## 5. 実行画面

- AB線の作成（2本目以降を作成する場合）

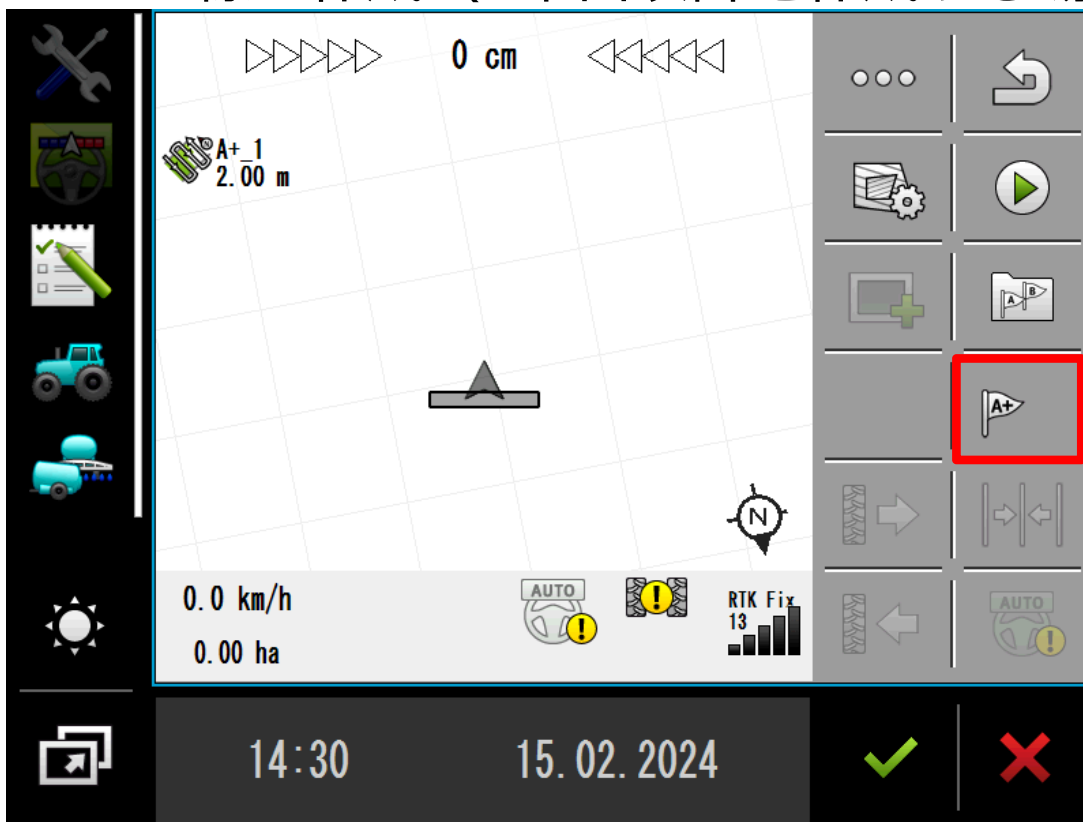


入力した名前のAB線がリストに追加されるので、新しく追加されたデータを2回タップする

# Track-Guide III

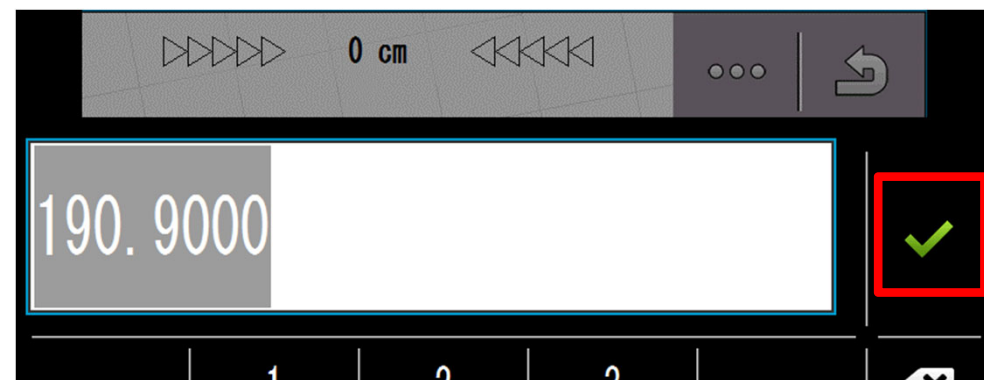
## 5. 実行画面


- AB線の作成（2本目以降を作成する場合）




 や  をタップし、  
AB線を作成する

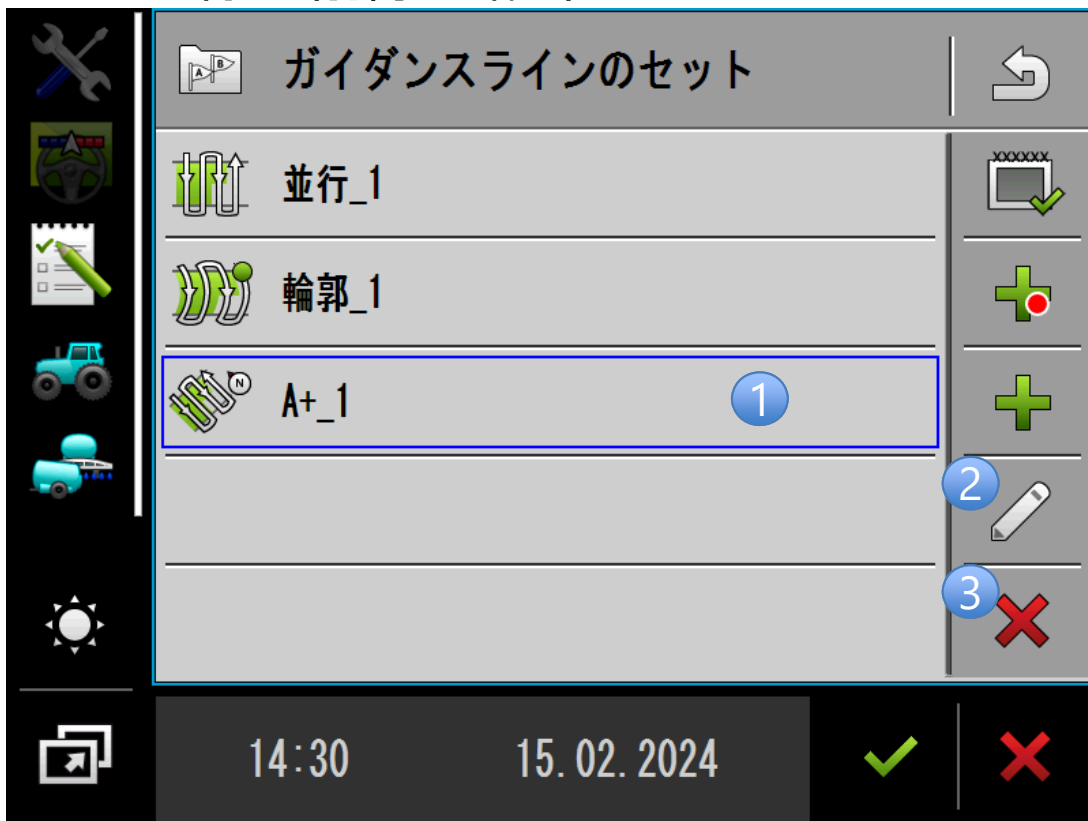
※1本目と同様の手順で作成



 作成したAB線をコピーしたい場合は、この  
段階でUSBに保存することをお勧めします。  
手順は「圃場データの転送」を参照下さい。

「A+」を選択した場合、方位角の入力画面が表示される（初期値は現在の方位角）  
作成したい線の角度を入力し、 をタップする

### ● AB線の削除・編集



消したいAB線を選択（青枠に表示）した状態で、

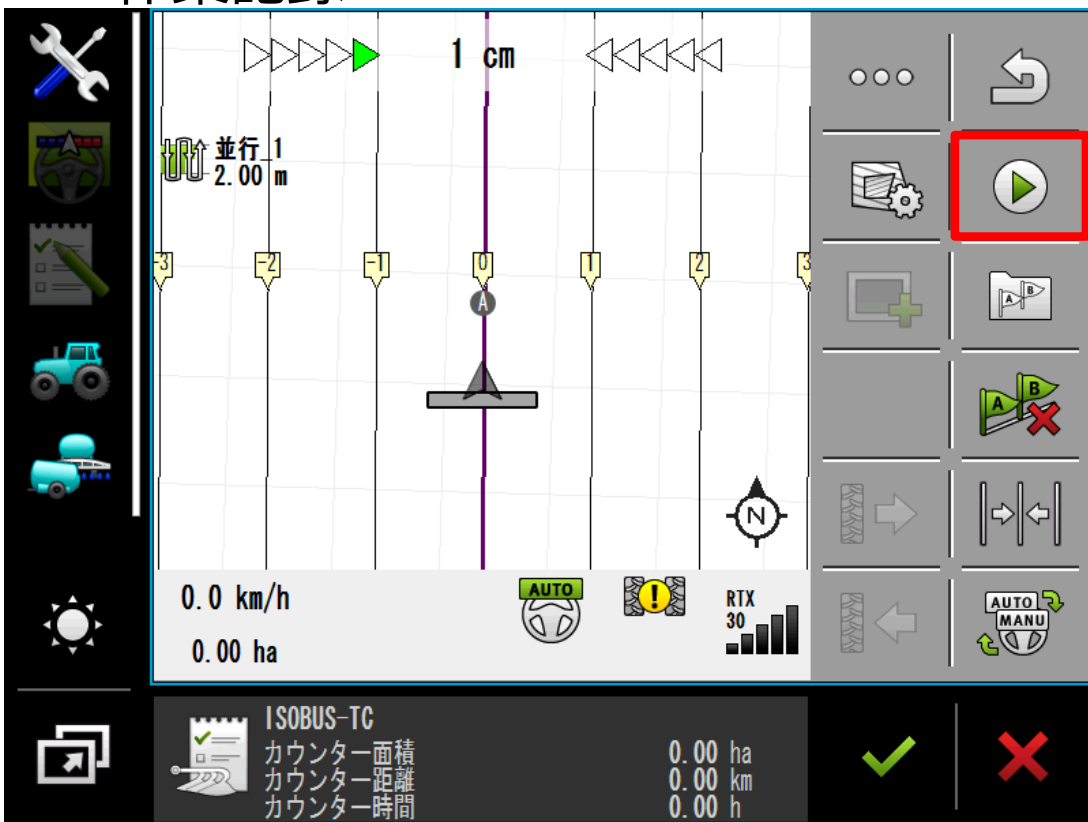
- ①実行画面にAB線を表示します  
(2回連続してタップすることになります)
- ②AB線の名前を編集できます
- ③AB線を削除します

# Track-Guide III

## 5. 実行画面

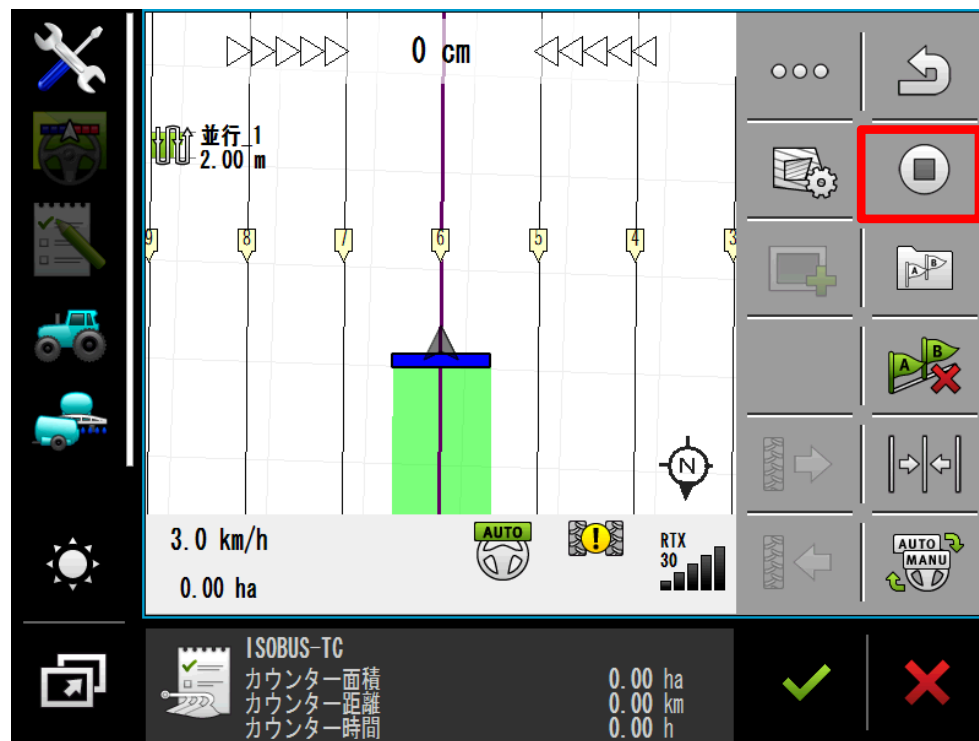



### ● 作業記録



▶ をタップすると色塗りが開始される

停止する場合は ◻ をタップ

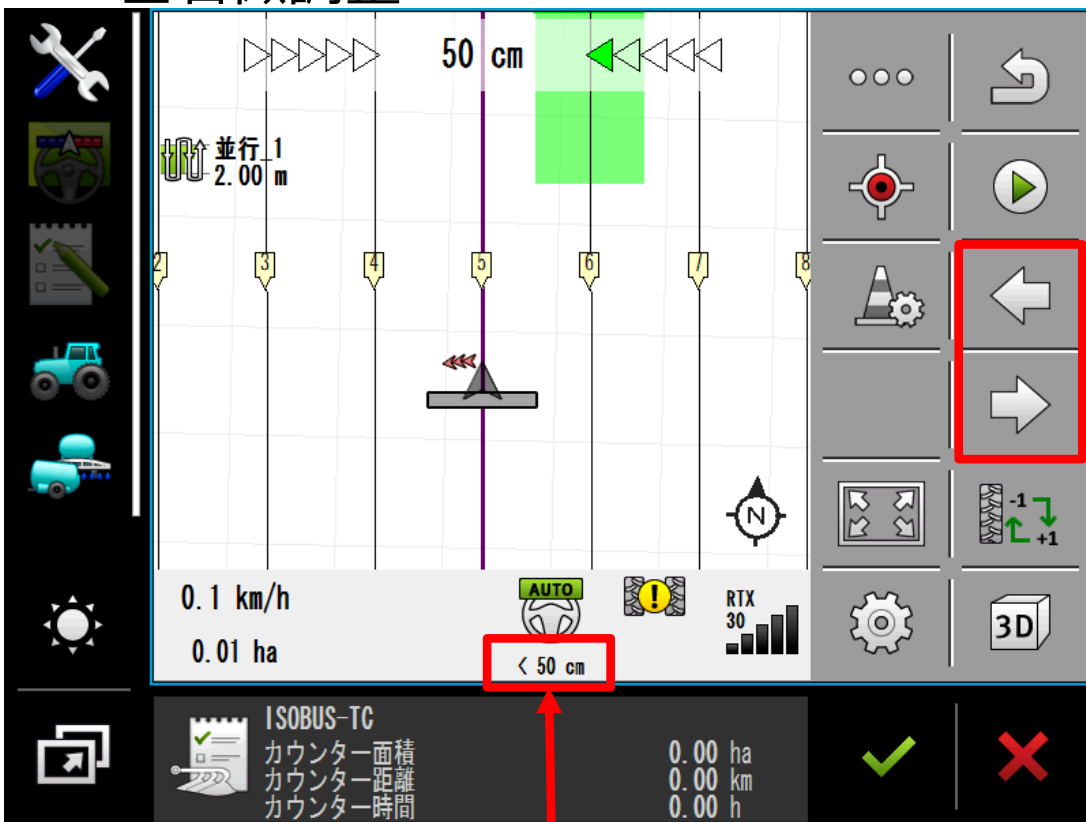


 作業記録（色塗りデータ）を削除する方法  
については「圃場データの保存・転送」をご  
参照ください。

# Track-Guide III

## 5. 実行画面

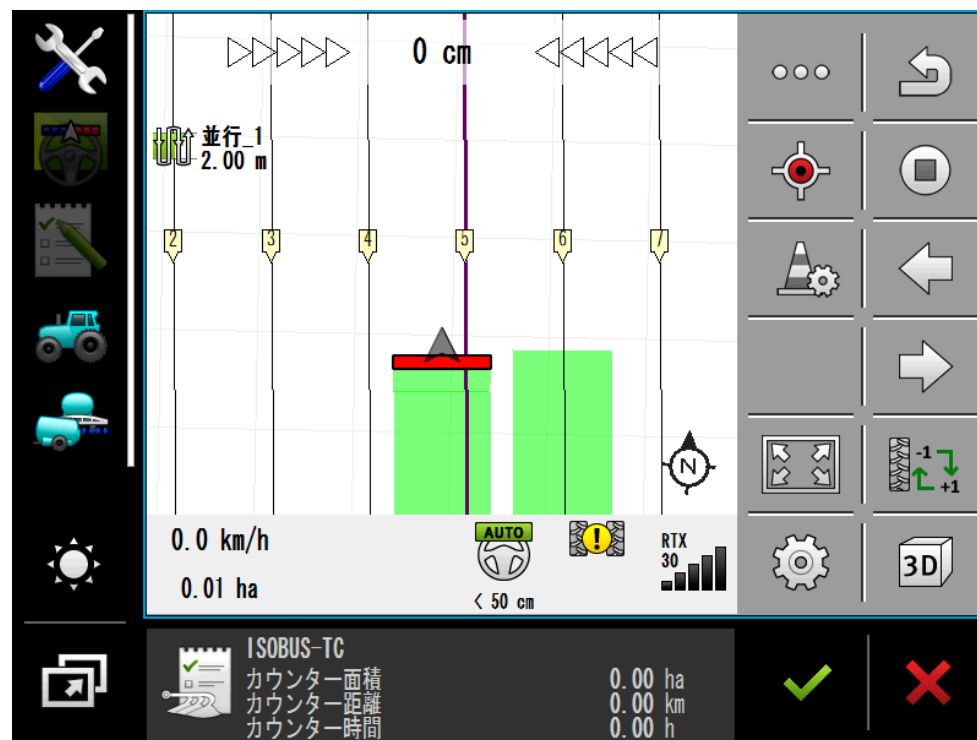
### ● 左右微調整



現在のシフト距離はここに表示される  
実行画面を終了させるとリセットされる


← または → をタップし、  
トラクターの位置を左右に調整  
することができる

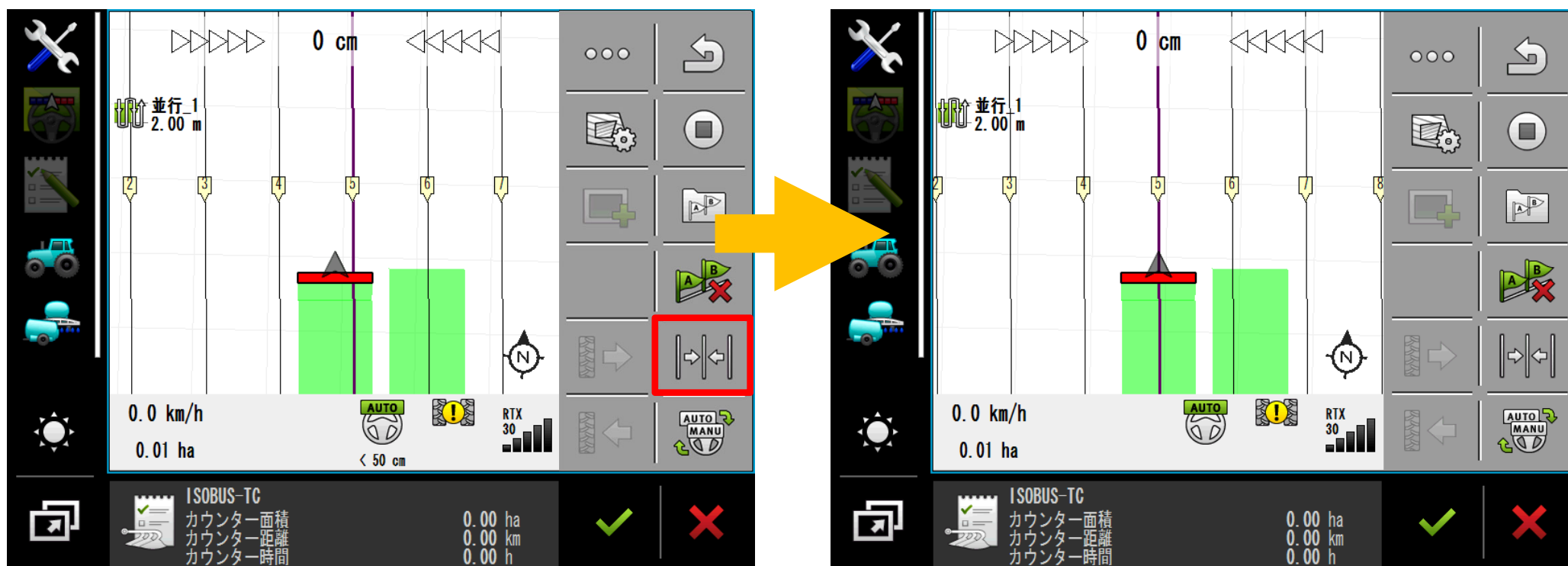
※1回タップ毎に1cm



## 5. 実行画面

- 左右微調整

 を3秒間長押しでタップし、  
AB線を現在のトラクター位置に移動することができる  
※自動操舵中も可能

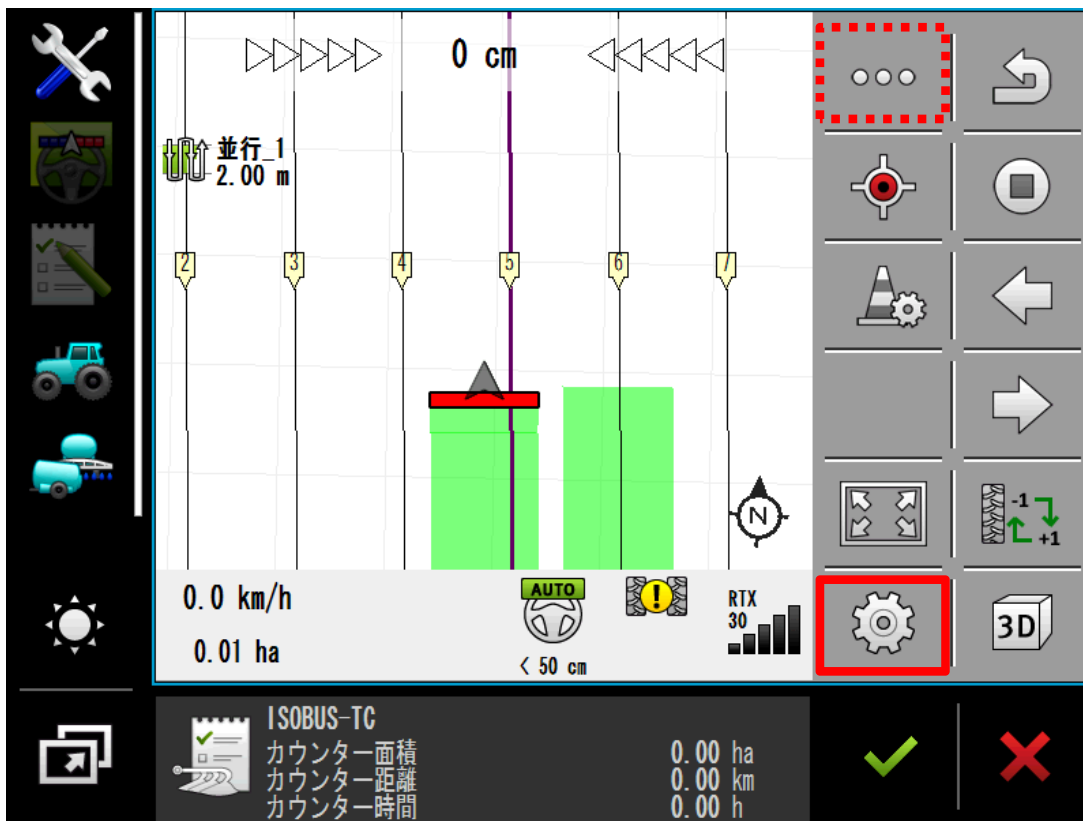






# Track-Guide III

## 5. 実行画面

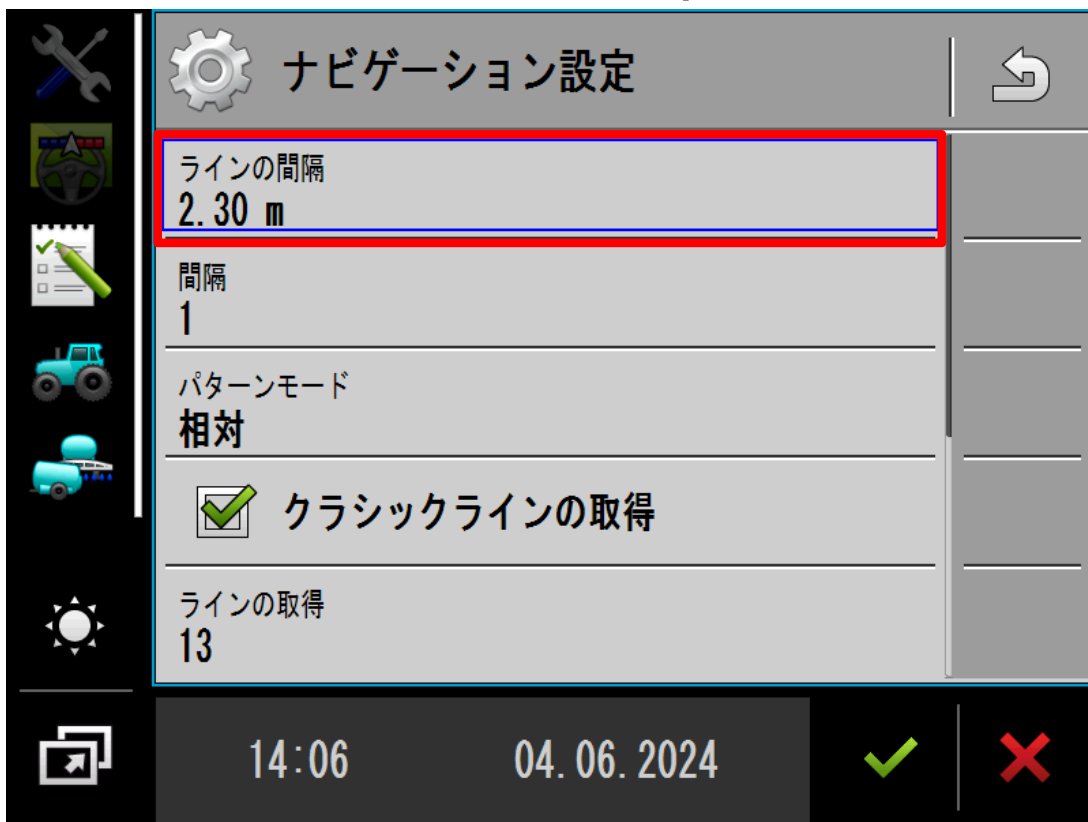
- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



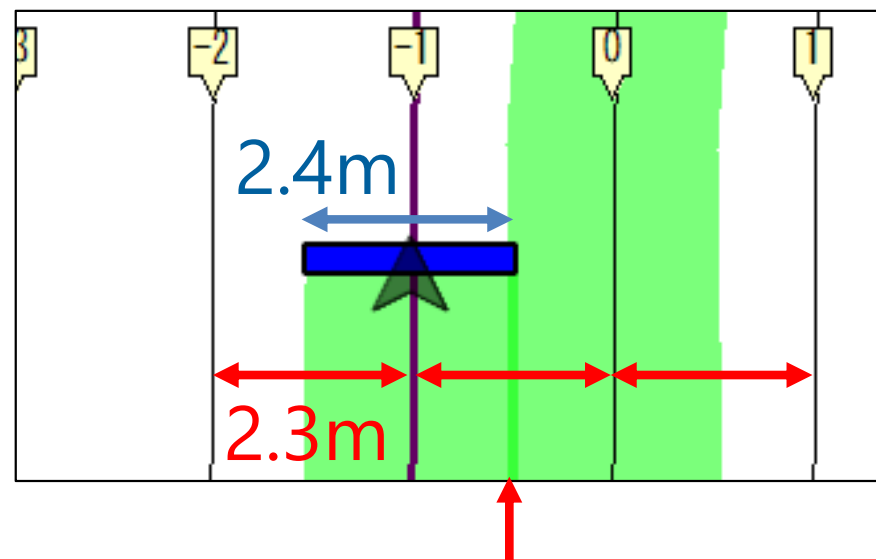
 をタップする

※  が表示されていない場合は、 をタップして画面を切り替えてください。

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



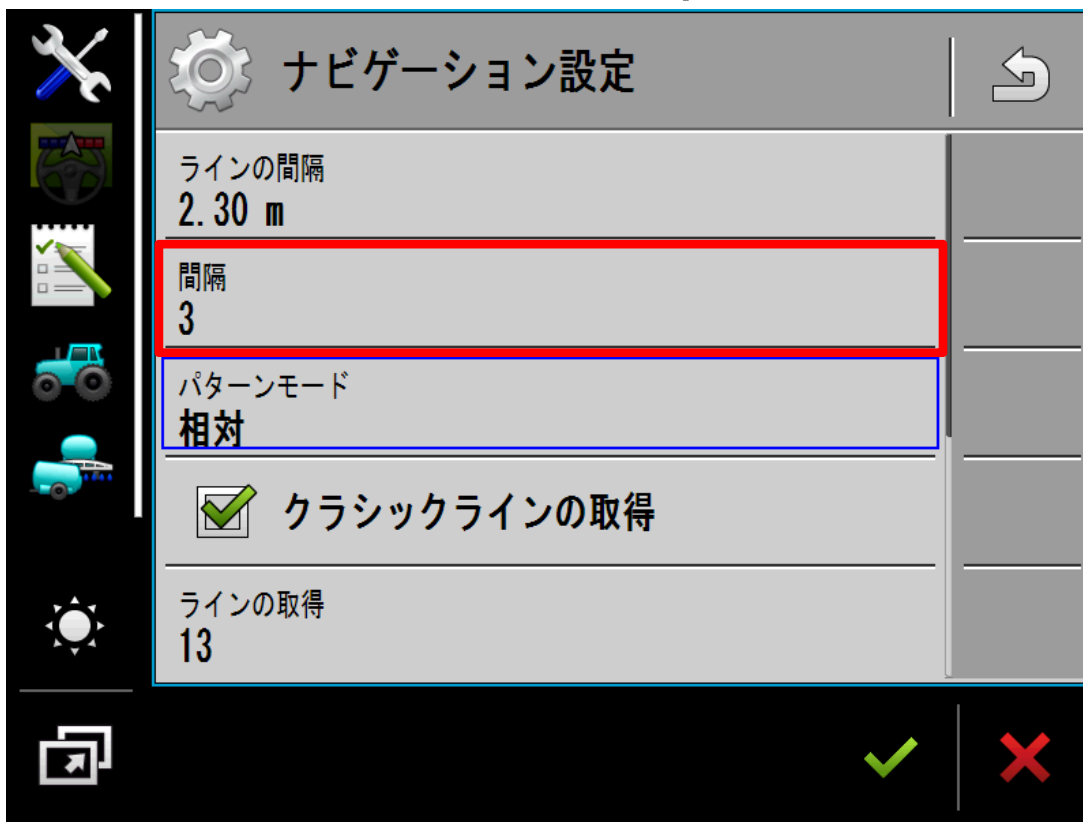
ラインの間隔をタップし、  
畝幅を入力する



例) ラインの間隔を2.3m、作業機の幅2.4mに設定した場合。左右に5cmの重なりができます

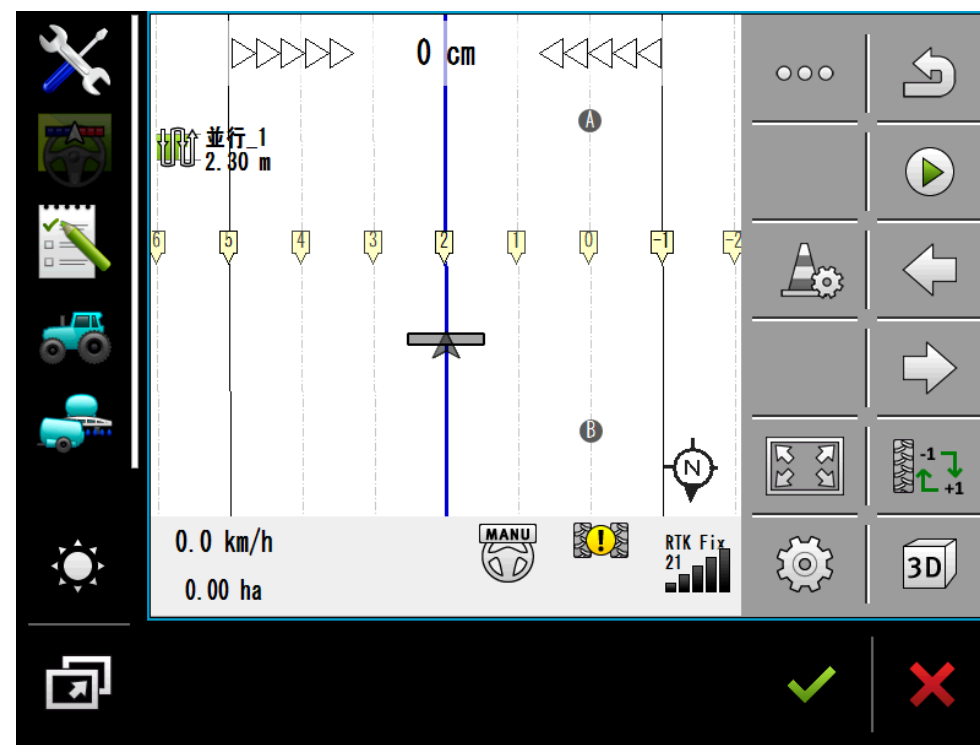
※設定値がガイドスラインの幅になります  
作業機設定で設定した「作業幅」より小さい値にすると、左右に重なりができます

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



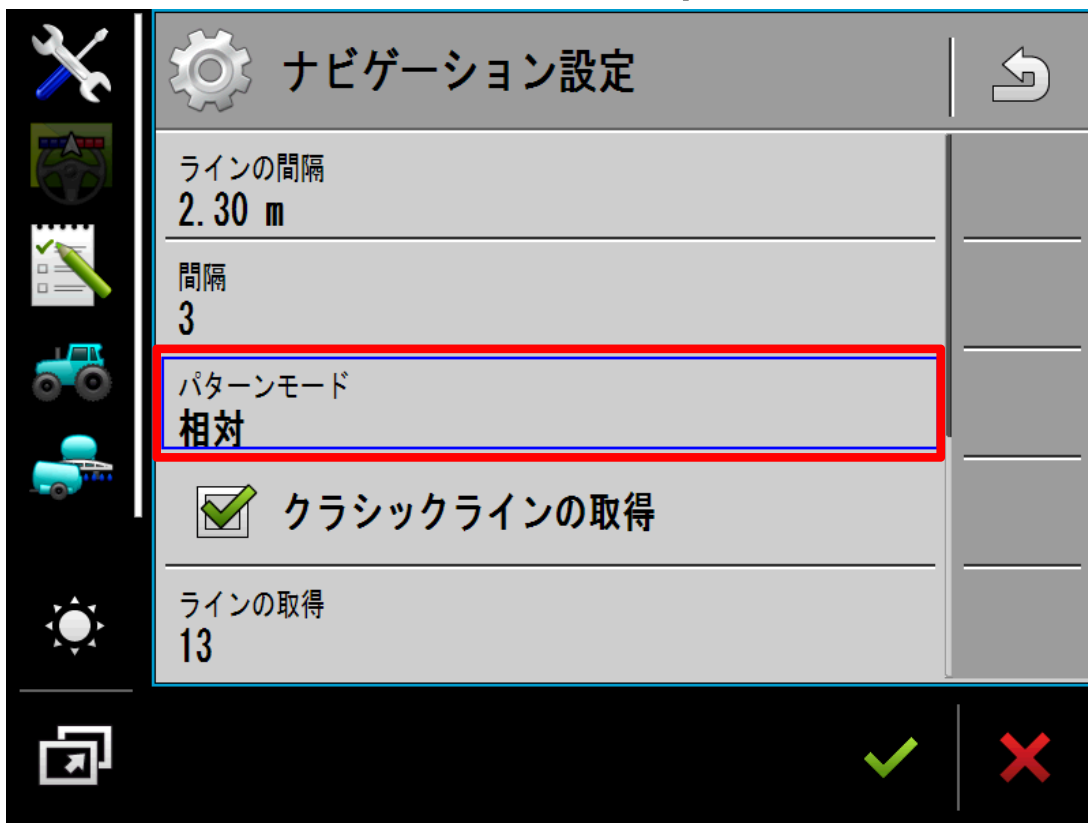
実線ラインの「間隔」を変更できます

※点線ラインも自動操舵可能です

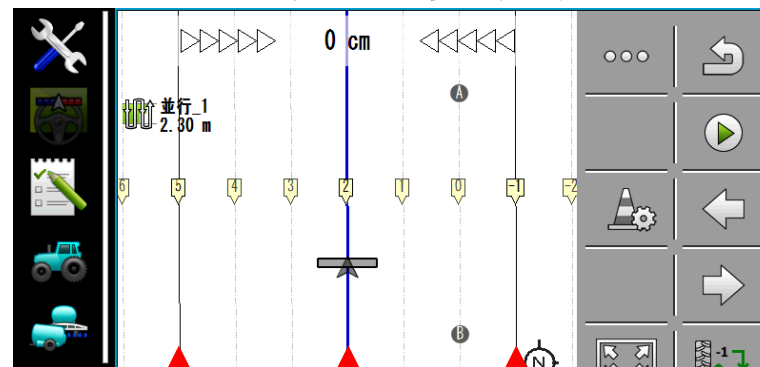


例) 「間隔」を「3」にした場合

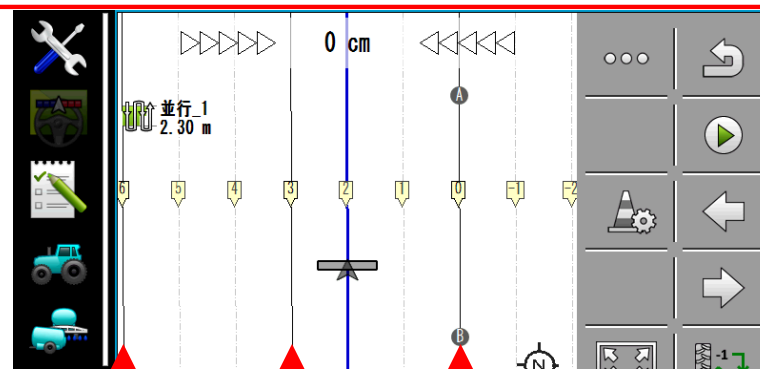
- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



「パターンモード」で、トラムラインの起点を変更できます

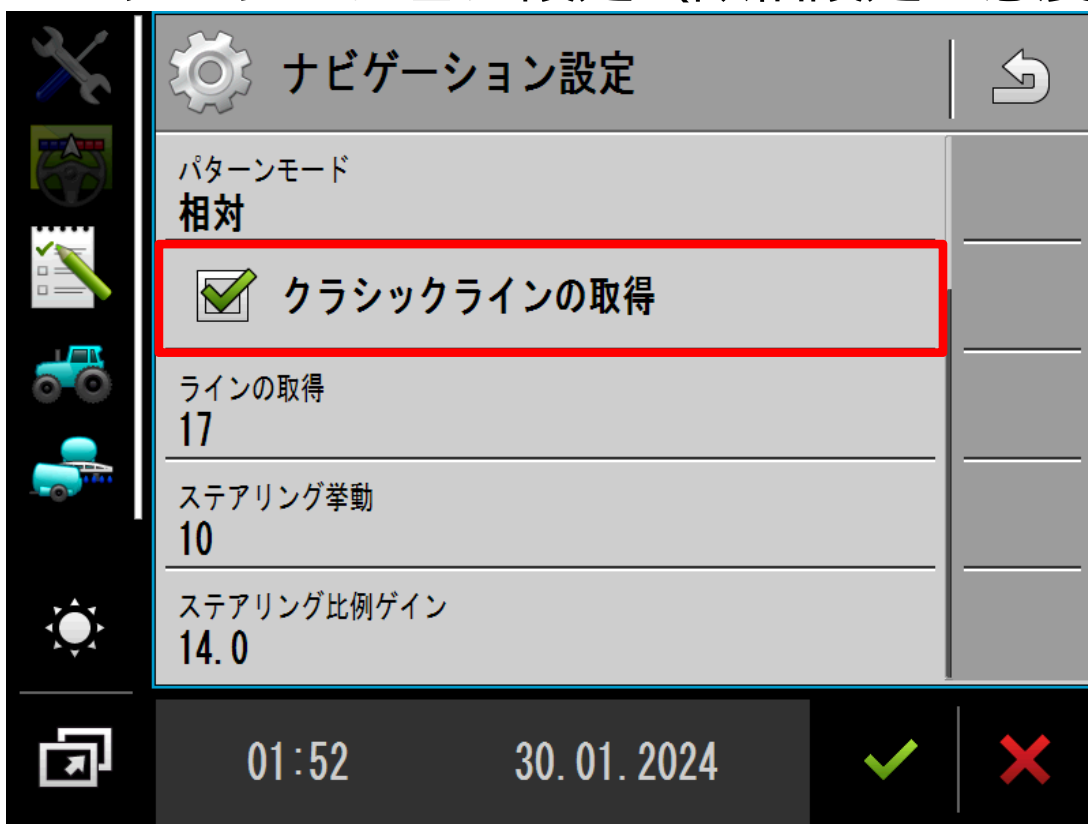


相対：自分の位置を基準に、実線ラインが表示される



絶対：初めに作成したAB線の位置を基準に、実線ラインが表示される

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）

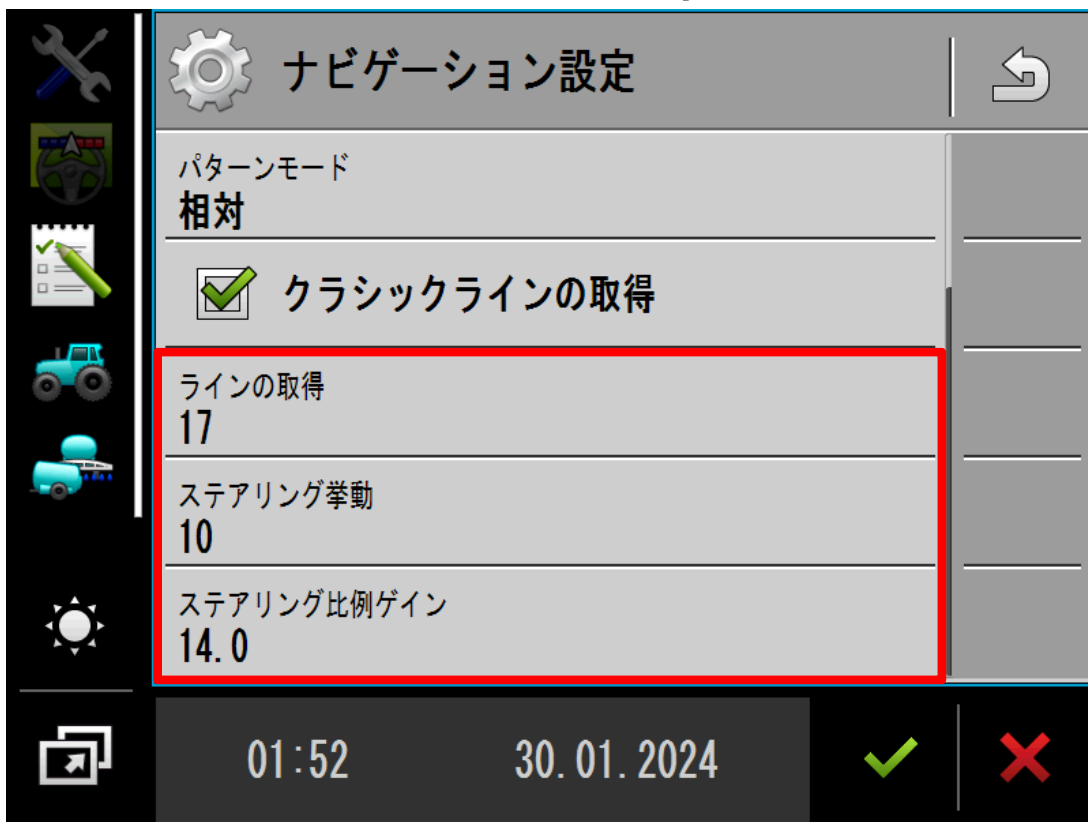


「クラシックラインの取得」を有効にします。

（チェックマークをつける）

※クラシック/OnSwathの切り替えが可能です

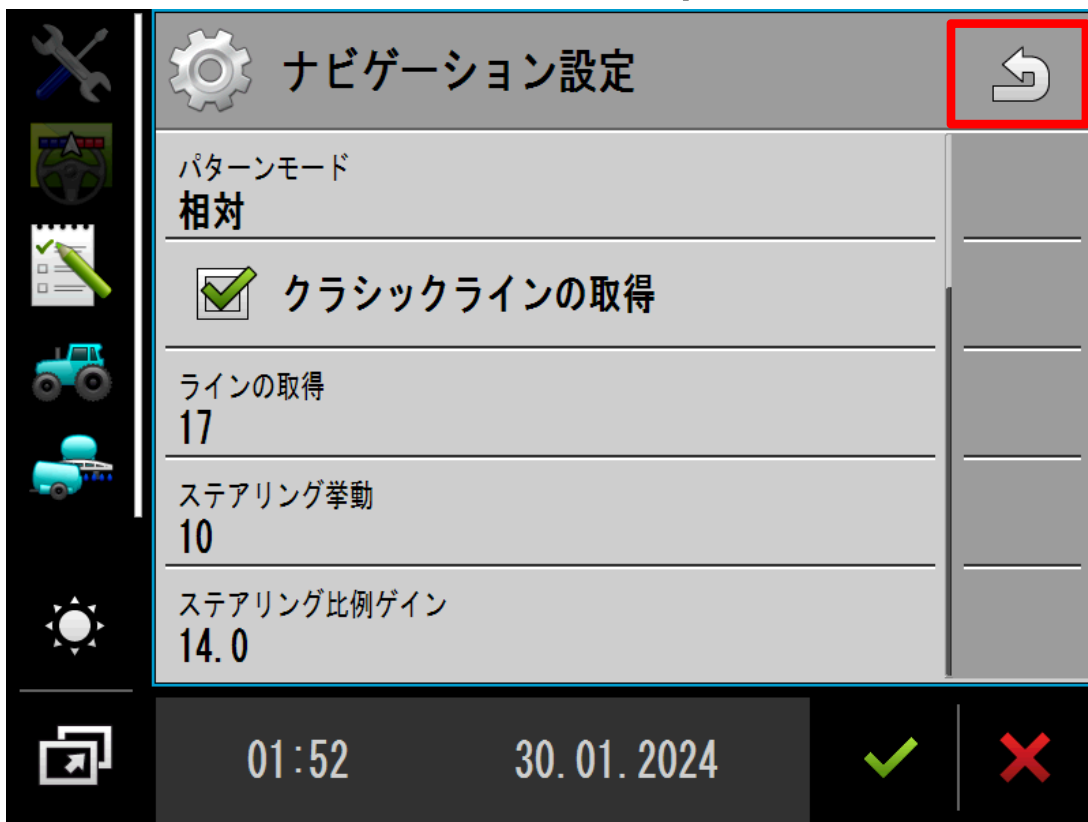
- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



自動操舵の感度調整に関わる各種パラメーターを変更することができます

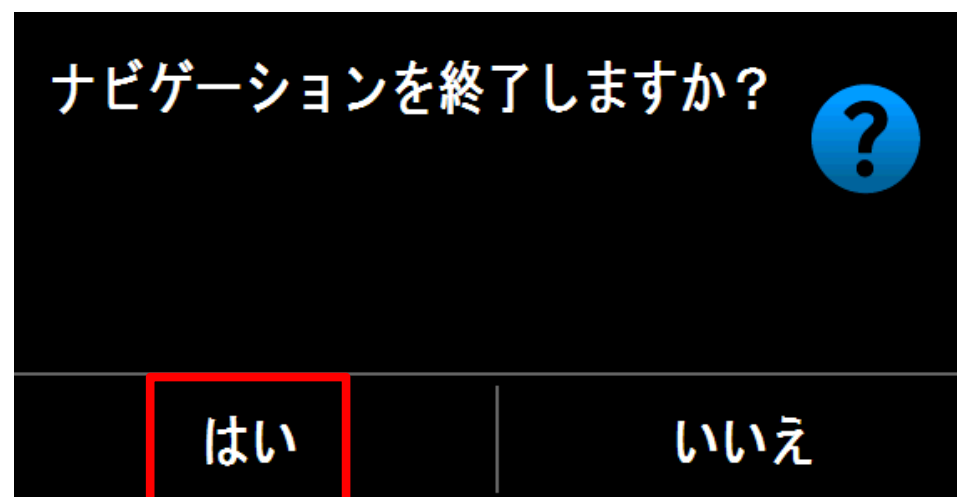
## 5. 実行画面

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



 をタップし設定を保存する

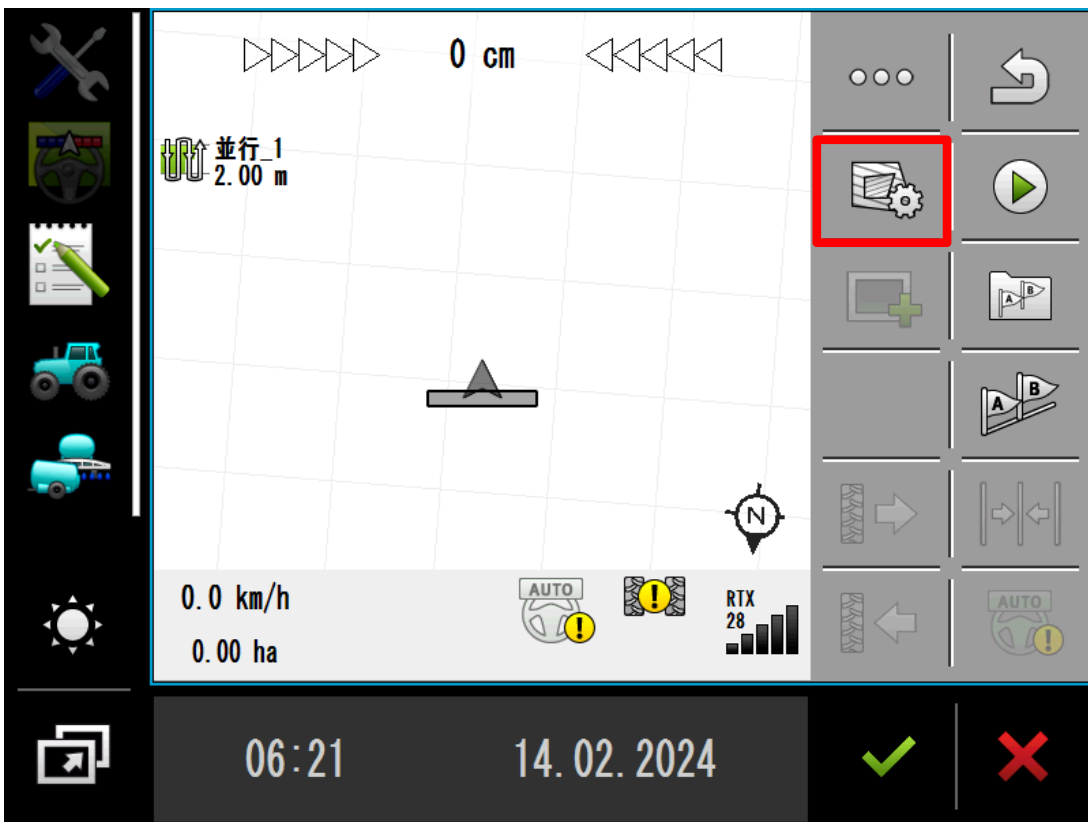
「はい」をタップする




# Track-Guide III

## 5. 実行画面

- 境界線の作成



 をタップする

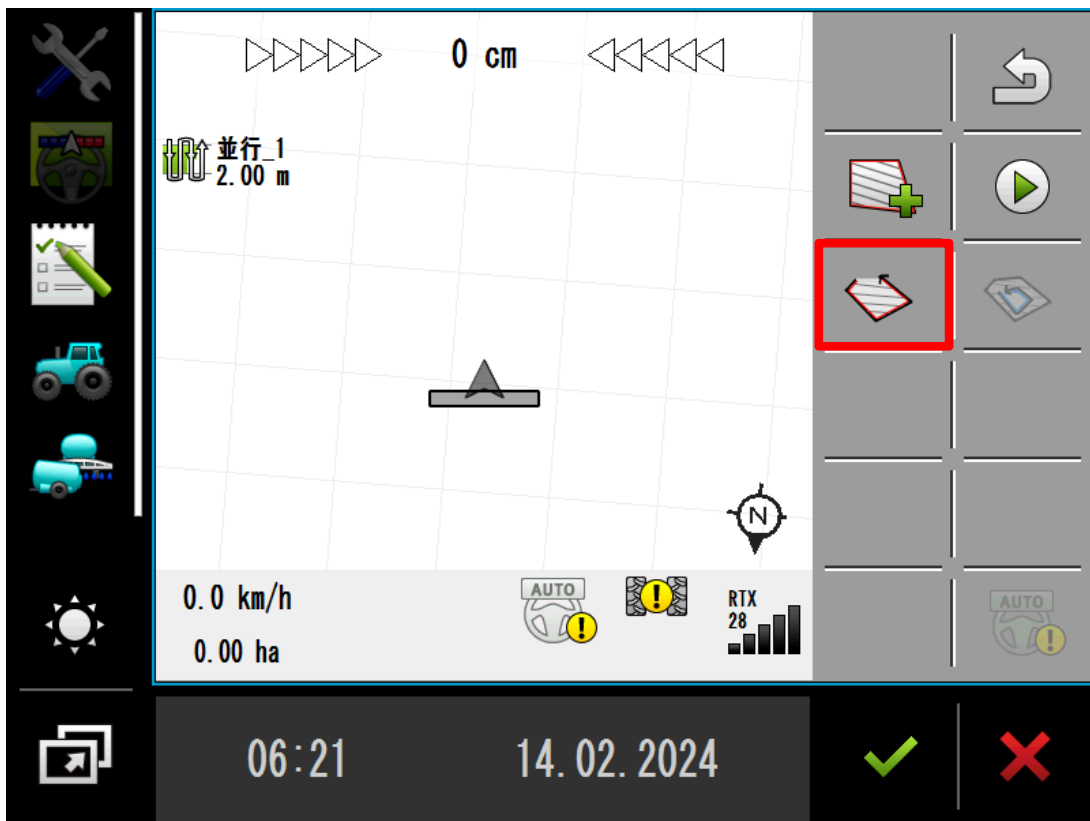
 境界線は作成しなくても作業（自動操舵）は可能です。必要な場合のみ作成してください。



# Track-Guide III

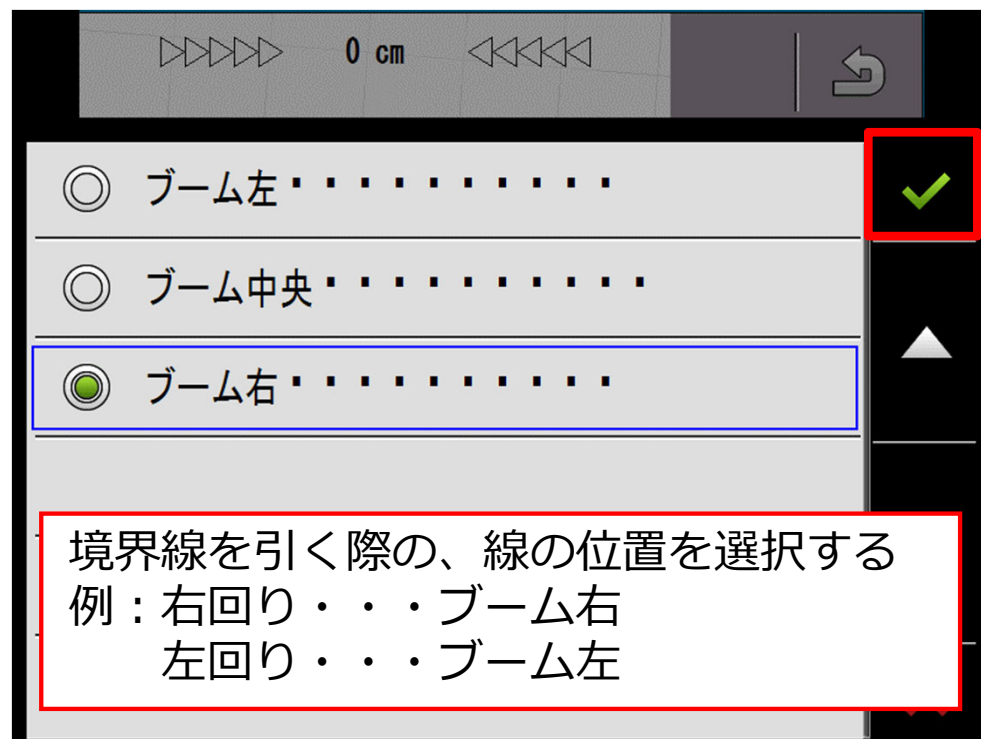
## 5. 実行画面

- 境界線の作成（境界線ラインを手動で作成する場合）



 をタップし下記を選択する

 をタップする



# Track-Guide III

## 5. 実行画面

- 境界線の作成（境界線ラインを手動で作成する場合）

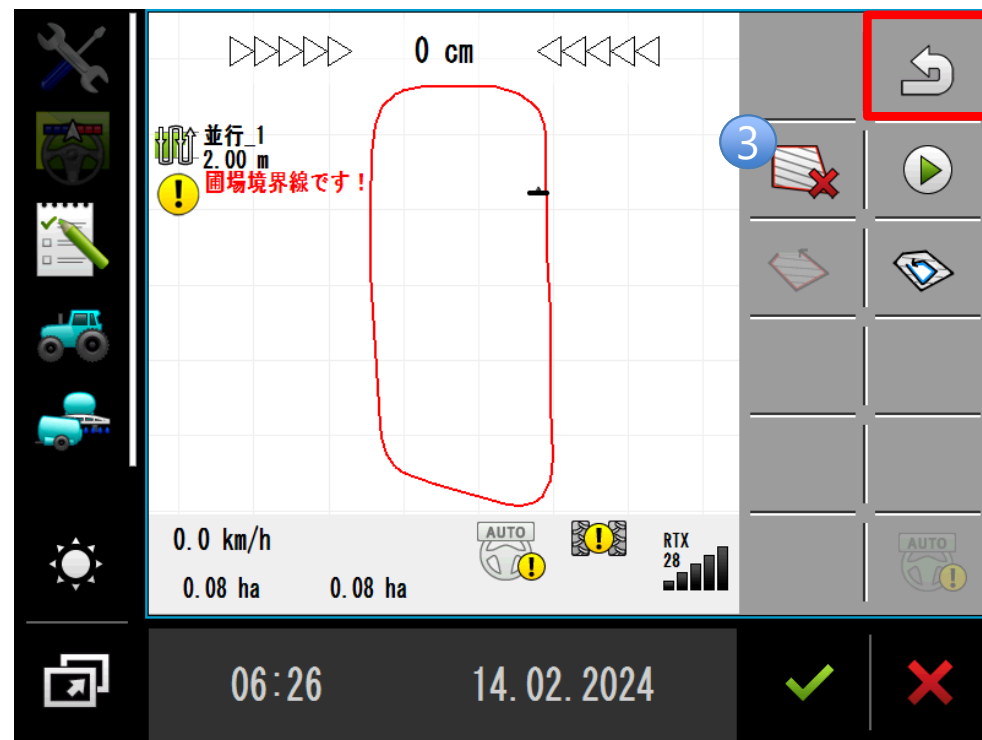
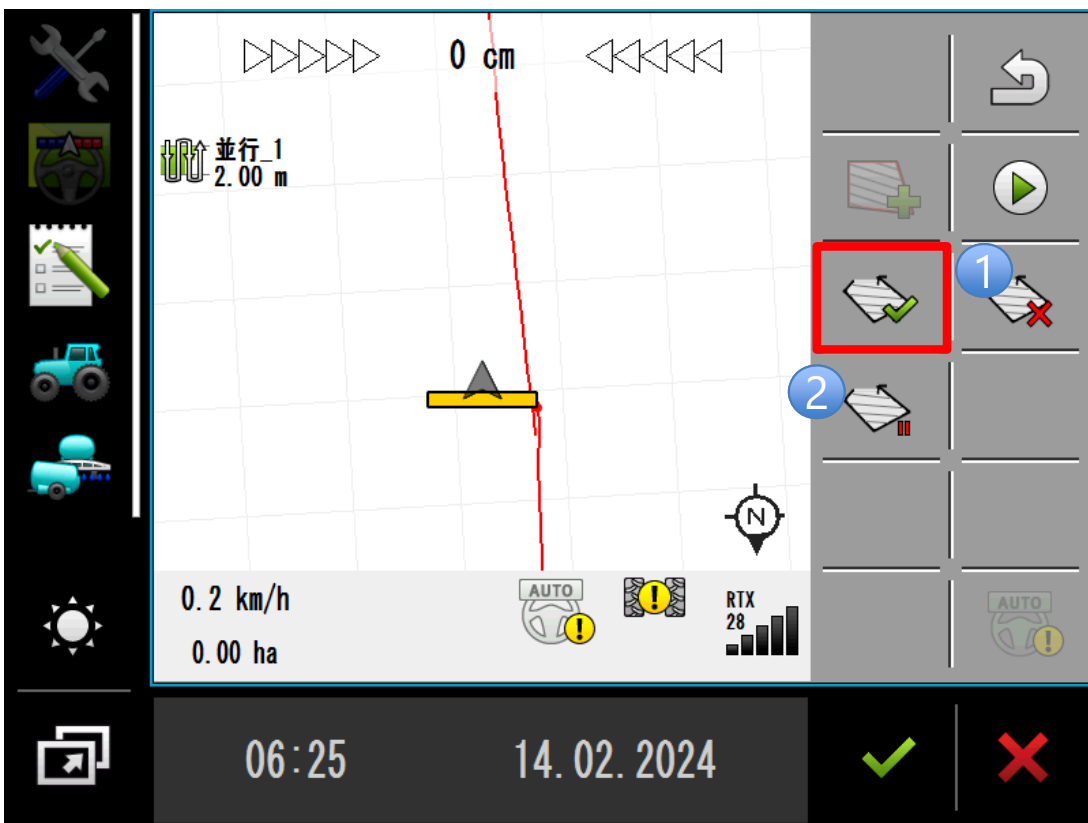
圃場の外周を一周し、



をタップする



をタップし元の画面に戻る



### 【便利な機能】

- 境界線作成をキャンセルする
- 境界線を直線で作成する（1度目に押した場所と2度目に押した場所を直線で繋ぐ）
- 3秒長押しで、作成した境界線を削除する

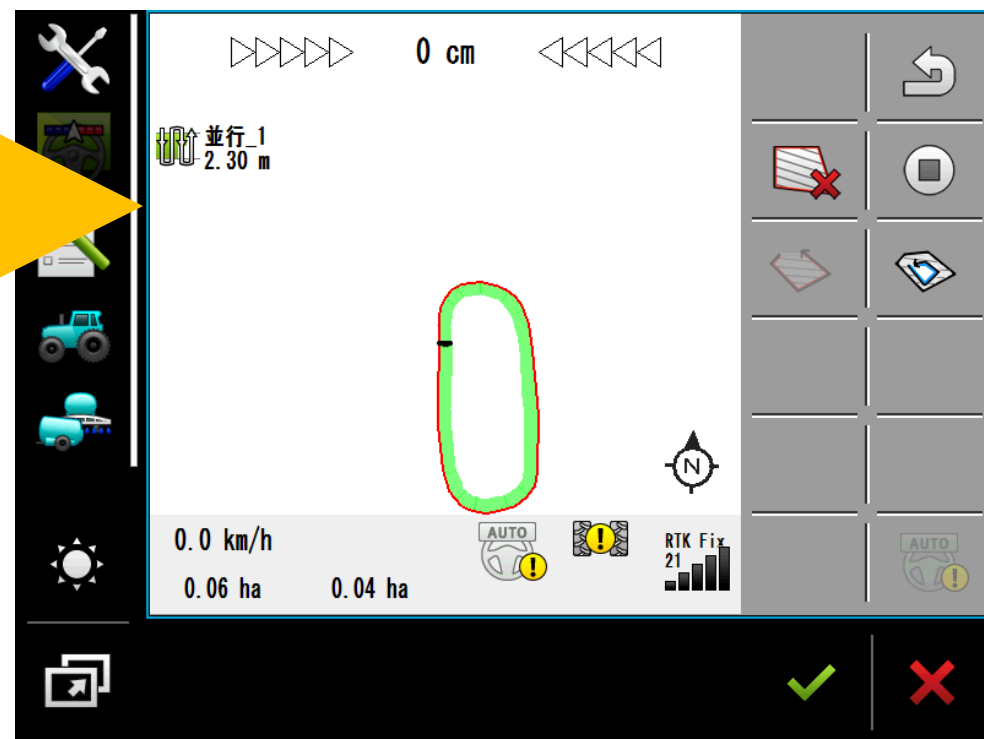
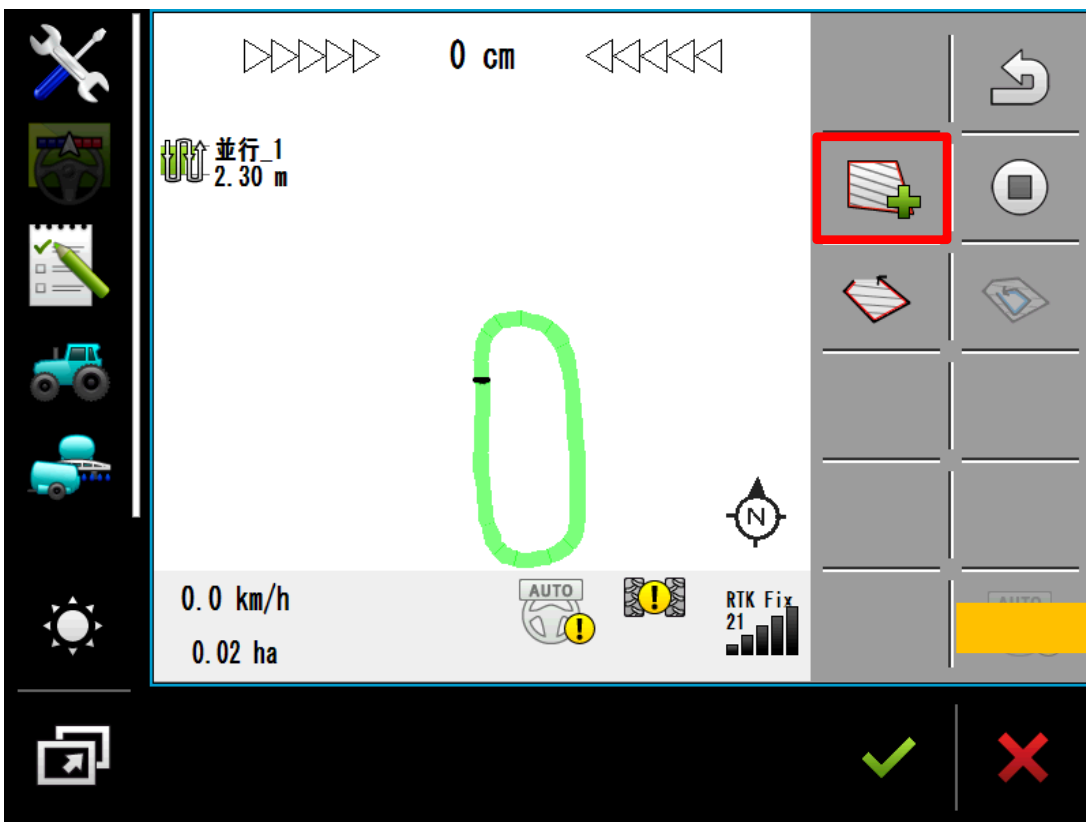
# Track-Guide III

## 5. 実行画面

- 境界線の作成（作業記録から境界線を作成する場合）

作業記録が表示されている状態で  をタップする

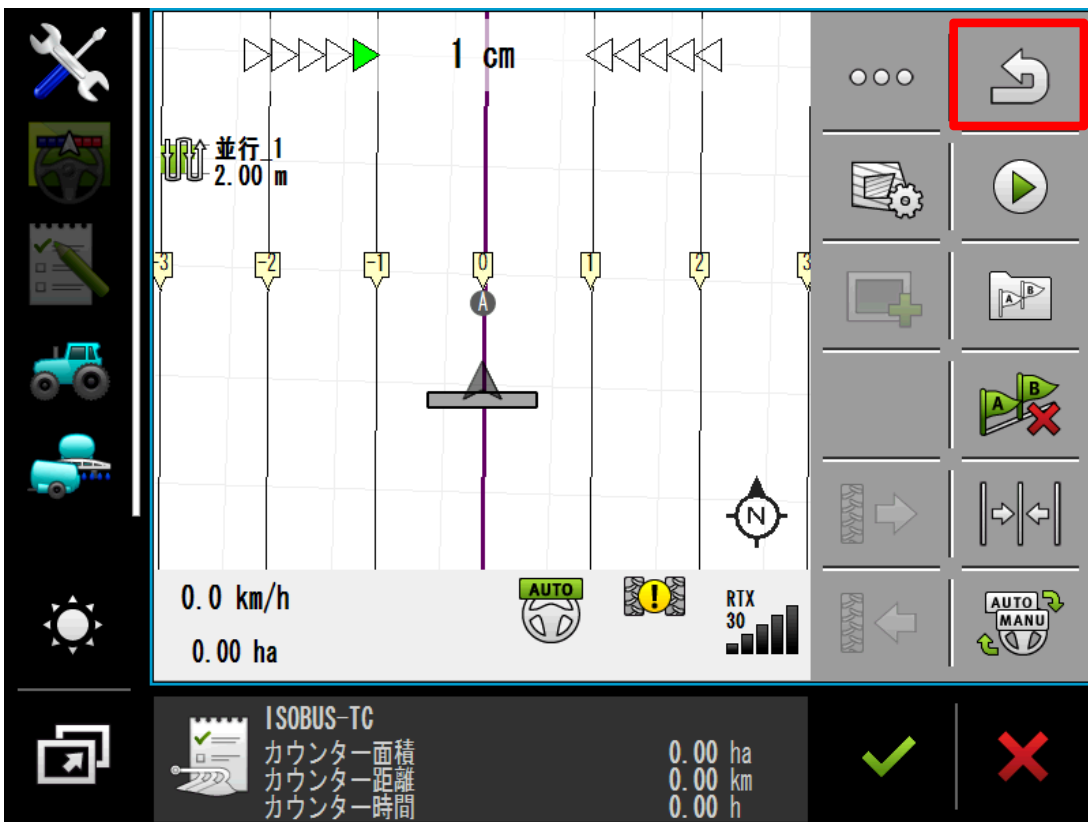
→作業記録の周りに自動で境界線が作成されます




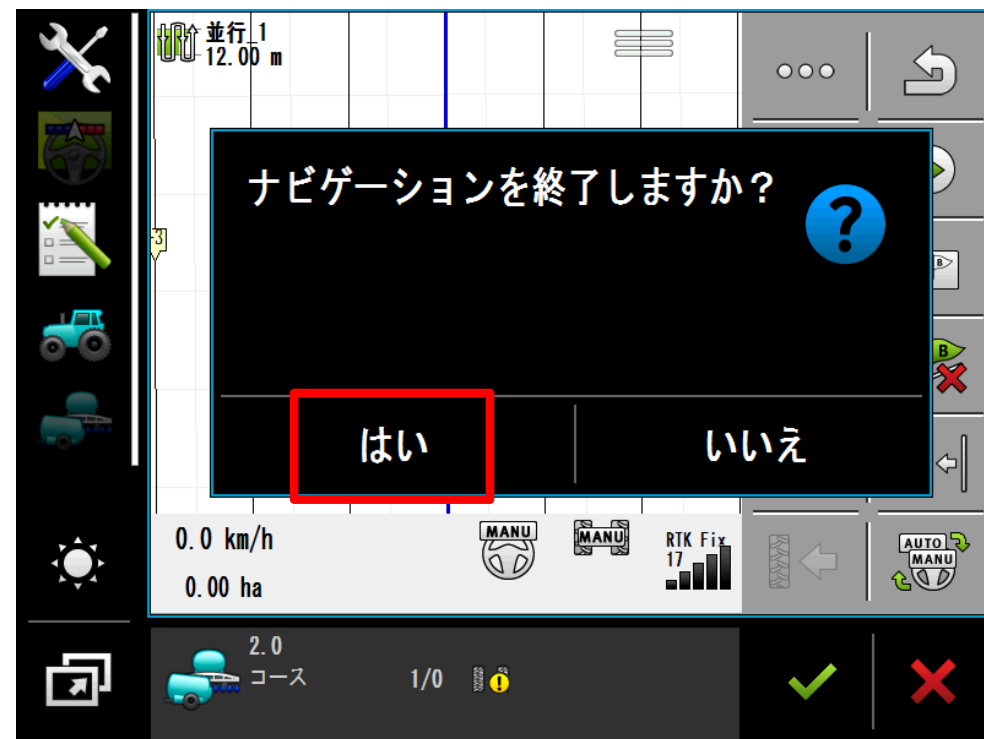
# Track-Guide III

## 5. 実行画面

### ● 作業終了時



 をタップし、  
実行画面を終了する  
「はい」をタップする





# Track-Guide III

## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）

### 6. 自動舵設定（ロール補正編）

- NAV-900の取付と車両の傾きを補正する。
  - ロール補正の前に行うこと
    - ① 車両設定
    - ② AB線作成

#### • ロール補正時の注意点

- ① 精度を高める為にRTK及びRTX環境で実施
- ② 農作業機は取外して行う
- ③ 凹凸の少ない極力平らな場所で行う

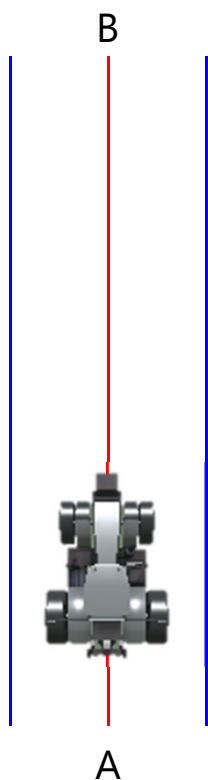
#### • 実施頻度

- ① タイヤの空気圧を変更したタイミングで実施。
- ② 春作業・秋作業が始まる前の準備期間で実施。

## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）

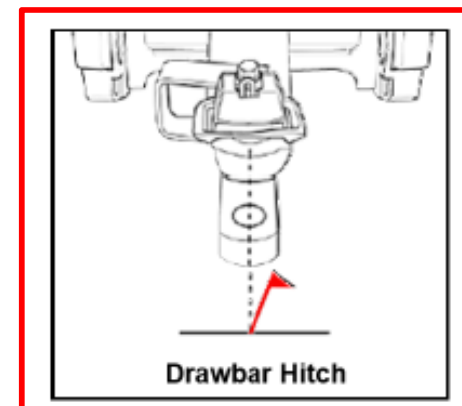
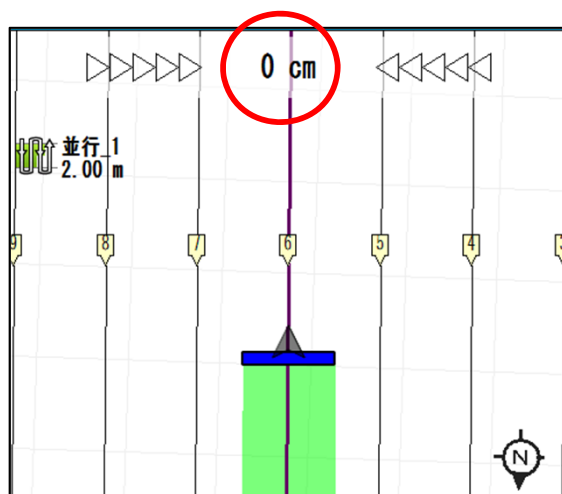
### ・ロール値の測定

① AB線を作成。



② 自動操舵を入れ、誤差0cmの場所でストップ。

③ 誤差0cmの場所に印をつける。

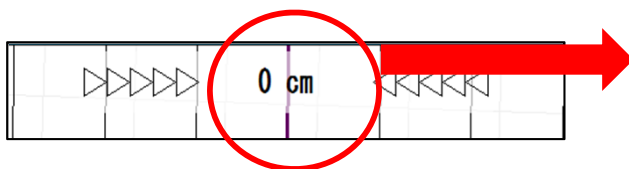


※地面に印をつける  
例：車両の中心（連結部など）  
例：後輪の接地点

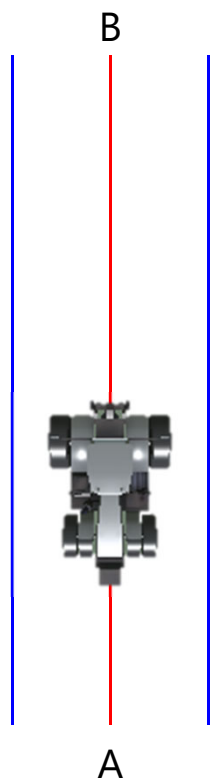
# Track-Guide III

## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）

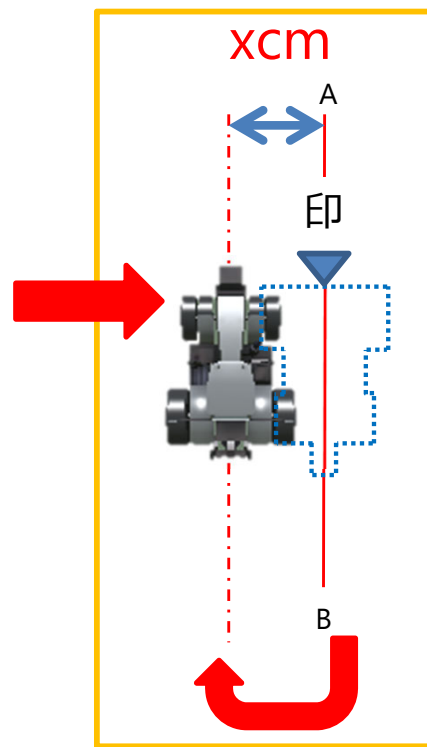
### ・ロール値の測定



印をつけた位置に戻った際は誤差が「0cm」であることが重要。  
誤差が出る場合は「0cm」になるまで、全後進を繰り返す。



- ④ AB線上を走り、旋回。
- ⑤ 同一AB線を走り、印をつけた位置で停止する。
- ⑥ 車両の中心と先程付けた印とのズレを測定。





# Track-Guide III

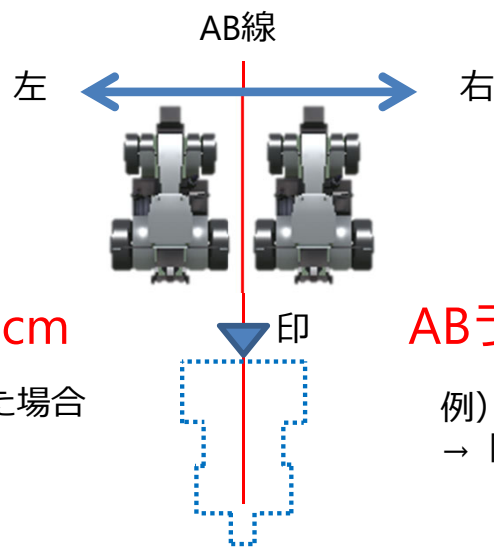
## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）

### ・ロール値の測定

⑦測定した誤差の半分の値を「TAP」の値に入力する。

※AB線の左に車両があれば「+（プラス）の値」  
右にあれば「-（マイナス）の値」となる  
単位は「m（メートル）」

⑧誤差が限りなく0cmになるまで②～⑦を繰り返す。

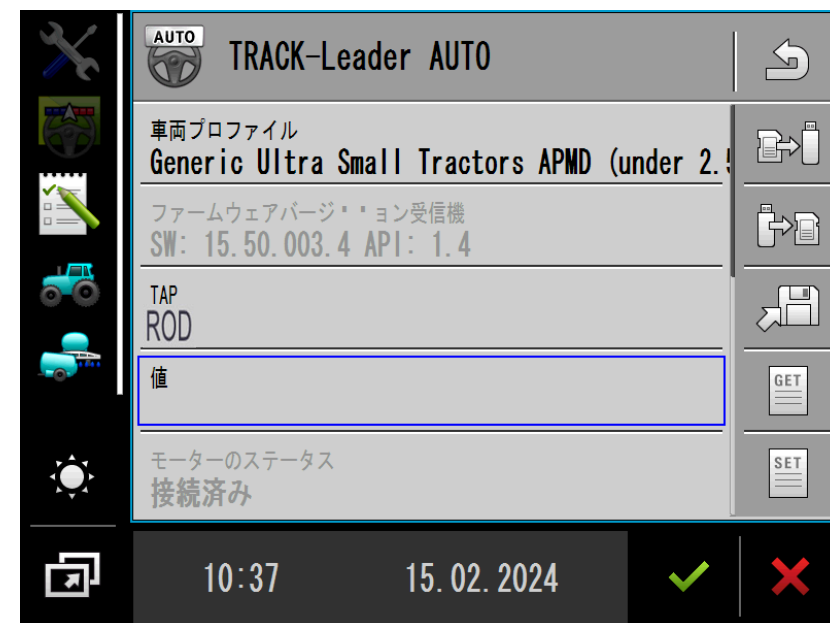


ABラインの左側 x cm

例) 左に10cmずれていた場合  
→ 「0.05」

ABラインの右側 x cm

例) 右に10cmずれていた場合  
→ 「-0.05」





をタップする

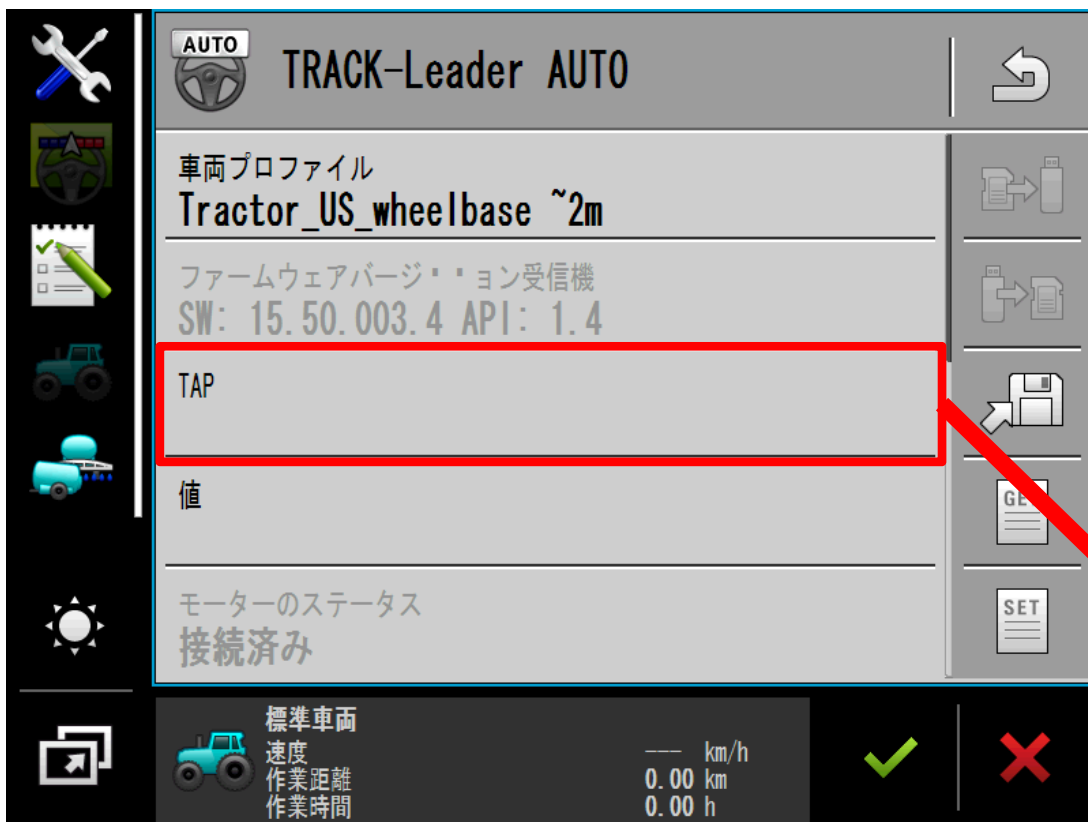
「設定」をタップする



「TRACK-Leader AUTO」  
をタップする

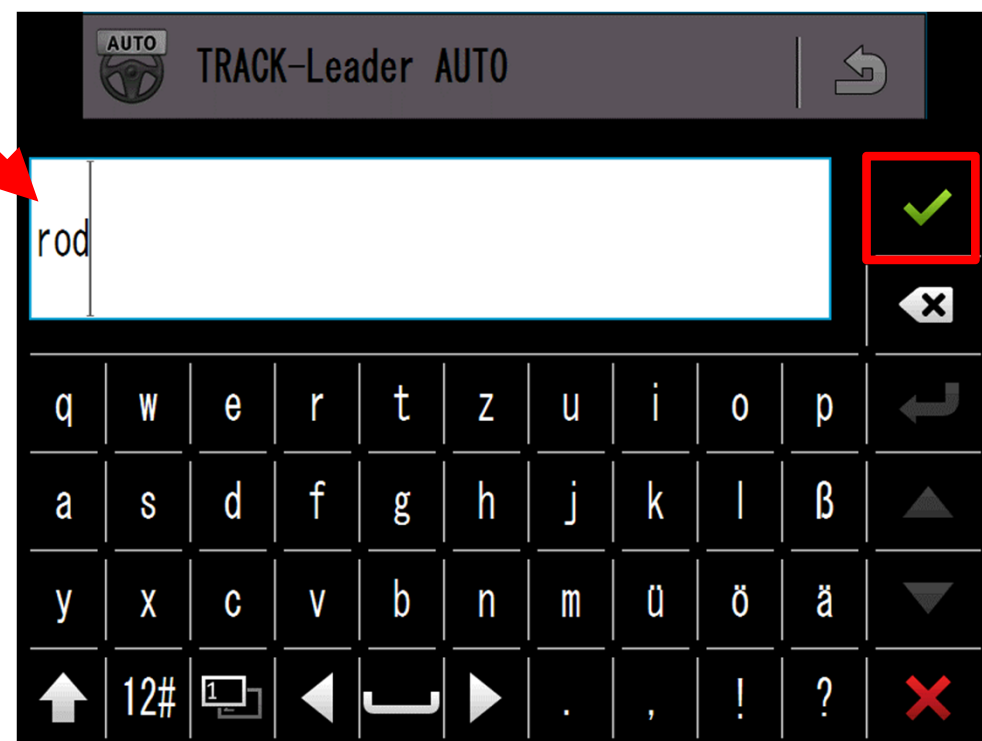
# Track-Guide III

## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）



「TAP」をタップし「ROD」を入力する

 をタップする



# Track-Guide III

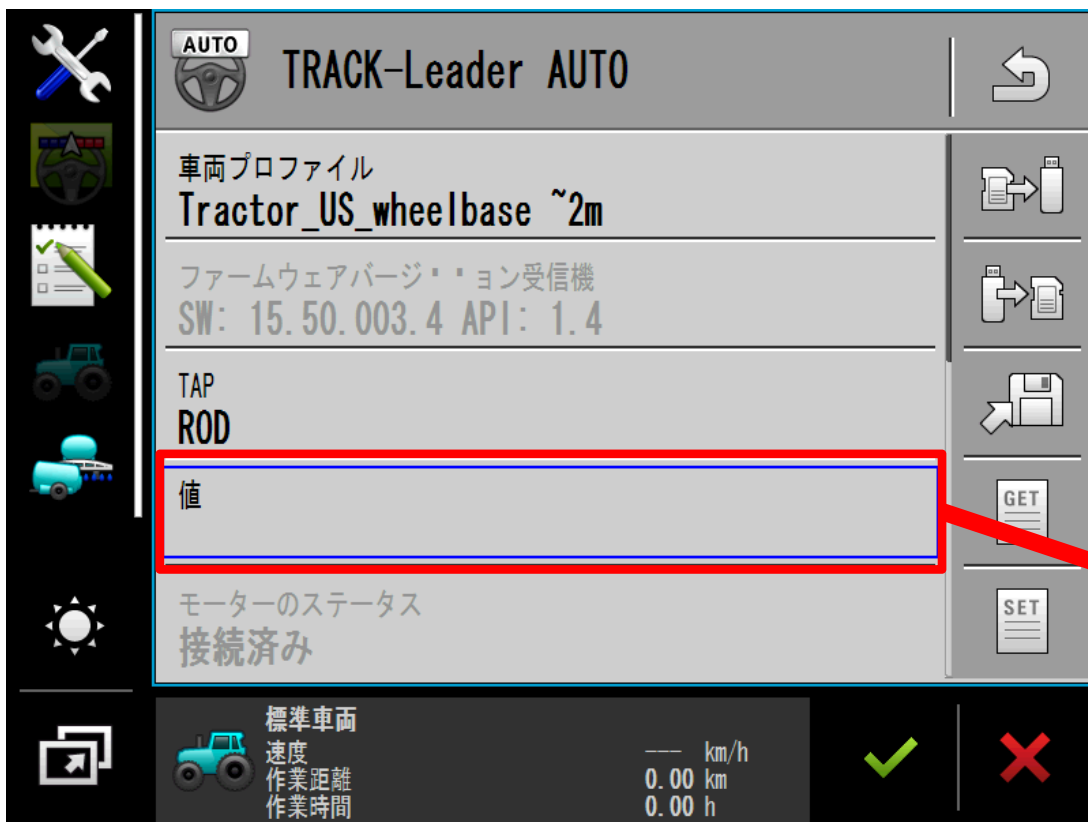
## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）



「GET」をタップすると、  
「値」に現在の設定値が表示されます  
現在の設定値を確認する場合に  
使います

# Track-Guide III

## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）



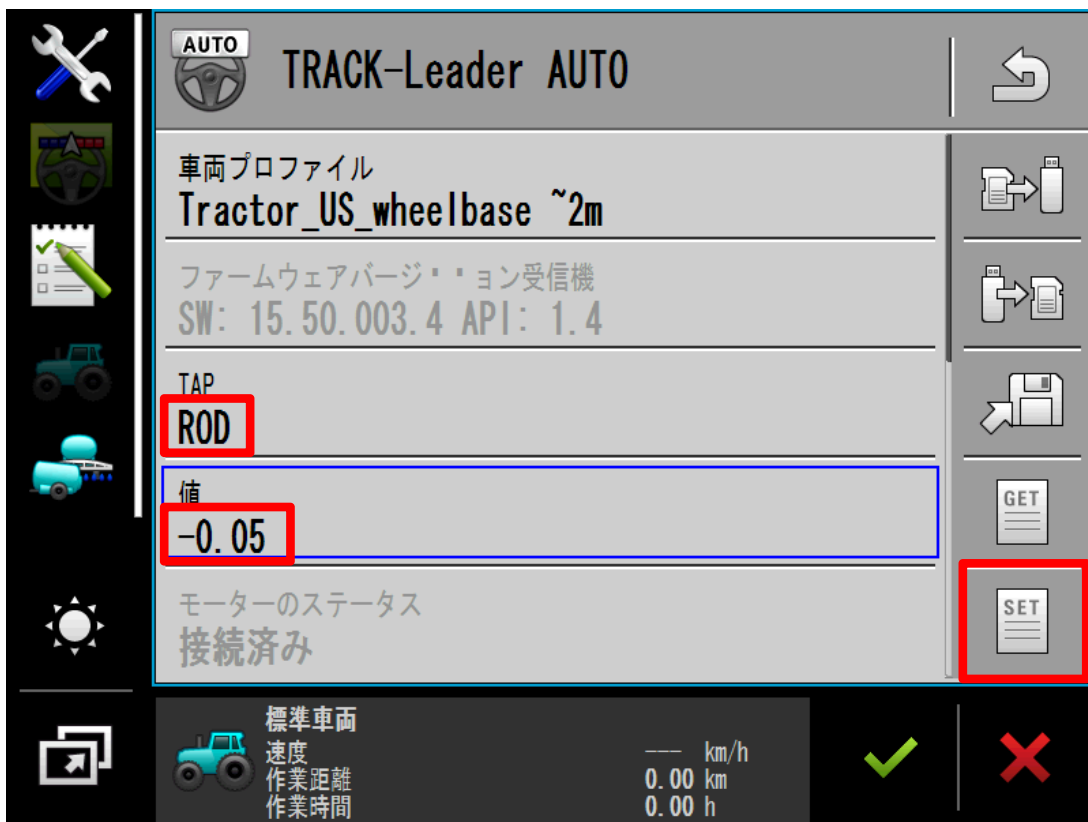
「値」をタップし数値を  
入力する

 をタップする



# Track-Guide III

## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）



「SET」をタップし、入力した「値」を確定する

例：測定値が右に10cmの場合

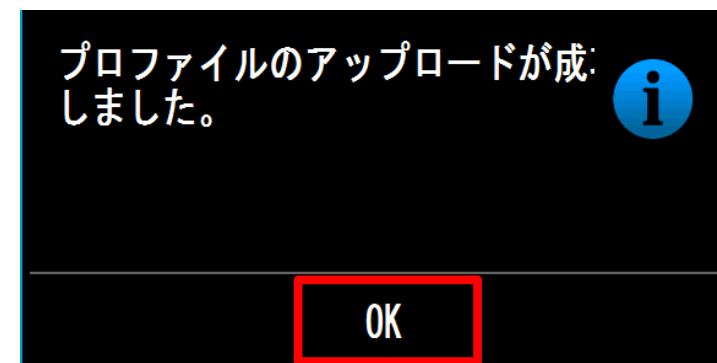
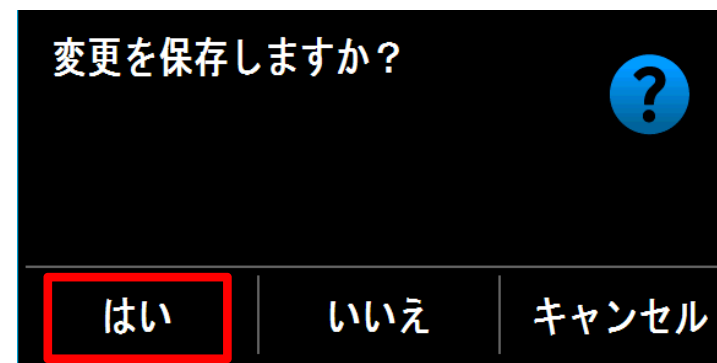
# Track-Guide III

## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）



 をタップし設定を保存する

「はい」をタップする




**注意** TAP変更後の車両プロファイルは  
NAV-900に保存されます。

詳細は「車両データの保存・転送」をご参照く  
ださい。

# Track-Guide III

## 6. 自動操舵設定（ロール補正編）



 をもう一度回タップし、はじめの画面に戻す







# Track-Guide III

## 7. 車両データの保存・転送・削除

# Track-Guide III

## 7. 車両データの保存・転送・削除

### ● 車両データの保存・転送



をタップする

「設定」をタップする



「TRACK-Leader AUTO」  
をタップする

# Track-Guide III

## 7. 車両データの保存・転送・削除

### ● 車両データの保存・転送

**注意** TAP変更後の車両プロファイルはNAV-900に保存されます



USBメモリに保存されている車両プロファイル全てをTGⅢに転送する

TGⅢに保存されている車両プロファイル全てをUSBメモリに転送する

NAV-900に保存されている設定を新規プロファイルとしてTGⅢに保存する

※TAPを変更した場合、TGⅢにも保存しておくことを推奨します。

# Track-Guide III

## 7. 車両データの保存・転送・削除

- 車両データの削除



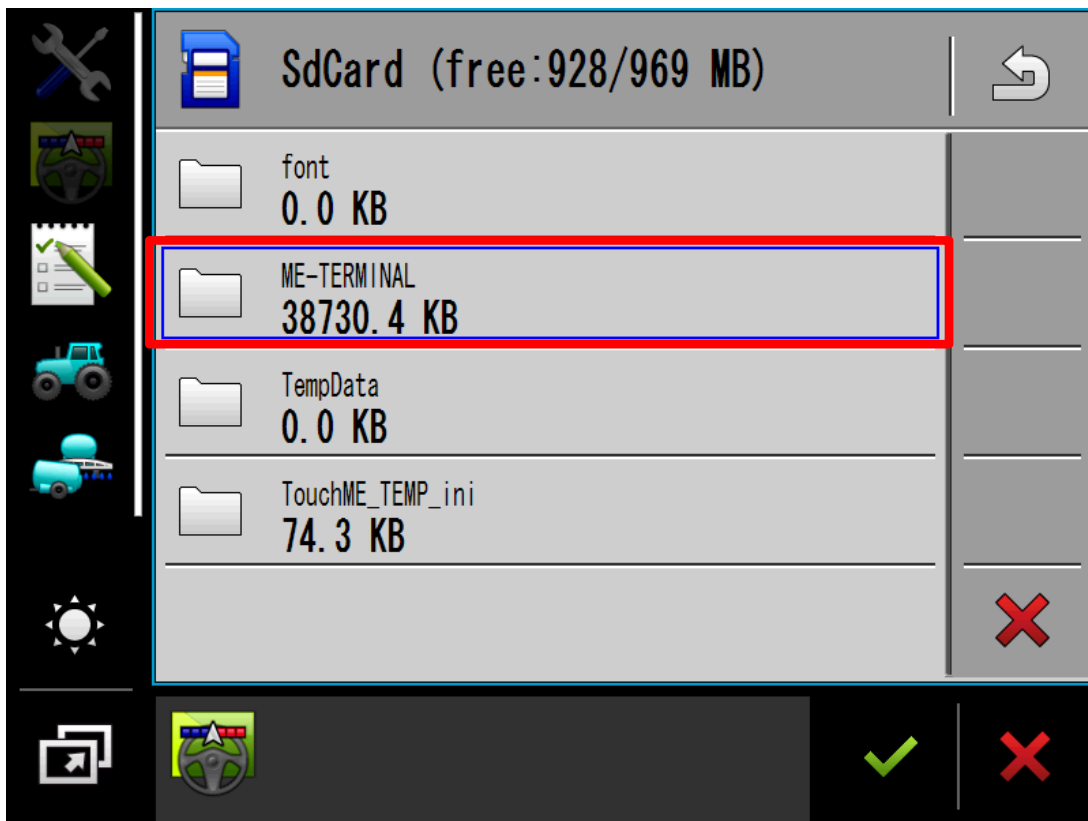
をタップする

「SDCard」をタップする

## Track-Guide III

### 7. 車両データの保存・転送・削除

- 車両データの削除



「ME-TERMINAL」

↓

「data」

↓

「tl」

↓

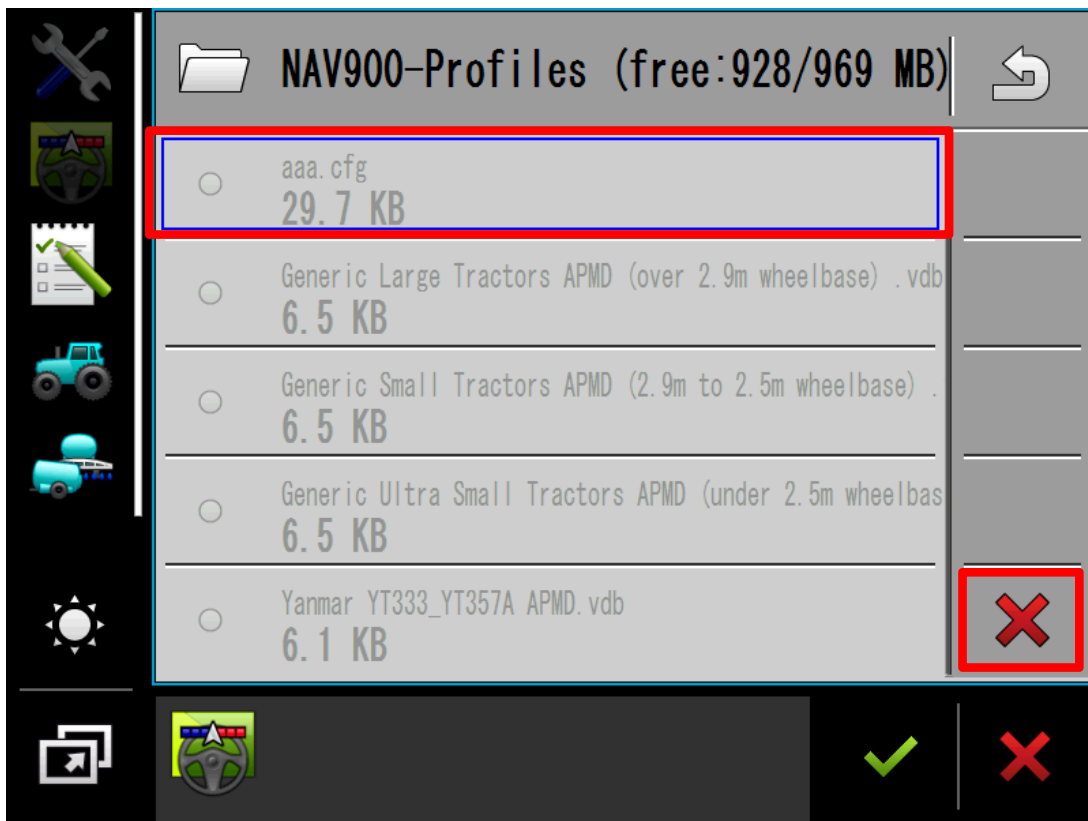
「NAV900-Profiles」

の順に2回タップし選択する

## Track-Guide III

### 7. 車両データの保存・転送・削除

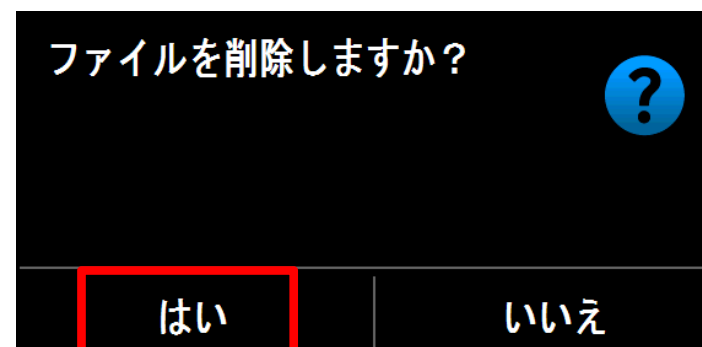
#### ● 車両データの削除



削除したいデータを選択し、

 をタップする

「はい」をタップする



削除が完了したら

 を複数回タップし、

はじめの画面に戻る



# Track-Guide III

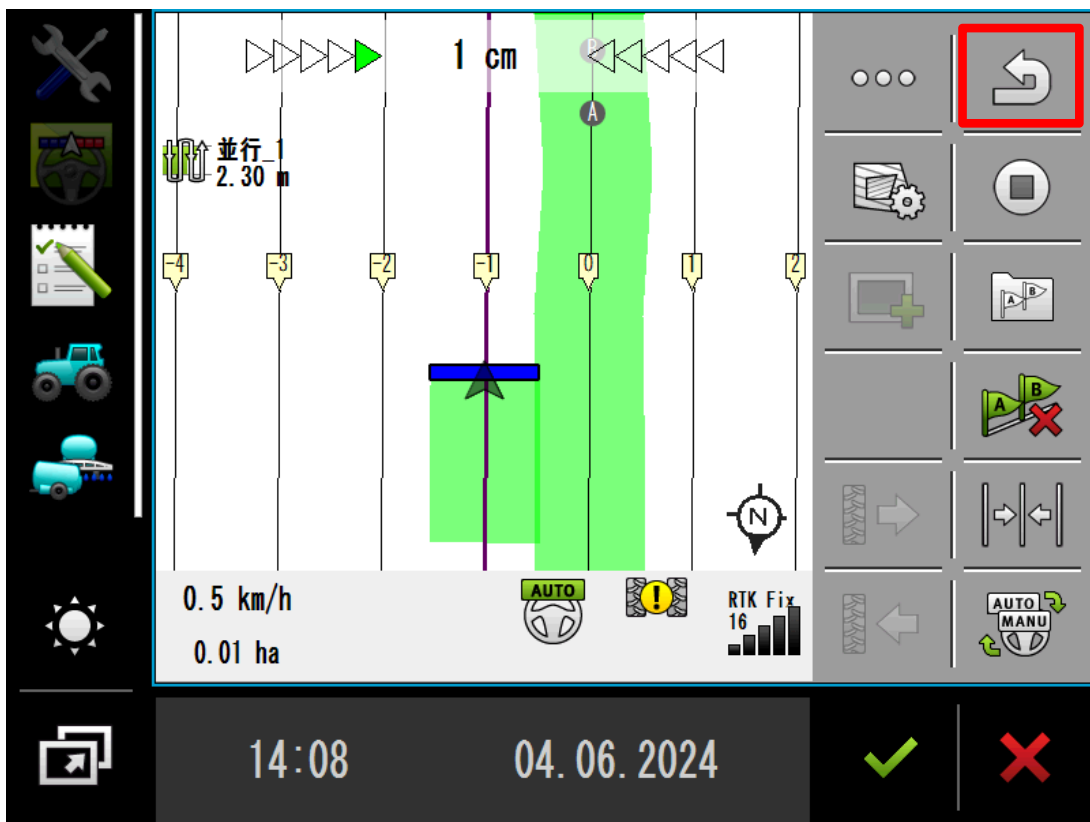
## 8. 圃場データの保存・転送・削除


圃場データには、以下が含まれます

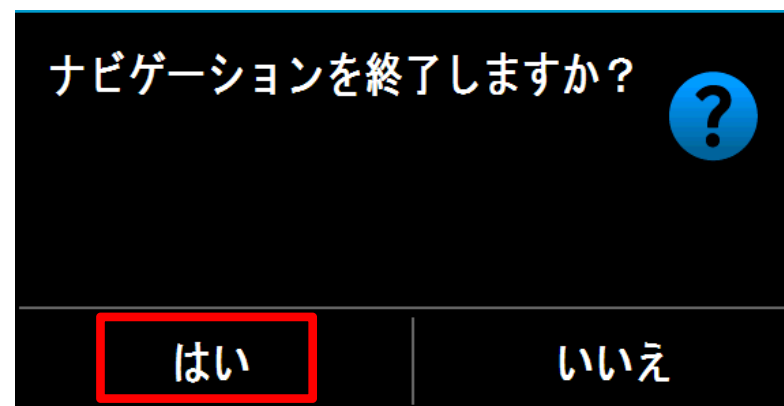
- ・ AB線
- ・ 作業記録（色塗り）
- ・ 境界線

# Track-Guide III

## 8.圃場データの保存・転送・削除




 をタップし、  
実行画面を終了する。  
「はい」をタップする







「ストレージ」をタップする

※この画面になっていない場合は  をタップする

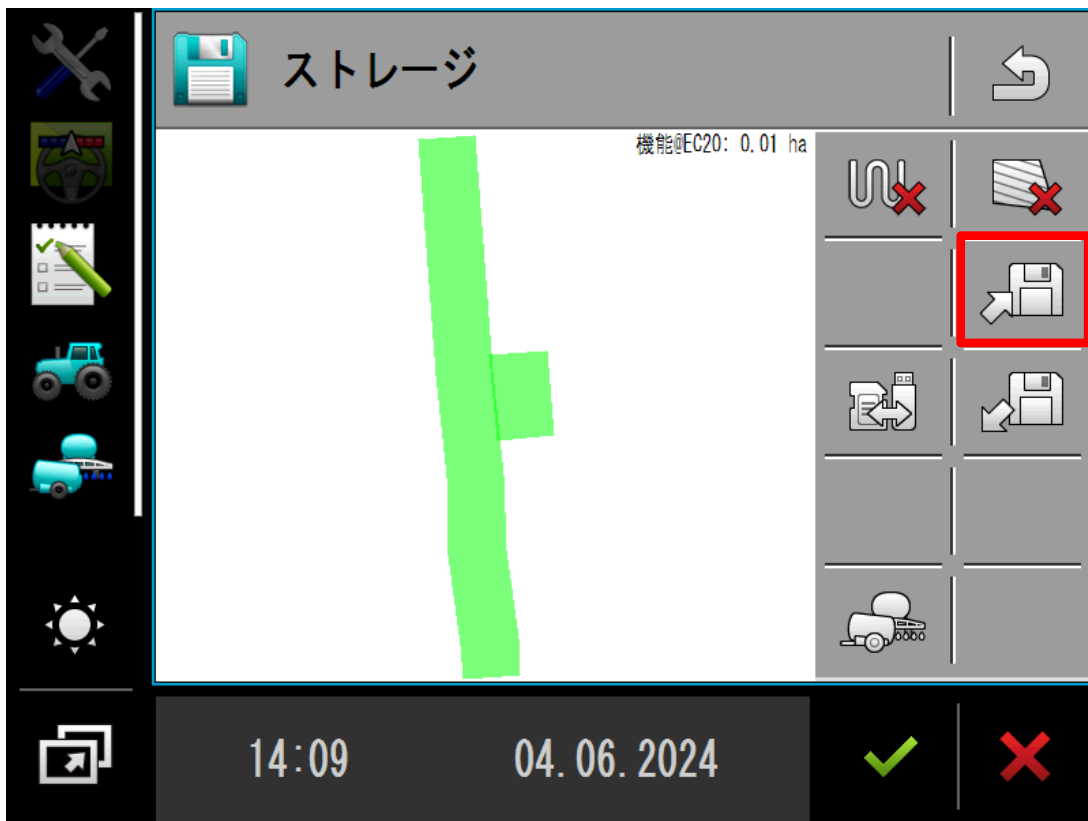


- ①現在有効になっている圃場で記録された **作業記録（色塗り）を全て削除**する
- ②現在有効になっている圃場で作成された **AB線を全て削除**する
- ③圃場データ（AB線・作業記録・境界線）をTGⅢとUSB（USBが接続されている場合）に保存する
- ④圃場データ（AB線・作業記録・境界線）をTGⅢから読み出す  
※USBからの読み込みはできません
- ⑤TGⅢ内のデータとUSB内のデータを同期する

## Track-Guide III

### 8. 圃場データの保存・転送・削除

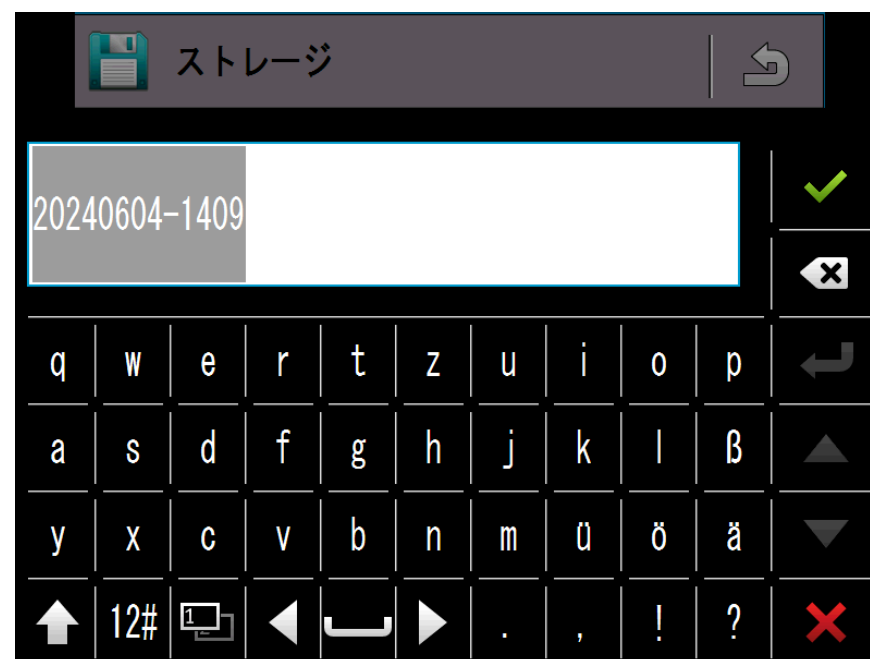
- 圃場データをTGⅢ内とUSBに保存する



 をタップする

TGⅢ内と、USB（USBを接続している場合は両方）に圃場データが保存される。

名前を付けて  をタップする

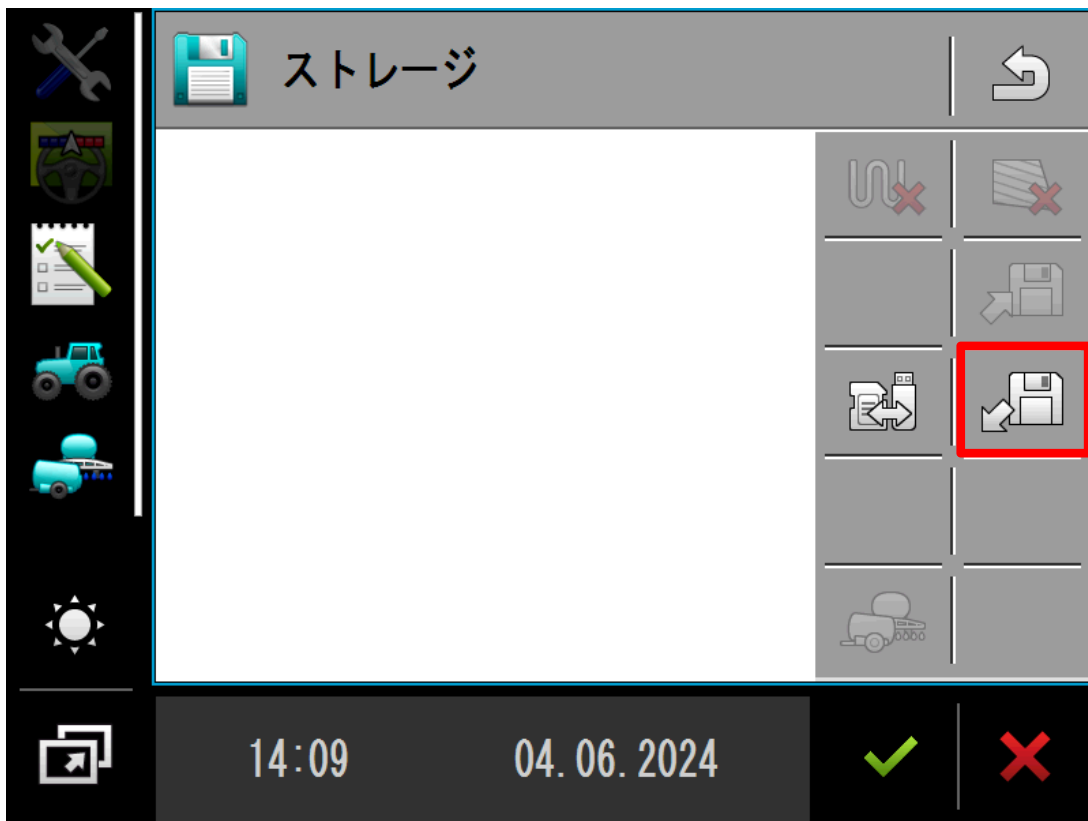


👉 データ保存後、圃場データが無効になるので、引き続き保存した圃場データを使用する場合は、ロードが必要になります。

## Track-Guide III

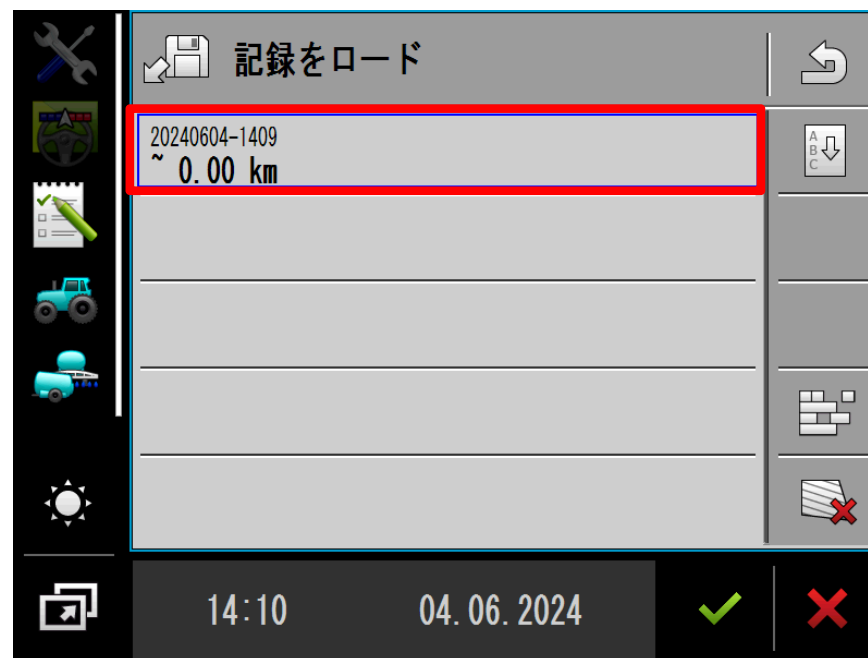
### 8. 圃場データの保存・転送・削除

- 圃場データをTGⅢ内から読み出す



 をタップする

読み出したいデータを**2回タップ**し、選択する



データ保存後、圃場データが無効になるので、引き続き保存した圃場データを使用する場合は、読み出しが必要になります。

# Track-Guide III

## 8.圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



をタップする

「圃場」をタップする

# Track-Guide III

## 8. 圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



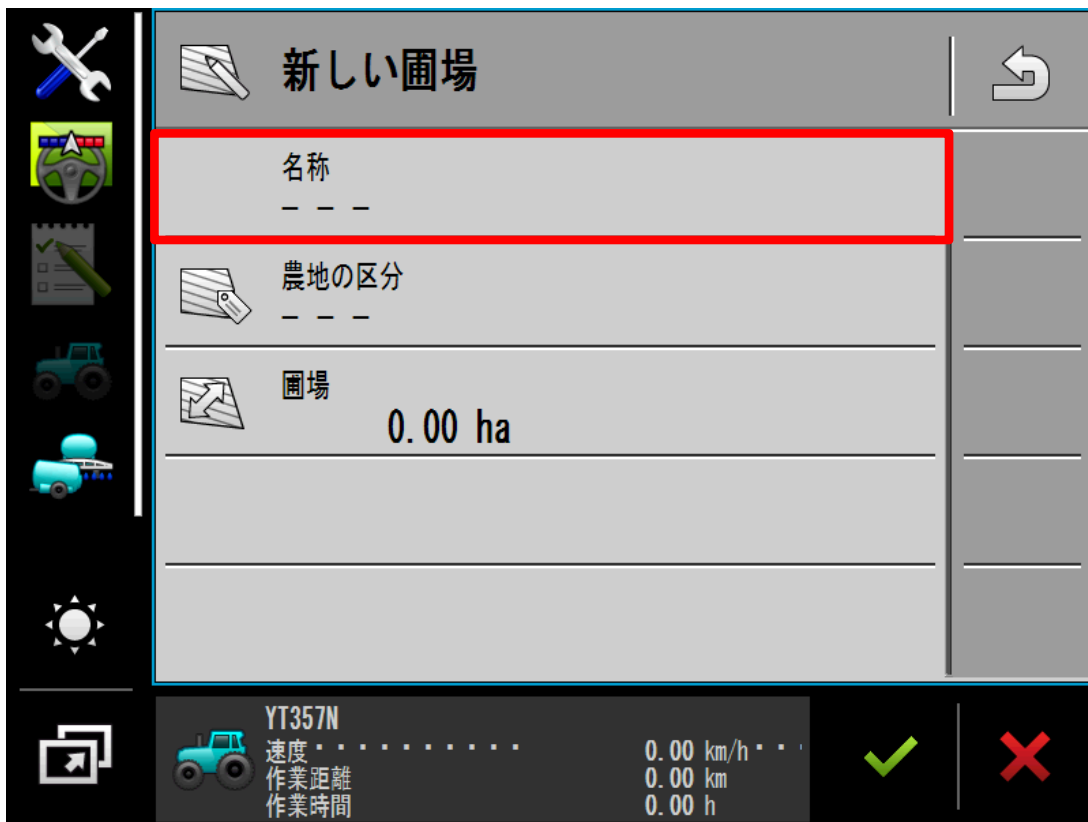
をタップする

※有効になっている圃場がある場合、新規で圃場を作成する前に、一度圃場を無効化する必要があります。

# Track-Guide III

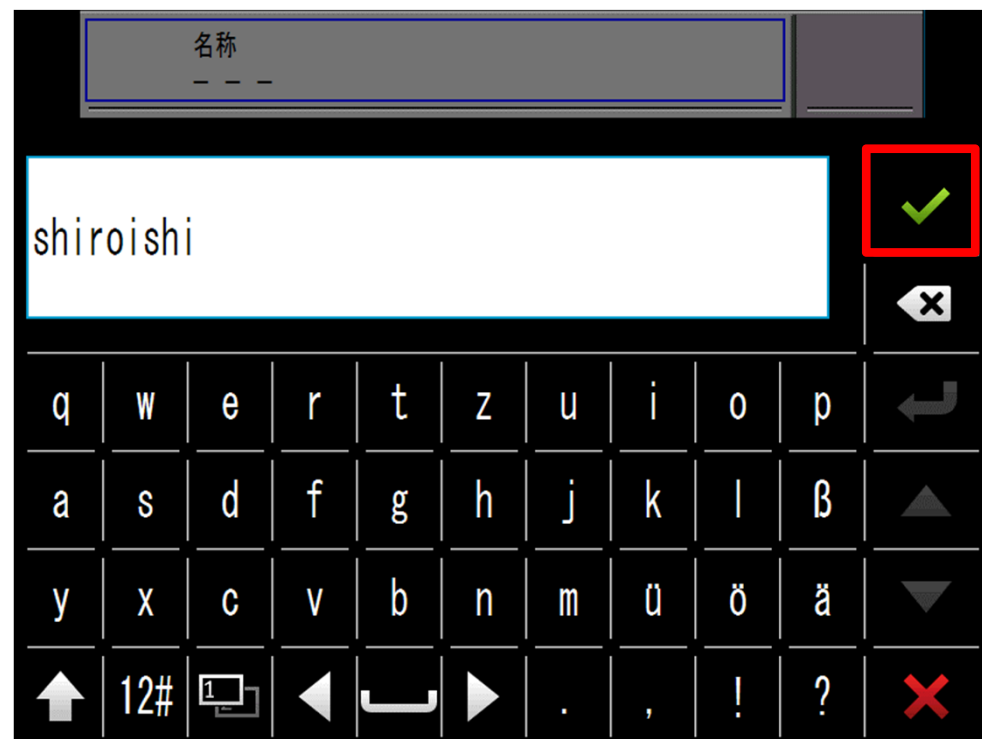
## 8. 圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



「名称」をタップし、圃場名を入力する

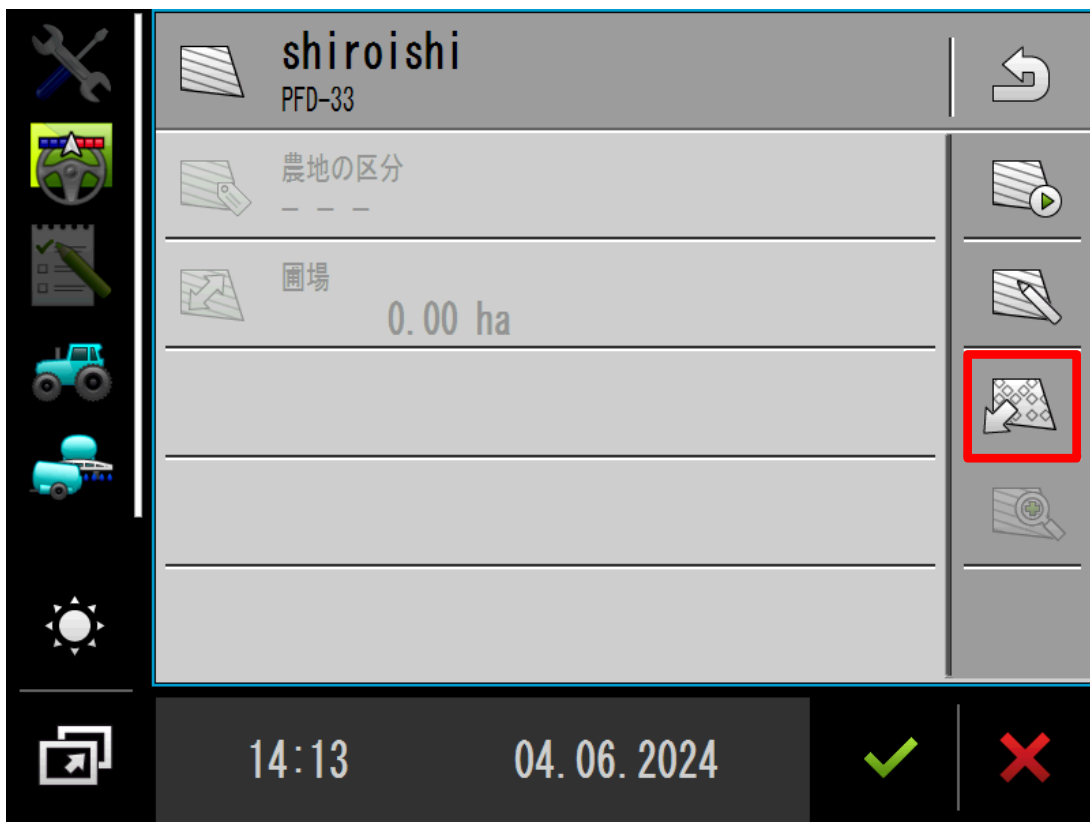
 をタップする




# Track-Guide III

## 8.圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



 をタップする

移行したいデータの種類の選択し、 をタップする

※AB線を移行する場合は「ガイダンスライン」を選択





# Track-Guide III

## 8. 圃場データの保存・転送・削除

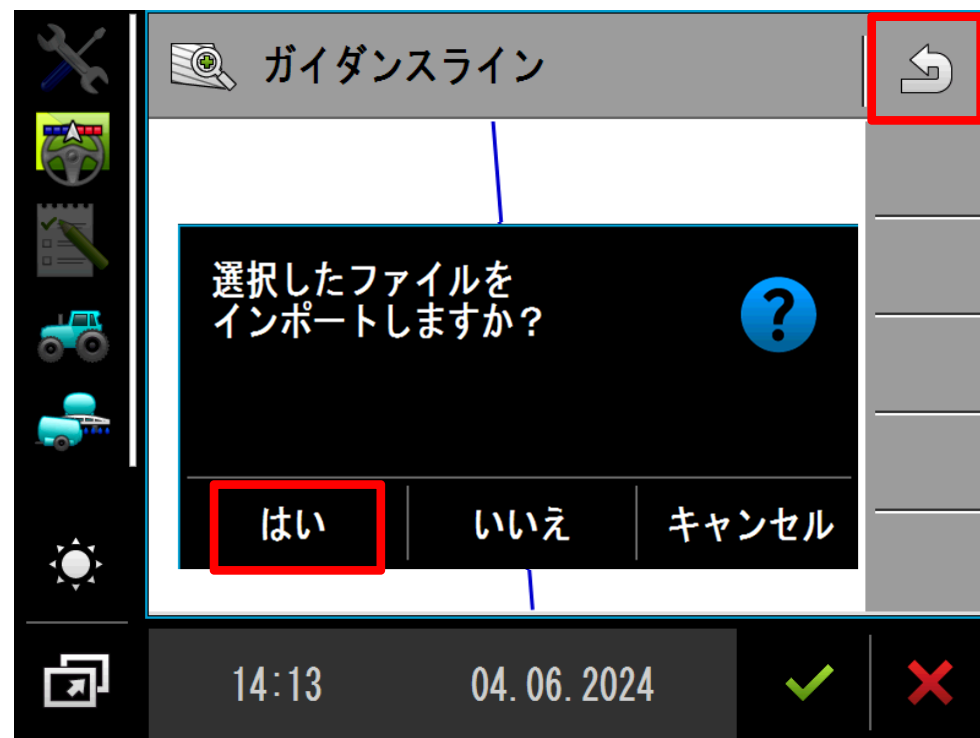
- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



移行したいデータを選択し、

 をタップする

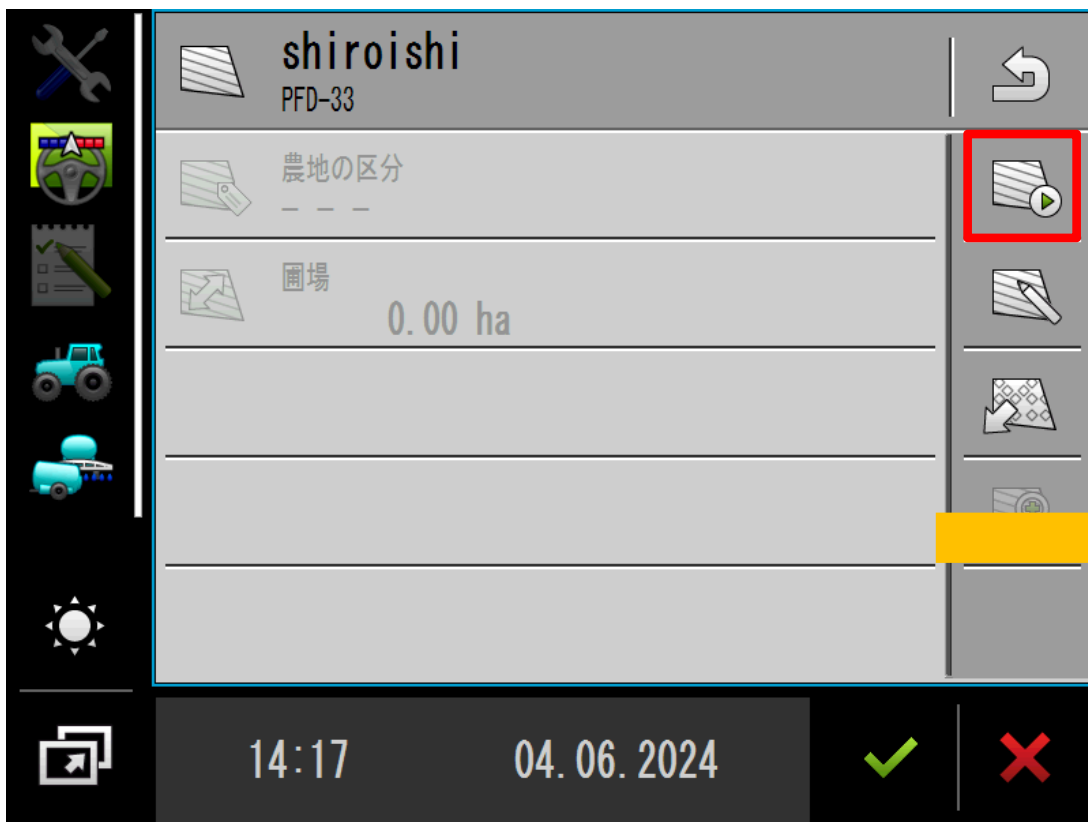
 をタップし「はい」を選択




# Track-Guide III

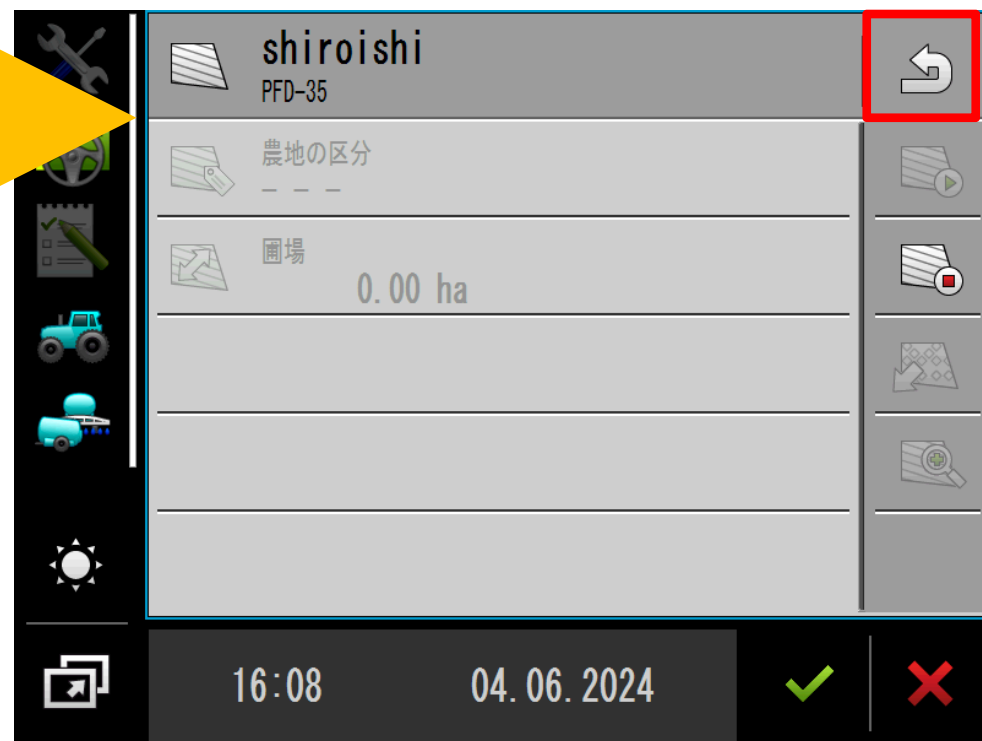
## 8. 圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



 をタップし、  
圃場を有効にする

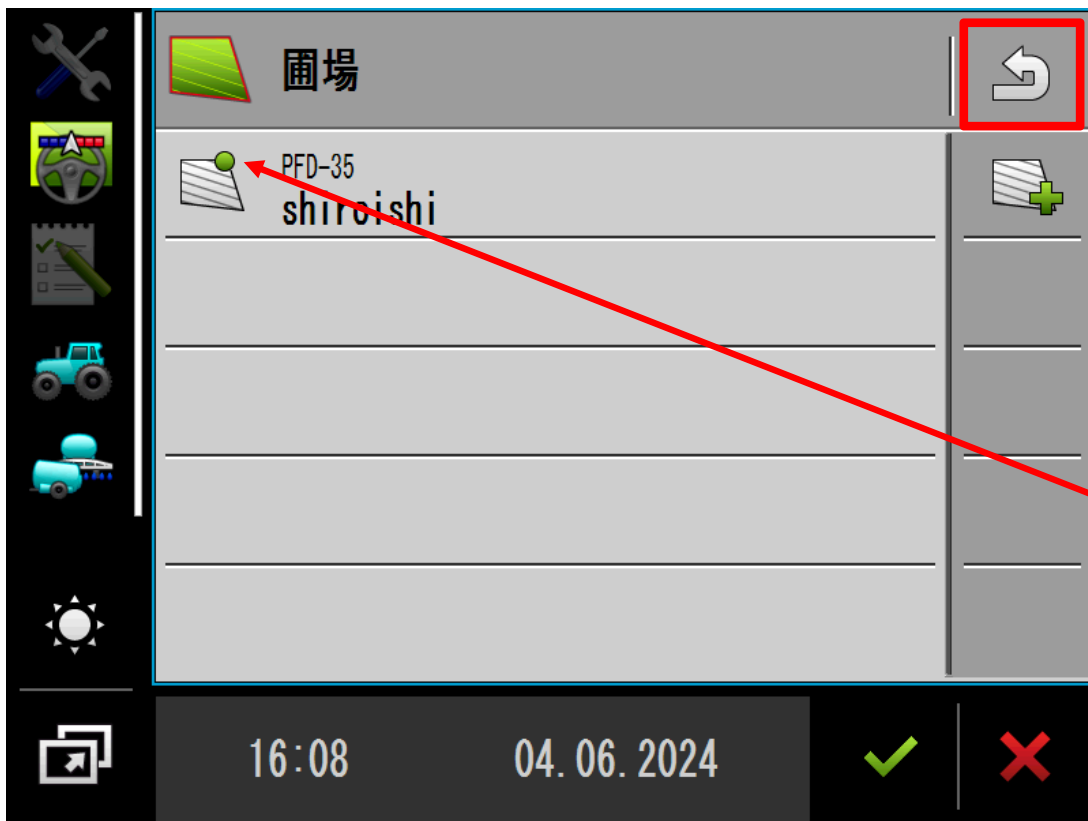
 をタップする



## Track-Guide III

### 8. 圃場データの保存・転送・削除

- USBを使って他のTGⅢに圃場データを移行する方法



有効になっていることを確認し、

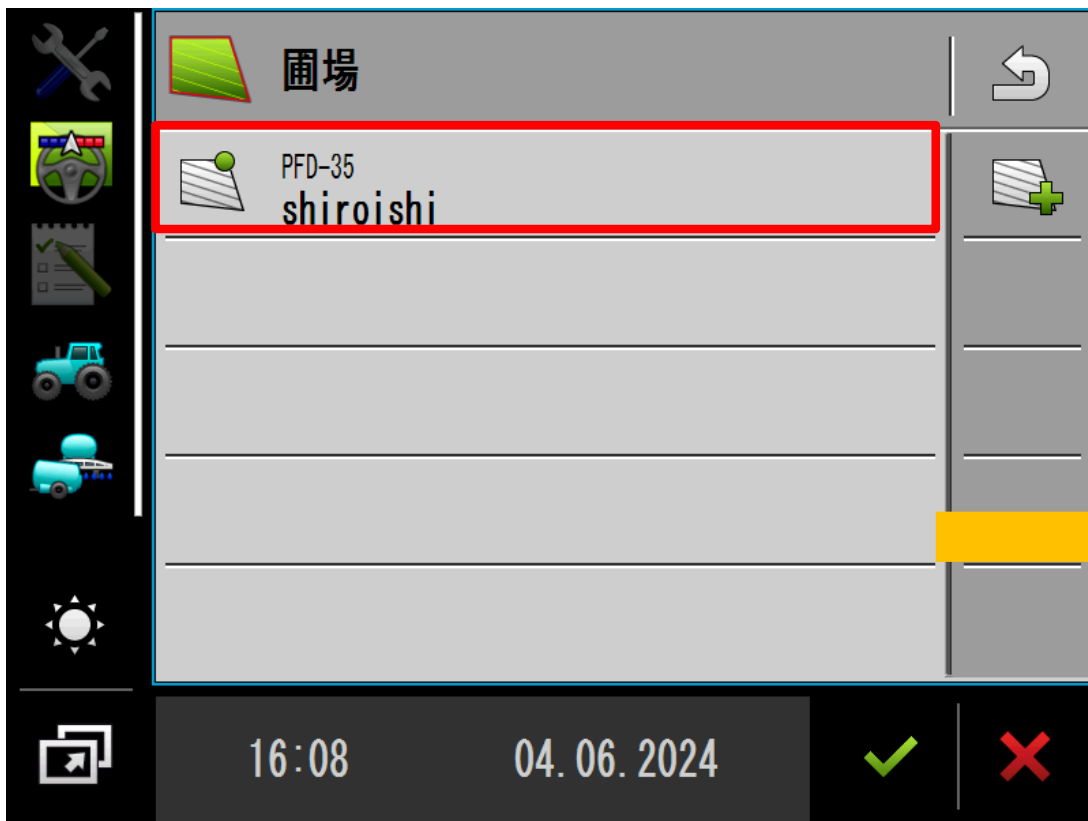
 をタップする

現在有効になっている圃場には  
緑色の●が表示される

## Track-Guide III

### 8. 圃場データの保存・転送・削除

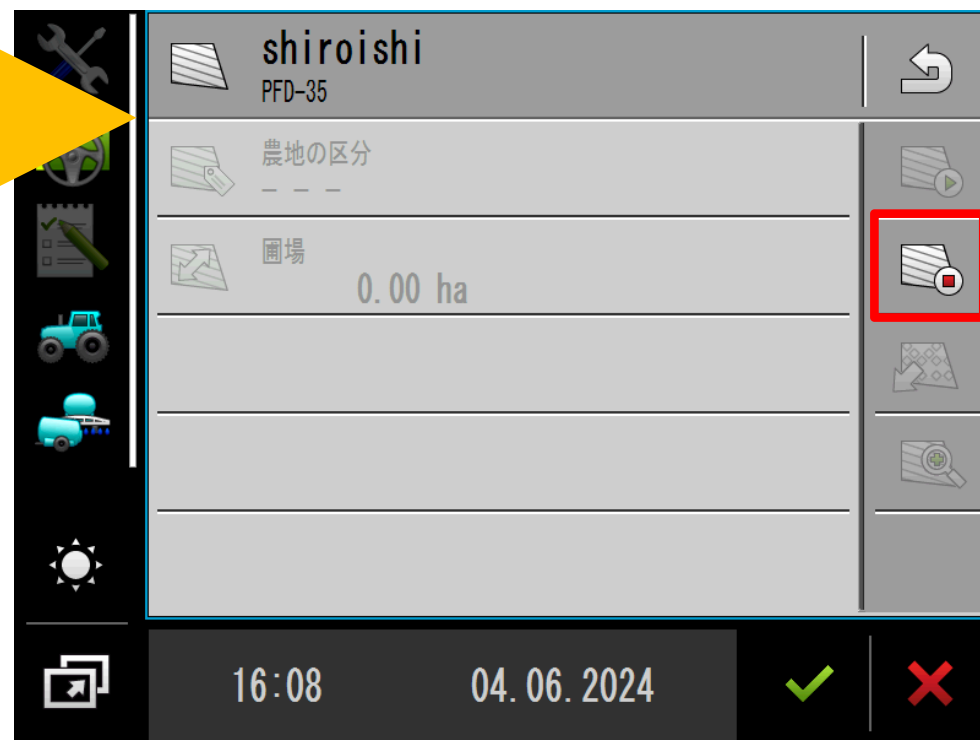
- 圃場データの無効化




圃場を無効化する場合は、有効になっている圃場を選択し



をタップする

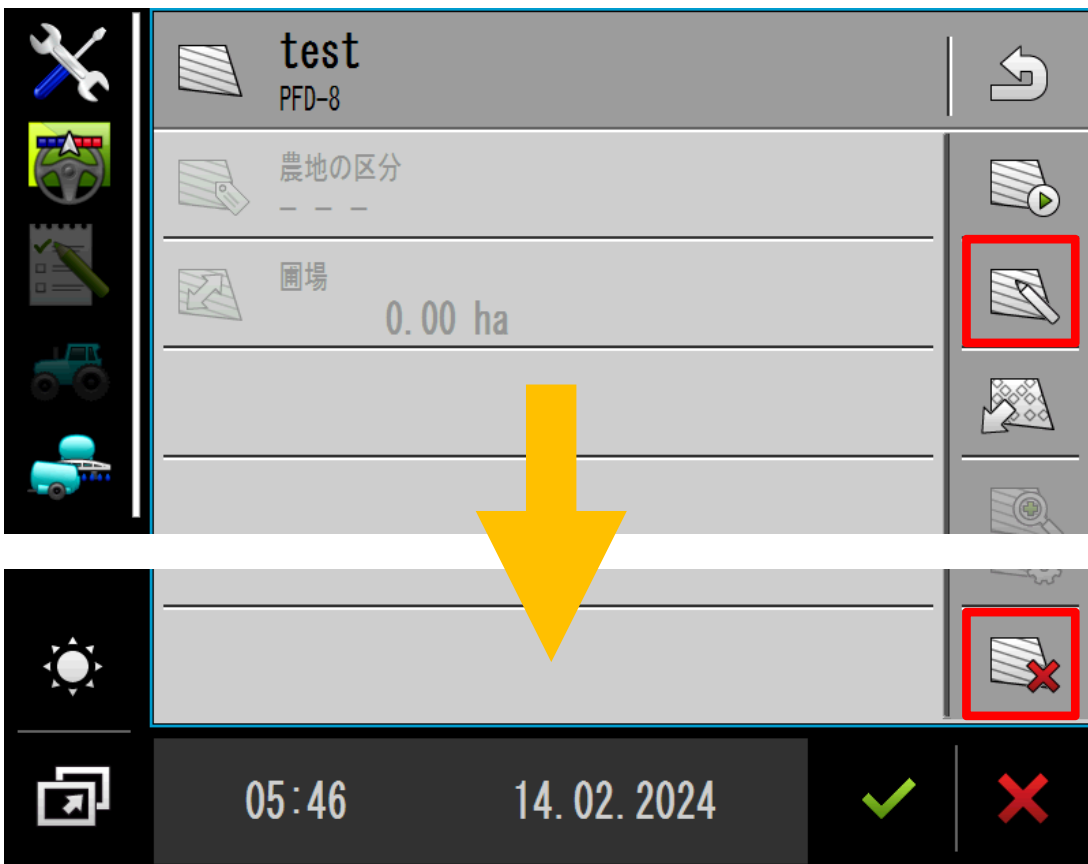


 圃場データの編集や削除を行うには、全ての圃場が「無効」になっている必要があります。

# Track-Guide III

## 8. 圃場データの保存・転送・削除

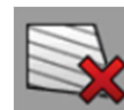
### ● 圃場データの削除



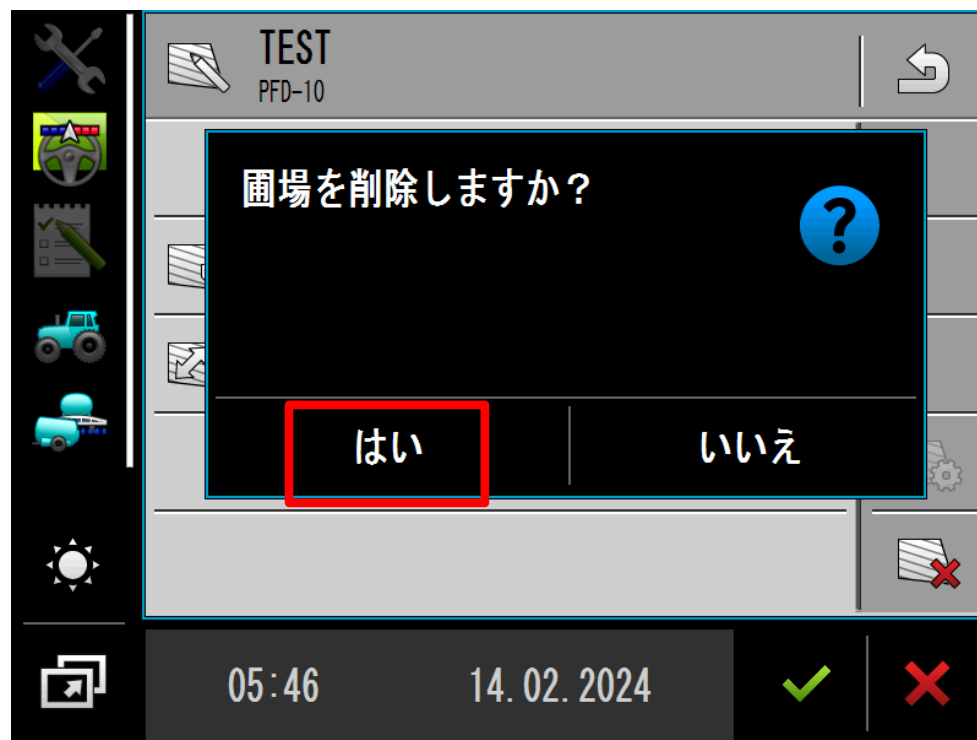
削除したい圃場を選択し、



をタップする



と「はい」をタップする







# Track-Guide III

## 9. トラブルシューティング

画面がフリーズした場合や、エラーが消えない場合は以下をお試してください。

- ① TGⅢの電源を切り、10秒待ち、再度電源を入れる



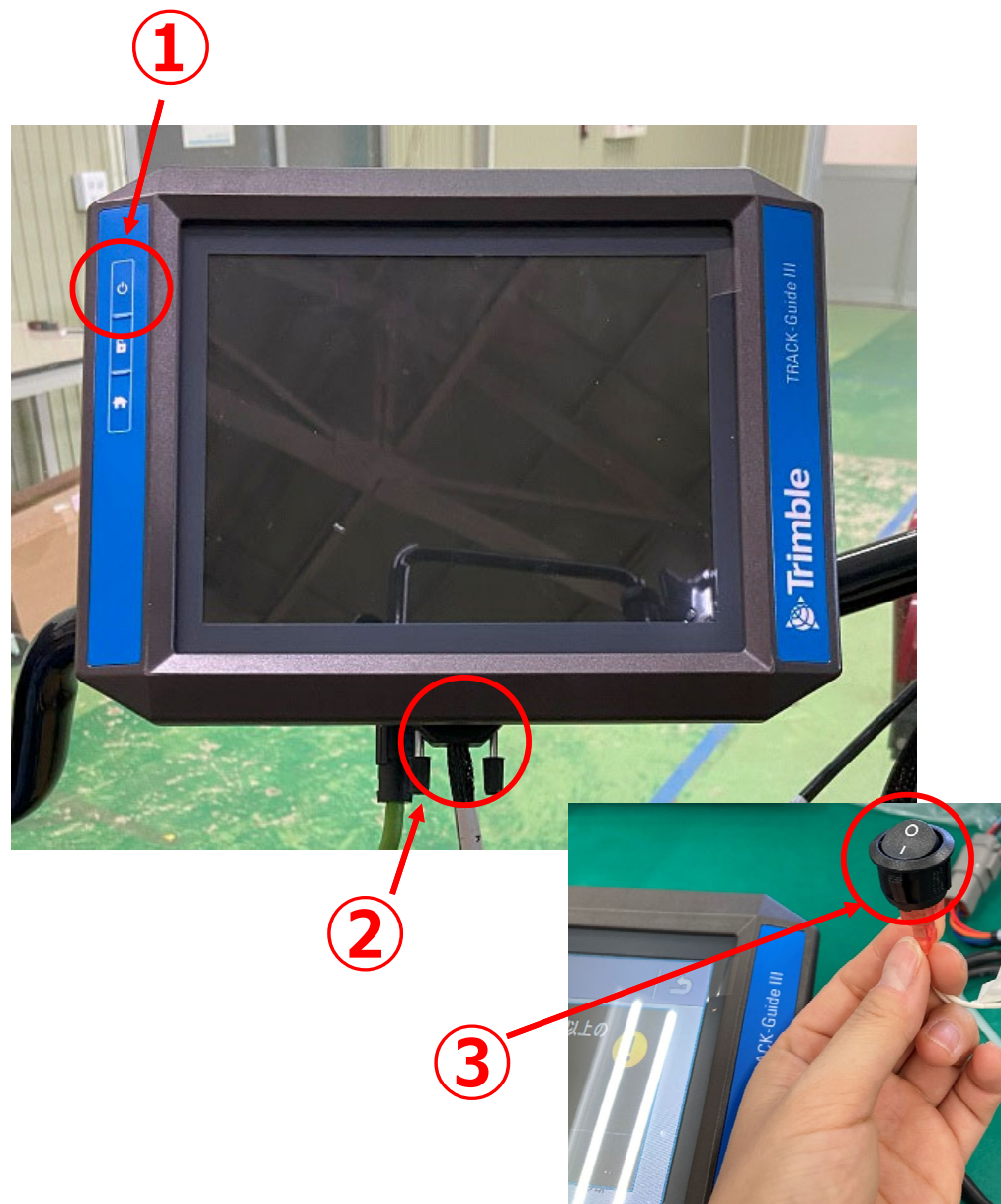
電源が切れない場合

- ② TGⅢのケーブルを抜き、10秒待ち、再度ケーブルを接続し電源を入れる



解決しない場合

- ③ TGⅢの電源を切り、NAV-900の電源を切る。10秒待ちTGⅢの電源を入れNAV-900の電源を入れる





## N1006 GPS信号の受信状態が悪すぎます



TGⅢの電源を一度切り、再度電源を入れ直してください。  
近くに受信を妨げる障害物（建物や木、鉄塔など）のない場所に移動してください。

## N139 設定情報を送信中です



車両プロファイルの読み込み直しを行ってください。

（一度違う車両プロファイルを選択し、設定を保存する。もう一度使用したい車両プロファイルを選択し、設定を保存する）

車両ECUの設定を間違えていないか確認してください。

（初期設定「標準トラクター」が選択されている状態に戻してください。それ以外にデータを作成してしまった場合は削除してください）

## N152 ステアリングが動作停止状態です




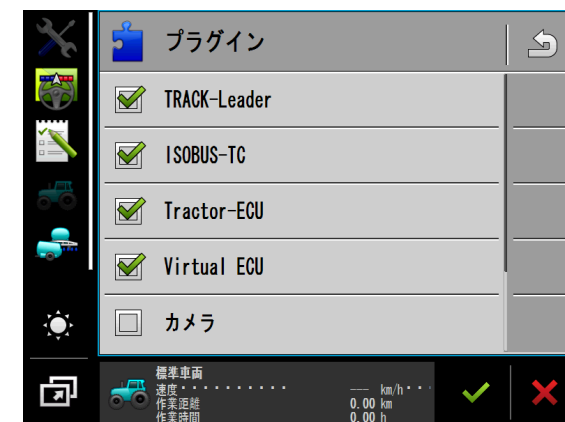
TGⅢの電源を一度切り、再度電源を入れ直してください。  
ステアリングモーターの接続を確認してください。

## タスクが開始されていません！

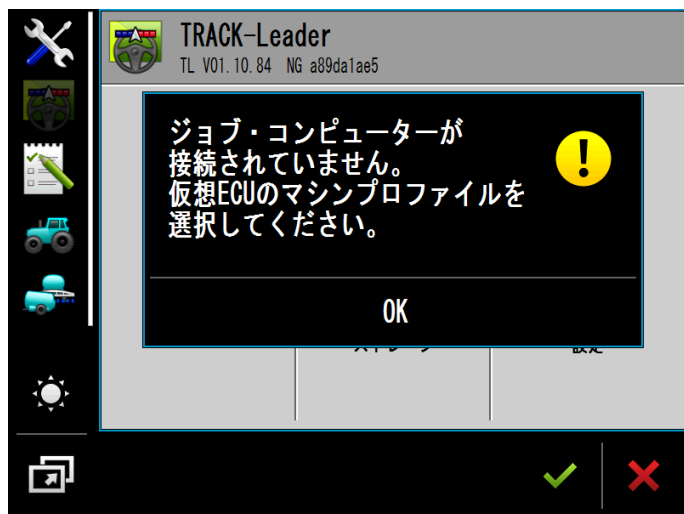


プラグインの設定を変更してしまった可能性があります。

 → 「プラグイン」で、  
右図の設定になっているか  
確認してください。



### ジョブ・コンピューターが接続されていません～



データを読み込み中です。しばらくお待ちください。

改善されない場合は、GNSS設定・車両設定・作業機設定を見直してください。

### レシーバーへの接続に失敗しました～

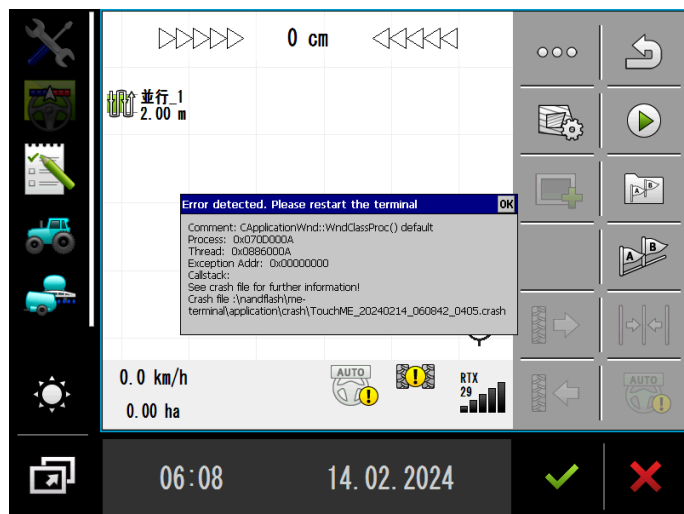


NAV-900の電源が入っていないまたは、接続ができない状態になっている可能性があります。

NAV-900とTGⅢ両方の電源を切り、再度電源を入れ直してください。

解消されない場合は、ケーブリングの見直しや、NAV-900のLEDが点灯しているかを確認してください。

### Errorが表示されて消えなくなった場合



TGⅢの電源を一度切り、再度電源を入れ直してください。




電源を入れた直後にこの表示が出ることはありますが、問題ありません

→OKをタップ

### スクリーンショットの取り方




USBを挿した状態で  を1秒間押してください。  
画面を記録したい場合や、何かトラブルが発生した際にご活用ください。

### 設定中の注意事項



設定毎に必ず  をタップし、初めの画面に戻してください。

 をタップした時に設定が保存されます。

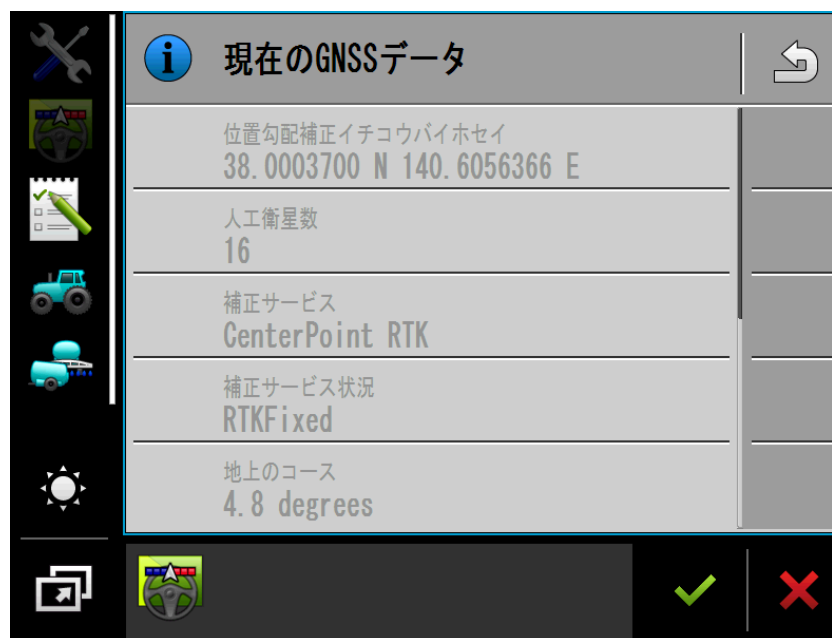
(タップしないと正常に設定が保存されません)

# NAV-900のLED表示



LED状態	状態
消灯	電源なし
赤の点灯	故障している可能性があります
赤の早い点滅の後、オレンジ色に点灯	ファームウェアの読み込み中
赤と緑の交互に点灯	ファームウェアの読み込み、またはフォーマット中

# GNSS受信状況の確認方法



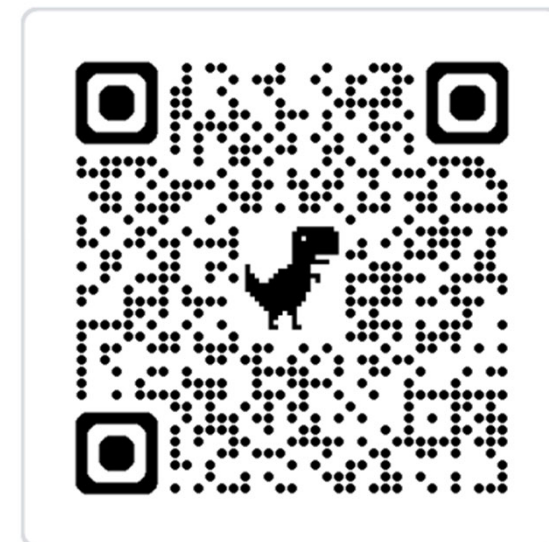
# TAPコード一覧



TAPコード	単位	詳細
ALZ	m	アンテナの高さ（必ず-の値になります）
ALY	m	アンテナ左右オフセット（右：+ / 左：-）
ALX	m	後輪車軸からアンテナまでの距離（前：+ / 後方：-）
VBL	m	ホイールベース
IAY		アンテナのヨー方向（コネクタ方向 後：0 / 左：90 / 右：270 / 前：180）
ROD	m	ロール補正值（実測値の半分の値 ラインの左：+ / 右：-）

Trimble Ag ユーザーサポートサイト

<https://annex.nikon-trimble.co.jp/agri/user/index.html>



YouTube ニコン・トリンブル 精密農業

<https://www.youtube.com/@NikonTrimbleAG>

